滿洲日報
發行所 株式會社滿洲日報社

内地派遣のわが陸兵 昨夕呉淞に全部上陸

特別陸戰隊○○○名と共に

【上海特電七日發】特別陸戰隊○○○名と内地派遣陸兵全部は午後五時三十分呉淞に上陸す

末次司令長官報告

【東京七日發】七日午後六時末次第○艦隊司令長官發海軍省着電

本職は○戰隊○水雷戰隊を率ゐ七日午前九時四十五分呉淞下流約十二海里に着の野村○艦隊未着の故を以て一時同方面所在部隊を指揮し日清汽船長陽丸、鮮陽丸に分乘、驅逐隊掩護のもとに午前十時十分泊地發、遡航二船は呉淞鐵道棧橋に横付け十一時四十分上陸完了、陸戰隊は直ちに同方面の作戰遡航の目的を以てこれより上海陸戰隊より派遣の裝甲自動車七臺と合同今や苦力區をさし挾んで交戰中、○潜水○戰隊乘艦中の陸兵は逐次驅逐隊に移乘遡航せしめ第一次上陸部隊は午後二時四十五分同棧橋より上陸、後續部隊これに續き五時三十分全部上陸完了敵は苦力區棧梁を破壞し我進出を困難ならしめ、掩護驅逐隊の砲撃朝來相次ぐ飛行機の爆撃に對し陣地に據り抵抗を續く

陸軍到着に邦人雀躍

司令部と兵舎も決る

【上海七日發】我陸軍の司令部は新公園前青葉莊に決定、兵舎は同所の福音教會跡に決した居留民が間斷なき敵彈便衣隊の跳梁を受けつゝ待ちに待つた陸軍到着の報はドンナに同胞をよろこばした事であらう、猛烈な戰鬪開始以來本日であたかも十一日目居留民は降りしきる雪ものともせず、又落下する敵彈を物ともせず町に出で門々に國旗をかざし御國のため投下された莫大な我利益を擁護する正義の戰さに臨まんとする忠勇無比の我兵の來着を祝し又感謝してゐる

植松少將指揮

【上海七日發】新任陸戰隊總指揮官植松少將は午前七時半裝甲列車二、トラック五臺に兵を滿載自ら之を率ゐて呉淞攻撃の爲め同地へ向つた

陸戰隊決死隊を以て呉淞南方地點に迫る

軍艦の掩護射撃を得て渡河

【上海特電七日發】呉淞攻撃に向つた植松指揮官の率ゆる我部隊は裝甲車二臺を先頭に黄浦江岸に沿ひ軍工路を前進、朝來呉淞鐵橋附近の敵軍と激戰數時間に亘り午後一時決死隊を募り敵の兵舎に放火し午後一時過ぎ之を占領した、敵は北方へ後退しつゝ尚も野砲を以て我軍を攻撃しつゝあるを以て我軍は在泊中の驅逐艦の掩護射撃を得て**決死隊百五十名は漸く渡河し午後二時頃呉淞の南方約二百米の地點まで前進した**今朝來の戰鬪に於て我戰死者四名、負傷者十四名を出した

【上海七日發】植松少將指揮の陸戰隊百五十名は呉淞街手前の河を隔てて敵約二千と對戰中であるが零時半我軍にまでに即死三名負傷七名を出したが我空軍の援助の下になほ戰鬪繼續中である**敵は退却に際し橋梁の釘をぬき我兵が之を渡らんとすれば直ちに河中に隊落する如く仕かけてあり我軍は苦戰を續けてゐる**

【上海七日發】呉淞砲臺に近き呉淞鎭には野砲を有する敵軍あり之が一掃を期して第一及び第三戰隊は揚子江から植松少將引率の裝甲車隊その他陸上部隊は上海方面から、又我が陸上機は空から一齊に午前十時二十分を期して攻撃を開始した

敵前で架橋工事中

【上海七日發】植松少將引率の陸戰隊は午後零時半呉淞街前面の敵の塹壕を占領し同一時半呉淞街手前の河岸に達し工作隊を以て架橋工事中である呉淞砲臺から城内一帶へかけて攻略は目睫に迫つてゐる今朝からの激戰で我裝甲車一臺は運轉不能に陷り本部からこれを補充した午後一時半迄の死者三名負傷者十一名である

呉淞鎭を占領

【上海七日發】我軍は七日午後三時呉淞鎭を占領城門高く日章旗をかゝげたこれより先第三、四戰隊は午後二時過ぎ呉淞砲臺附近に大部隊を上陸せしめ呉淞城及び砲臺は午後三時三十分全く我軍に占領さる

寶山縣城内を爆撃

【上海七日發】呉淞より一キロ半の寶山縣城内にも多數の敵あり我が空軍は午前中これに爆撃を加へたため城内に火災が起つてゐる

我軍飛行機野砲で猛烈な攻撃を開始

支那街一帶は火の海

【上海七日發】陸戰隊は植松新總指揮官、第四戰隊を迎へて意氣天に沖し今日中に閘北一帶及び呉淞の占領を行はんと勇躍し午前十時半空中爆撃を中止し閘北の敵に對して野砲、曲射砲、燒夷彈を以て猛烈な攻撃を開始し十一時早くも敵の堅壘所在地虹口クリークの中山路、寶興路、北四川路角附近の一帶は炎々たる猛火の海と化してゐる、かくて午前十時五十五分我が野砲隊に對し打ち方止めの號令が下ると共に海軍重爆撃機○臺は霙交りの雨を衝いて一齊に出動して閘北方面の敵堅壘に對し再び爆撃を開始した、爆撃終ると共に野砲隊は砲撃陸戰隊は突撃する筈

支那軍夜襲

【上海七日發】日本時間午前零時二十分敵は突如砲門を開きたるため我が軍は直に應戰し砲聲殷々として轟き砲彈は北四川路終點一帶に落下し次いで我が野砲陣地と第五大隊本部に夜襲して來た敵は我が反撃にあひ日本時間零時五十分算を亂して退却した我が野砲隊は背後から砲火を浴びせ大東館方面は火災を起し炎々と燃えつゝあり

支那飛行機

二十六臺集中

【上海七日發】支那側は飛行機二十六臺を虹橋飛行場に集中しつゝあるが昨日上海市長呉鐵城は工部局參事會議長マックレーラ氏に對し支那側も飛行機使用に決定した旨通告した

日本飛機防禦

【上海七日發】支那は英米總領事に對し支那軍の飛行機は飛ぶが爆彈は持つて行かない日本飛行機と防禦戰をするのみだと語つた

皇軍の死傷者

【上海七日發】五日迄の皇軍の死傷者累計左の如し

戰死者 五十四名
重輕傷者 三百五十二名

邦人千名に引揚げ命令

【上海七日發】陸戰隊本部は今早朝本部附近の旭町、ダラック路、北四川路終點附近に在留せる邦人約一千名に引揚げ命令を發した這はわが軍事行動を徹底せしむるためで雲の惡天候を衝いて虹口方面に引揚中である

邦人二名殺害

【上海七日發】支那街で公安局に捕はれたと云はれた藤井某外一名も殺害された事判明した

揚子江沿岸各地狀況

邦人は無事

【東京七日發】七日に達した揚子江沿岸各地狀況左の如し

▲九江 婦女子は日清ハルクに收容し軍艦熱海これに横づけとなり男子は日清事務所に宿泊中

▲南京 青島丸を日清ハルクに横づけし警備隊二十名を派遣した城内の商店は大半開店し漸次平穩に歸しつゝあり

▲鎭江 大日南京領事より居留民引揚げ發令があつた

▲蘇州 在留邦人三十一名六日午前零時五分無事着艦内に收容せり

上海日支交戰地帶略圖

新公園 日本女學校 日本小學校 陸戰隊本部 北四川路 天通庵路 湖州會館 商務印書館 共同租界 北停車場

安否を氣遣れた蘇州領事ら着滬

一日遅れたら鏖殺

【上海七日發】安否を最も氣遣はれた蘇州駐在領事以下官民三十一名、鎭江在留民三名、合計三十四名は今日午後一時英國船ハンヤン號で無事當地に到着した、蘇州警察署長園田氏は語る

上海事件發生以來我々は體の良い捕虜となり上海にも南京にも出られずに進退窮したが、日本軍が南京を攻撃しないとの條件で敵兵の保護を受け鎭江に辿り付き英國船に救はれた、我々は四日午後三時蘇州を出發したがもう一日遅れたら上海から負傷兵が到着するので我等は鏖殺されたかも知れぬ、南京の戰備は全く想像以上で毎日列車毎に幾千の兵が上海に送られて居り敵は此處を第一線とし崑山を第二線、蘇州を第三線として飽く迄我軍と戰ふ積りらしく上海附近の支那兵數は十萬を突破してゐる事確實と思はれる

敵は第三線へ潰走

【上海七日發】午前十一時二十分我軍爆撃機數機は雪を蹴つた空を突いて敵陣地を猛撃し爆彈は見事に奏效し中山路角附近の敵陣に命中し炸裂毎に支那兵は土煙りと共に吹上げられた、次いで十一時半空襲を中止し野砲隊は又敵陣に齊射を浴びせた、此猛攻撃に敵は第一線を放棄し寶興路の第二線に總退却し砲壘四十餘の堅固な陣地に又もや頑強に抵抗したが更に北停車場方面の第三線に潰走した

石渡砲隊の目覺ましい武勳

隊員は壯烈な決意

【上海七日發】陸戰隊本日の奮鬪は實に目覺ましきものがあつたが最左翼の戰鬪は殊に注目を惹き午前十時半野砲隊石渡貞良大尉は自ら太田大隊の先頭に立ち大砲を第一線に引出して敵前僅か五十メートルの地點から曲射砲を以て猛射を加へ太田大隊の市川中隊と北山中隊の進出を掩護し兩中隊は敵陣の兩側に迂回して家屋の家根に攀登り敵軍の頭上に手榴彈の雨を降らせたこのため敵は大混亂に陷り寶山路の陣を棄て狼狽總退却し北停車場附近の第三線に潰走した、石渡隊の快勝した本日の奮戰には左のごときエピソードが傳へられてゐる、それは昨日一日の我軍の自重に髀肉のたんに堪へなかつた隊員は一日を遅らすも上、陛下、下郷里の先輩に申譯なし進撃して敵を粉碎せねば自刃するもいとはずと壯烈な決意を固めて大尉に申出でたので大尉も思ふ存分の武勳を輝かし得たのである

上海に在る列國の兵力

【東京七日發】在上海列國陸上兵力に就き六日現在陸兵陸戰隊の人員左の如し

	陸兵	陸戰隊
英國	三、四〇〇	三、二〇〇
米國	三、三〇〇	三、〇〇〇
佛國	二、四〇〇	一、〇〇〇
伊國	一、〇〇〇	—

在上海の列國居留民數

【東京七日發】陸軍省發表に依れば在上海列國居留民數昭和六年十二月現在左の如し

英國	三、六〇七
米國	九、六〇〇
佛國	一、五三三
伊國	三一四
獨國	一、九〇〇

英の停戰條件を支那側拒絶

昨日宋子文らと會見

【上海七日發】英國東洋艦隊司令官テリー提督及び總領事ブレナン氏は七日午前十一時宋子文、呉鐵城、郭泰祺及び十九路軍代表と會見停戰條件として

一、日本軍の現在占據地にとゞまるを承認する事
二、支那側は上海より十五マイル外に撤退する事

を提議したが支那側はこれを不公平として拒絶した

汪氏最後の決心を語る

【北平七日發】行政委員長汪精衞は洛陽を訪問した支那記者團に上海事件に就き不戰條約、九ヶ國條約の適用されず國際聯盟何等の制裁を加へざれば國民政府は決して南京に歸らずと言明し日支單獨交渉には絶對に應ぜず政府は最後の決心を爲したと語つた

陸海軍々事參議官會議

【東京七日發】上海事件重大化に鑑み陸、海軍當局は萬全を期するため十日午後二時より海相官邸に陸海軍々事參議官會議を開く事となつた

上海の事態に鑑み米艦除籍を中止か

アジア艦隊の十三隻

【ワシントン六日發】米國亞細亞艦隊所屬驅逐艦六隻潜水艦六隻航空母艦一隻計十三隻は今秋除籍され豫備に編入されるに決定したが上海の狀勢重大化に鑑み右は取止めとなる狀勢にあると觀られるに至つた、右に就き軍令部長プラット提督曰く

若し上海の狀勢に鑑み同地に亞細亞艦隊配備の必要あらば該艦隊の配備を繼續するであらう、若し東洋の狀勢が急迫を告げれば十一日決定の艦隊編成變更命令は延期されやう米國海軍は居留民保護並びに危險地區民の引きあげに備へるため驅逐艦を配備する必要がある

浦口から南京へ支那兵移動

我軍から中止を要求

【東京七日發】海軍省着、六日朝來支那軍隊約一千二百(馬數頭・野砲數門を有す)浦口より南京に移動せるを以て支那側にその不都合を責め移動中止を要求せる處右は南京警備のため谷政倫の部下を呼び返せるにて北方新軍隊の移動に非ずとの事なるも當方としては南京に兵力を移動するは上海に對する增勢の準備とも見らるゝに就き狀況によりては之が阻止の手段に出づるの已むなき時期に至るやも知れず同方面に於ける事端の發生は貴方にとりても好まざる處なりと信ずるを以て取敢ず兵の移動を止めよと申込めり

上海事件を利用し蔣、全國軍を統一

對日軍事大綱を決定

【北平七日發】蔣介石は開封で對日軍事大綱を定め軍事委員會を開き決定の筈であるが案は全國を四區に分ち

一區(中央) 蔣介石、韓復榘
二區(河北) 張學良、徐永昌
三區(東南) 陳濟棠、白崇禧
四區(江蘇、浙江) 何應欽、陳銘樞

をそれぞれ正副長官とするもので蔣は上海事件を利用し全國軍を統一せんとするものである

蔣系主力軍南下

對日宣戰熱勃興す

【北平六日發】第十九路軍の對日抵抗に氣を良くした洛陽政府は日本軍恐るゝに足らずとし愈々對日決戰の決意を爲したものゝ如く蔣介石は京漢線の主力軍を隴海線に移動せしめ馮玉祥は昨日浦口に至り何應欽を激勵するあり張學良亦蔣に對し援兵の南下を打電せる等對日宣戰熱は全國的に勃興してる

海軍首腦緊張

【東京七日發】海軍では上海の事態を重大視し七日日曜日にも拘らず伏見軍令部長宮殿下の午前十時御出仕に前後して大角海相、左近司、豐田、百武諸氏各首腦部以下各班長等出動上海よりの情報を待ち非常な緊張振りを示してゐる

外相陸相協議

【東京七日發】芳澤外相は七日午後二時半荒木陸相を官邸に訪問し上海派兵問題その他時局につき重要協議を行ひ同三時十分辭去した

聯盟協會代表軍縮案を提出

【ジュネーヴ六日發】本日の軍縮本會議で英國全權セシル卿は國際聯盟協會聯合を代表し

一、軍事費二割五分減
二、戰鬪艦、潜航艇、タンク、重砲、軍用飛行機廢止
三、空中爆撃廢止

の同聯合軍縮案を提案した

勞農軍縮主席を暗殺の計畫

瑞西政府當局警戒

【モスクワ六日發】タス通信社發表に依れば外務人民委員長リトビノフ氏を首班とする軍縮勞農全權團一行がジュネーヴに向け出發せる直後勞農政府は信用すべき筋より白系軍が主席全權リトビノフ氏の生命を狙ひ數日の中同氏を暗殺すべしとの報道を接受した右に關し外務人民委員クレスチンスキー氏より二日附聯盟事務所ドラモンド總長宛左の電報を送達した

勞農政府の信ずべき筋より接受せる報道に依れば目下パリに在るミルラードラゴイロフ・シャチール將軍等配下の白系露人は勞農聯邦軍縮會議主席全權リトビノフを數日中に暗殺すべき指令を受けて暗殺團を組織した旨の報道ありたり

右の通告に依つてドラモンド事務總長はスヰッツル政府に右の旨を傳へたところスヰッツル政府はリトビノフ暗殺阻止に就き必要手段を執る筈である

ヴ氏の演說

【ジュネーヴ六日發】本日軍縮本會議で第二インターナショナル代表前ベルギー首相エミール・ヴァンデヴエルト氏は實質的軍縮を要求し若し今後再び戰爭が起らば世界勞働者は祖國の爲めと雖も戰ふ事を拒絶すべしと脅威的言辭を弄し戰勝國と戰敗國との區別を撤廢せよと主張した、最初豫定演說として配布された草稿では氏は頗る強硬に日支戰爭を非難してゐたが議長の注意で演說は緩和されてゐる

金死藏反對協議會

【ワシントン六日發】フーバー大統領は金死藏反對運動促進の爲め本日民間諸團體首腦者協議會を召集し協議を行つた

混亂の上海に急行して
あゝ何といふ壯觀！ 呉淞砲臺の爆撃ぶり
奉天丸にて六日　加藤特派員發

長江の混濁した流れ、恐ろしい勢ひで飛ぶ千切れ小雲、無電技師の微妙なる指先から發せられる急迫した上海の形勢、避難民急救さいふ重大な責務を負はされた奉天丸は疾風を衝いて、波浪を蹴つて蕩地に上海へ、上海へ、砲彈の唸りと硝煙の煽りで醜く打ち壞された上海、……勇敢なるわが志願一看護婦は顏面に

擦過傷

を負ひながらも氣に働いてゐる、上海在住自警團在郷軍人等は專らガイド役さして眼覺ましい働きをしてゐる……船中、無電を通じ悲壯な上海の慘情が手に取るやうだ、六日恰も舊の元旦、平年の爆竹の音は何ぞ今年は實彈の唸りだ、正義の砲彈の轟きは歪められたヤングチヤイナの斷末魔＝觀念を木ツ端微塵にフツ飛ばして居る、午前十時半、戰雲低く垂れこめた呉淞沖を通る、特務艦能登呂がドッシリ錨を降ろしてゐる、○隊の偵察機がグルくその上を廻り爆音が氣味惡い音で空氣を搬はしてゐる、本船は

戰裝に

固められた軍艦由良に守られ溯江する、セルンメンの低い赭ちやけた丘が呉淞砲臺と聞く、突然由良から手旗信號が本船に發せられる

呉淞通過危險保證出來ず

急に船内がザワメキ出す、悲壯な決心が總領船長を初め乘組員並に只一人の上海行き乘客である記者（加藤特派員）の頭の裡に水のやうに流れる、斯くて本船は覺悟をきめて溯江を續ける、あゝ何さいふ壯觀だ、母艦を離れた隼の如き我が飛行機三臺は呉淞砲臺と聞かされた丘陵の上空を高く、或は低く旋回しこの間時折りスルくさげ構をとり爆彈投下の壯烈なる

戰鬪を

開始する、目前僅の地點だ、ピリピリ空氣をふるわして轟然たる爆裂の壯絶さは先づ度肝を抜く、炸裂した黑煙はパッさ大きく散る、一彈、二彈さ次ぎくに氣持よく爆發する、やがて飛行機は悠々さ目的を果し歸艦する、この間僅かに十分、本船はたつた今、爆彈の洗禮に會つた呉淞砲臺を右に見て午後一時ワンプマトウに着く

航空母艦を離れた爆撃機の○臺編成は見事な空中サーカスを演じ、これ等が野砲の炸裂する地響きに應じ壯烈な戰慄を懷かせる戰爭だ、然も近代武器の亂舞だ、廢墟の如き

燒土の

上海の外貌その上をトラック戰車オートバイが恐ろしいスピードで馳驅するかくて北部小學校の陸戰隊本部に敬意を表し小銃彈の炸裂に度膽を抜かれ旅舍に歸る、の間砲彈の音響は物々しい、七日早朝より我が○○方面より派遣された○○軍が○○名上陸疲れ切つた海軍に代り本格的な陸上戰を開始するの確報が傳はり在留民の奮躍する樣は一通りでない

亂舞する近代武器 砲彈の街を一廻り
刺々しい邦人の顏面

【上海特電六日發奉天丸無電】現在の戰況は更に進展の模樣なく六日附の外國新聞は日本軍の大敗を報ず、これが六日現在の戰況である、全く陸戰隊は疲れ切つてゐるすでにその大部分は足にマメを作り歩行困難を訴へて居る、元旦爆竹の鳴らぬ爆彈砲丸の洗禮化にある上海は不安さ焦燥さに在留邦人いづれも生色を失つて居る、たゞ日本人だと云ふ

意識が

頑張らして居るのだ、食糧はぐんく減つて行くばかりで事變以來野菜の顏を見たものは幸運とされて居る、六日午後二時半黄浦碼頭繫留の市中巡回トラックに在乘を許されカメラ片手に滬樹浦を共同租界に出る、機關銃を運轉手臺に突出して六名の護衛水兵が小銃の安全辨をはづして居る、電車が通つて居る、正月の晴着を飾つた支那人がしきりに來往して居る、敵を見る樣なまなざしで記者（加藤特派員）等をにらんで行く、すごい眼だ、さされを見ても便衣隊だ、トラックは先づ總領事館にさまりそこにはためく

日章旗

に言ひ知れぬ感慨を覺え、ついで日本人倶樂部に行く、その邊を歩いて居るのは腕章をつけたさげくしい顏をした日本人のみだ、妻も子も便船にてくしホッとしながらもいらくした氣持からは解放されない、北四川路をグンくさばし陸戰隊本部の桃山ホールに停車するこの間小銃機關銃の間斷ない亂調子は豪華な近代武器の狂奏曲をかなで居る

我軍死傷者
戰死者十七名に上る

ハルビン郊外における戰鬪は敵の強硬なる抵抗と夜襲戰のために我軍の損害意外に多く現在ハルビン野戰病院に收容中の戰傷者のみで七十名の多きに及びその内危篤の重傷者十名に及んで居る、名譽の戰死者の數は判明しただけで十七名ある、將校の死傷者は左の如し歩兵○○聯隊副官佐藤少佐（左肩盲貫）同阿部大尉（左大腿部貫通）菅原少尉（右肩　過傷）

戰死第○○聯隊藤井中尉

また各隊別にすれば戰死者左の如し

第○聯隊二名、第○○聯隊十二名、第○○聯隊二名、第○○聯隊一名、この內將校四名、特務曹長一名、下士六名

負傷者の内譯左の如し

第○聯隊五名、第○○聯隊五十一名、第○○聯隊一名、野砲三名、騎兵一名、第○○聯隊一名、獨立守備隊六名、自動車隊一名

賓縣方面の敗殘兵爆擊

【ハルビン特電七日發】賓縣方面に潰走せる反吉林軍は到るところ暴虐の限りを盡し附近住民を掠奪しつゝ再び兵力集中しつゝあるので我が飛行隊は七日朝○○臺を同地方に派しこれが偵察爆擊を行つてゐる

しかしてこれ等負傷者の内重傷者は野戰病院に當てられた日本病院に收容され輕傷者は警察演武場に送られたが、居留民會より特志看護婦が出動して手厚い看護を續けて居る【長春電話】

【司令部發表】二月二日より五日に至るハルビン附近の戰鬪における我戰傷者左の如し

▲歩兵第○聯隊戰死兵三、負傷兵六▲歩兵第○○聯隊戰死下士官六、兵十二、負傷佐藤少佐、阿部大尉、山本大尉、藤井中尉西山特務曹長、下士官以下四十三▲歩兵第○○聯隊戰死兵三、負傷下士官一、兵一▲騎兵第○○聯隊戰死兵二、負傷坪子中尉兵二▲合計戰死下士官二十六、負傷將校以下六十五【奉天電話】

反日通電は馬占山關知せず
萬福麟系の勝手な振舞ひ
韓代理を派し釋明

馬占山は二月五日韓雲階を代理として我ハルビン特務機關に派遣し來り左の如く釋明した

今回馬占山の名を以て發せられたる反日通電は部下の一部さして萬福麟系が勝手に發せるものにして、馬占山は全然知らざる所なり、又馬占山は蘇柄文（チチハル西方東支鐵道の警備に任ず）に對し日本軍の輸送を妨害せざることを嚴命せるも蘇柄文は之を承認せざりき、よつてこの際斷然蘇柄文その他彼等の周圍にある萬福麟系を彈壓せんさ企圖せしも周圍の環境は之を許さず、これがため已むなく軍隊をチチハルさ萬福麟系軍隊との中間に派遣して萬福麟系軍隊を監視し他方呼海線の中間に派兵して反吉林軍の侵入に備へんさする次第なり【奉天電話】

清水大尉機の機關銃を發見

【ハルビン特電七日發】一月廿六日哈市における邦人の狀況偵察のため飛行中丁超軍の狙撃を受け墜落慘死を遂げた清水大尉の搭乘せる八八式偵察機備へ付の機關銃は當時敵軍のため掠奪され我軍で極力搜査中六日夜ミユルレル兵營を搜査して丁超の居室を調べたわが○○部隊はそこに飾られてある飛行機備へ付用の機關銃を發見し仔細に調べたところ清水大尉搭乘機の機關銃であることが判明、銃把に殘る彈痕に當時の模樣歷然たるものあり將士一同遭難當時における清水大尉の奮戰の模樣を想起して暗涙に咽んだ

石原參謀 昨日來哈
重要打合せ

【ハルビン特電七日發】關東軍石原參謀は[illegible]田參謀その他と共に七日朝愛國號でハルビン到着、直ちに滿鐵理事公館に入り多門將軍に對し本庄軍司令官よりの慰問品を贈呈して後、第○師團參謀と我軍今後の行動作戰につき重要な打合せを行つた

便衣別働隊

【ハルビン六日發】敗退せる丁超及び李杜派は皇軍に對する報復手段として密に便衣別働隊（本日二名射殺さる）を潛入せしめて奇襲する事となつた

べ少年に見舞金
長谷部○團長

長谷部○團長は三十一日双城堡戰において反吉林軍の砲彈をうけて負傷したロシア人ボーイベレルツキー（一九）に金一封を送つて懇ろに見舞ふところあつた、べ少年の負傷は腳および腕部に三彈の盲貫銃創であるが長春衛戍病院において手篤い治療をうけ經過頗る良好である、因に同人の實父は露支紛爭當時滿洲里國境附近において赤衛軍のために銃殺され年老た母が淋しくハルビンで暮してゐるさ【長春電話】

南部線順調

六日から開通した東支南部線列車は七日にいたり全く正確なダイヤグラムに復舊した七日朝六時二十九分長春着の第一列車には日本人三名支那人二三百名の乘客があつた【長春電話】

金榮桂は留任

ハルビン特別區警察處長の椅子を挾んで丁超部下の王瑞華と吉林軍の金榮桂の間に幾度か爭奪されたが皇軍のハルビン入城と共に王瑞華は逃走したゝめ金榮桂は再び警察處長の椅子に留任した【長春電話】

松尾輜重兵隊の遺骨原隊に歸る
けふ近衛師團葬執行

【東京七日發】去る一月九日古賀騎兵聯隊に軍需品補給の大任を果して錦西へ歸還の途次敵匪の包圍に陷り全滅した松尾近衛輜重兵部隊二十五勇士の遺骨は六日午前九時二十九分品川驛に到着した、驛頭には聖旨に依り御差遣の奈良侍從武官長始め在京全陸軍首腦部、關屋宮內次官、遺族その他一般出迎者一千餘名は多數花環の立並ぶホームに出迎へた

遺骨は三十臺の自動車にて出迎へ僧侶と共に分乘沿道に堵列して迎へる在郷軍人團、青、少年團其の他一般市民の涙に迎へられて午前十時二十分芝增上寺門前に出で同寺の回向を受け十一時三十五分原隊に歸着した今夜は原隊にて通夜八日禁庭で閑院若宮、李鍵公兩殿下台臨の上近衛師團葬が行はれる

祭粢料を下賜

【東京七日發】錦西東方で名譽の戰死を遂げた松尾輜重兵中尉以下二十五名の遺骨は七日歸還したので八日午後一時三十分近衛輜重兵大隊營庭に於て嚴肅なる葬儀を執行するが天皇皇后兩陛下にはこの旨聽こし召され祭粢料を下賜遊ばされた

閑院參謀總長宮殿下 軍司令官へ御祝電
感激し直ちに奉答電

閑院參謀總長宮殿下より本庄關東軍司令官に對し六日附を以て左の長き激勵電があつた

地の利と衆多を恃み頑強に交戰を持續せる敵に對し貴軍が祁寒を冒し、困苦に耐え寡兵を以てよく之を制壓し、以て帝國臣民保護の大任を全うし得たるは誠に深く之を嘉する所なると共に、その戰に死し、病に斃れたる者に對し深厚の同情を表す、今や時局愈々重大を加へんさするに方り、將兵一同の自重健鬪を祈りて已まず

本庄軍司令官は八日左の感謝電を發した

當軍のハルビン入城に對し參謀總長殿下より優渥なる御祝電を拜し、且つこの戰に生じたる忠勇なる犧牲者に對し篤き御同情を賜り感激に堪えず、當軍も益々奮勵し以て重任を果さんことを期す、今や國家愈々多事ならんさするに方り、參謀總長殿下の御安泰を祈り、軍務と共に一層御鞭撻を賜らんことを希ふ

陸相から激勵電

荒木陸軍大臣よりも本庄軍司令官に對し六日附左の激勵電があつた

一月二十八日ハルビン方面の急を告ぐるや、貴軍は適時適應の手段に出でられ、輸送機關の不備其他幾多の困難を忍び、以て速かにその目的を達せられたるは本職の深謝する所なると共にこれがため生ぜる尊き犧牲に對し、篤き同情を表す、今や極東全局の前途愈々重大化せんとす、切に將兵一同の奮鬪を祈る

本庄軍司令官は陸軍大臣に對し直ちに左の感謝電報を發した

當軍の哈市入城に對し早速御鄭重なる御祝電を頂き且つこの戰に生じたる忠勇なる犧牲者に對し、篤き御同情を寄せられ感謝に絶えず、我軍益々奮勵以て御期待に副はんことを期す、今や國家愈々多事ならんとするに方り切に閣下の御健康を祈る【奉天電話】

ハルビン郊外の志士碑前の多門師團幕僚

五日ハルビン入城の日の記念撮影前列右から三人目多門師團長（山口特派員撮影）

在留邦人八千名が死地に蘇る迄
皇軍入城を鶴首し決死の籠城
六日ハルビンにて　森、長谷部特派員發

哈市郊外にて猛烈な兵火を交へること一晝夜遂に反吉林軍を擊滅して威風堂々皇軍入哈のその日、在留同胞は虎口を脫した蘇生の思ひに熱狂し感激の涙ぐましいどよめきにつゝまれた、來る日も來る日も不安におのゝきつゝ籠城せる同胞八千の喜びこそ眞に例へ樣なき感慨そのもので我第○○聯隊旗が哈市の一角に立てられたとき哈市の天地は破れんばかりの萬歲の聲にどよめき邦人も露人もともに街頭に飛び出して日の丸の國旗を打ち振りながら淚を流して皇軍を歡迎した籠城一週間に亘る哈市警戒は約八百の自警團の手により領事館居留民會正金は勿論邦人家屋の前には土嚢を築き傅家甸キタイスカヤ方面居住の邦人は殆ど埠頭區にもうけられた五箇所の避難所に收容された收容人員は第一收容所に二百五十名第二に三十一名第三に七十四名第四に五百五十二名第五に六百四十四名合計二千二百名に達し日本小學校も休校し全市の商店街は日露の商店一齊に店を閉ぢて鳴りをしづめた八百の我が警備團員は長銃ピストル日本刀を持つて物々しい武裝で身を堅め皇軍入哈まで哈市の治安を臨して反吉軍に亂されるが如きことはさせまじと云ふ悲壯なる決死的覺悟を以て警備にあたつたのであつた然し街頭に亂れ飛ぶ流言蜚語と、反吉聯合軍の空威張りをながめて曲筆逆宣傳をする支那紙の煽動にすつかり無智蒙昧な支那人を調子づかせ邦人通行人が[illegible]からかくされたり苦力洋車夫に至るまで惡罵を浴びせかける、支那商店から不買同盟を喰ふなど反日氣分全市に漲り不安は刻々つのる一方で歡樂の都ハルビンも遂に死の街となつた斯くして不安の日を送りつゝも八千の同胞は今日皇軍が當地に着するか明日入哈するかと一日千秋の思ひで待ちこがれてゐたのであつたが、頑強なる反吉林軍の抵抗に流石多門第○團の主力部隊は入哈の作戰思ひにまかせず長春を發して五日目の五日午後一時二十分惡戰苦鬪の結果○○○聯隊を一番乘りさして續々主力部隊の入哈を見るに至つた、かくてわが軍と自警團との連絡全くなり哈市の治安は完全にわが軍の手によつて保たれた

三氏脫退問題圓滿に解決
全滿日本人聯合會

全滿日本人聯合會理事總會において藤田、石田、野口三氏の聯合會脫退問題は席上かなり論議されたが、結局大連において開催される公共機關聯合會は屋上の屋にて各地共參加せぬことに意見一致し、先づ三氏の復歸を勸告することさし五名の委員は當日三氏と會見復歸勸告に努めた所、三氏もこれを應諾し、直に總會の席に出席したので圓滿に解決を見るに至つた

しかし三氏の大連聯合會發起人は今更取消すわけにも行かず依然出席することにし、他團體は隨意に參加することにした

なほ日本人會さしては時局多端の折柄全滿日本人聯合會を離れてかくした會議をなすはその一致を缺くものとして、今後かくした會議を爲す場合は日本人聯合會と合流して善處するよう大連と協議することさし三氏の脫退に紛糾し來つた聯合會も雨降つて地固まるの譬へに益々結束を固くしたわけで今後の活動は大いに期待されてゐる【奉天電話】

提出豫算を實行豫算にする
松田關東廳經理課長歸任談

豫算要務のため上京中だつた關東廳經理課長松田憲司氏は七日入港のばいかる丸にて歸連したが船中にて語る

議會解散で關東廳の豫算も不成立に終つたので提出豫算を以て實行豫算にすることゝなつた、だから結局三百五十萬圓おちた千九百萬圓餘になるわけだ、なほ事變費として追加十七萬圓は決定したが滿洲の警察官の增員については塚本長官時代に千名增員案を持つて行つたが結局撤回、二百名だけは增員決定したが、後は新長官が改めて調査の上增員案を出すことになつてゐるが、何れ相當の增員は必然であるが、何とかして經費を捻出しなくてはなるまい、以前滿鐵から經費を出さして警官增員するといふ風なことが傳へられたやうだがそんなことは絶對にない

秘書課長兼任については僕のやうな口の惡い人に頭を下げることの嫌な人間があの役にはちよつと困つたさ快活に語つた

鞍山守備隊 匪賊討伐
頭目を逮捕

鞍山農會聯合會より遼陽縣菁堆子に匪賊來襲し自警團と交戰中との情報を得た鞍山守備隊味岡中尉は部下四十六名を率ゐ三臺のトラックに分乘し六日午前八時討伐に出動した、同地において大匪賊團と交戰し三勝の從弟鄒國臣外三名の有力なる匪賊を逮捕し長銃十二挺、モーゼル拳銃二挺、彈藥三百發、鞍五個を押收し午後三時半歸鞍したが我軍には死傷なし【鞍山電話】

立候補黨派別

【東京七日發】立候補者黨派別七日午後六時現在

△政友會三五一 △民政黨二六〇 △社民一五 △大衆一三 △革新三 △安達派一三 △中立その他三四 △合計六八九

タンクに身を寄せて砲煙彈下を突進

哈市郊外五時間の大激戰！

六日ハルビンにて　山口晴康特派員發

長谷部、森兩特派員にわかれた記者（山口特派員）は五日朝七時師團司令部にあてられた楊馬架を出發、最前線に向つた、四日朝以來ハルビン郊外の堅陣にこもつて、砲撃をつゞけつゝある丁超軍は依然として猛射の手をゆるめぬ高粱畑を進む、**記者の前後左右には山砲、野砲、迫撃砲の巨彈が機關銃彈に混つて雨と飛び霰と降つて壯烈な炸裂をする、記者は幾度か地に伏し凍つた畑にもぐらのやうにはつて**八時半頃敵陣を距る約八百米の野砲陣地に到着した、やがて朝八時半折柄長春より飛び來つた**わが空軍の爆彈一彈、地上に炸裂して一大音響を發するとみるや、記者の眼前に並んだ野砲數門は一齊に火蓋をきり巨火を、ドし一齊射撃を開始した**硝煙の棚びく彼方砲彈は敵陣に落下地殻をつんざく大音響に空陸相呼應し一齊攻撃は北滿の寒野を震撼し砲煙爆煙濛々たるうち徹宵銃を擁つて待機した長谷部○團長の指揮する步兵第○○聯隊の將士は平田○○隊長號令一下すつくと起ちあがつた、**壯絶まさに一幅の戰畫の如く立ちのぼる砲煙、濛々たる彈雨のうち、步兵突撃が行はれた**、みよ、プロペラの響き高く悠々と北滿の曠野を其翼のしたにおさめて**快翔するわが愛國第一號の雄姿記者は蝶轆たる戰車隊の蔭にピツタリと軀をよせて雨飛する彈丸を潜りながら第○○聯隊本部にたどりついた**、ときまさに朝九時ごろである、空陸兩方面からするわが軍の猛撃に浮足たつた敵軍は一たん、陣地を捨て後退したがされども名にし負ふ北滿の强雄丁超軍だ、再び**わが軍の二、三百米まで逆襲を敢行する鬨喚たる突撃ラツパの響とともに○○聯隊本部は燦然たる聯隊旗を先頭に敵軍の密集する敵陣めがけて又突撃日章旗の向ふところ步兵も戰車も、騎兵部隊も、一齊に雀躍して進みに進み撃つ、かくて正午わが尖兵部隊が完全に敵の堅壘たる哈市郊外部落の敵最後陣地に躍り込むまで實に五時間に亘る亂戰突撃の攻撃であつた**、この戰鬪は敵は背後に國際都市ハルビンを擁しわれは平原を突撃するのでわが砲彈小銃彈の市街に飛び入るのを懸念し距離を案じながら射撃するため非常に不利な立場にあつた、戰ひの苦勞は三間房以上のものがつた、このため我軍の損害は豫想外に多く殊に先頭部隊たる長谷部○團麾下の第○○聯隊は戰死十二名、重傷五十三のほか凍傷患者多數を出してゐる

我傳騎の跡を追ふて決死の哈市一番乘り

敗殘兵を收容した病院へ飛込む

六日ハルビンにて　長谷部、森特派員發

沖、横川兩烈士の碑前において劇的な哈市入城記念の撮影をした多門第○師團司令部は既に哈市入城した先發部隊と連絡し司令部を病院街に定めて五日夜の宿營準備に移つた、これよりさき**記者等は敗殘兵便衣隊の潜入によつて危險更に增加した哈市において恐怖に戰慄する在留邦人にわが皇軍入城の□を齎らすべく危險をおかして約一里の行程を一路ハルビン市街をさして決死の潜入を企てた**、灰色に塗り潰されたハルビン郊外は三々伍々點在するロシヤ家屋が色取々なバンガローの屋根を曠野の彼方に浮出させてゐる外には凍つた野菜畑にうら枯れた白菜の莖がカンくと尖り獰猛な野犬の群が彷徨して吠えて牙齒を記者等の姿に向けて咆哮してゐるばかり凄愴筆舌を越へて危期迫る、ハルビンへ！ハルビンへ！曠野を隔てて指呼の内にそゝり立つ市街の眞ン中には取り殘されたやうにカトリツクのドウムが聳立し五時夕べの鐘が寒天をさいて余等の氣持ちをいやが上にもかり立てる、重いリニツクサツクがついた怪物のやうに肩の上で揺れる、**一週間の行軍で丸太棒のやうに突張つた双脚は寒さに凍つて感觸の無くなつた兩手を一生懸命に振り動かしながら放心した様に淀み曇つた記者等の瞳に**

ハルビン市内警備

山口特派員撮影

ボンヤリと明るく照し出されたハルビン市街の灯が映つたハルビンへ！ハルビンへ！

苦力さみまごうばかりのボロ姿のロシヤ農奴（ムジーク）が日章旗を振つて我等一行に「ヤポンスキースパシボー」なつかしい呼びかけをあびせる「ハラシヨー」と酬いてしびれた腕を振るやつと曠野を抜けて一廓の市街に入る、病院街である、赤十字の大旗の上に掲げられた**青天白日旗がスルくと下されて巨大な赤丸燦然たる日章旗が上る**東北護路軍病院（バビロース、シガレツト）赤十字のマークをつけた鐵門の外に立つて記者等を歡迎する「日本人は居ないのか、誰か日本人はこの病院街を通つたか」英語をしやべると云ふ看護長にこうあびせかける「日本人は皆何處かへいつちやたさうだ十分ばかり前にサイドカーでヤポンスキーのソウルヂヤーがかけたよ」さうだ記者等は俄然日本軍の傳騎の跡を追ふて哈市へ入つたハルビン最初の入城者だ電話だ、何より自動車だ、どつと**病院の構内に飛び込まうとする記者の外套をつかまへて看護長が血相をかへる「危いぞこの病院は昨夜の戰鬪で日本軍に射撃された丁超軍の負傷兵が三百名ほど寢て居るのだ」アツとたまげた**、記者は二の足をふんだ、ハルビンを眼前にひかへて負傷兵や敗殘兵に殺されては馬鹿々々しい「赤十字病院は國際公法上絶對中立の安全地ではないか、君は責任を以て僕の生命を保障する義務があるぞ」記者は恐怖を越えた怒號を發した、大丈夫だらう病院は事務室と離されて居るテレフオンの番號を云へ僕は自動車を呼んでやらう、綿然たる事務室に入つて電話を待つ間の十分間記者は恐怖に戰慄した、隣室から運ばれる血みどろな繃帶、ほのかに聞へて來る支那兵の悲鳴、赤十字病院も記者達にとつては危險箇所である、彈痕の著るしい病院の窓をながめながら敗殘兵の影におびえた記者は十分の後露人の看護長が呼んで呉れたボロボロのフオードに乘つて一路ハルビンに驅つたハルビンへ！ハルビンへ！斯くして**哈市入城の一番乘りを決行した記者は死地を脱して今更の樣に再度の戰慄を禁じ得なかつた**

滿洲移民を熱心に質問する

内地農村を遊說して歸つた青年聯盟員の土産話

昨年十一月末母國における滿洲問題認識を強めるため再度の母國遊說に上つた滿洲靑年聯盟一行は全國各地を遊說して廻つたが、一行のうち小山貞知氏ほか二氏は七日午前八時半入港のばいかる丸にて歸連した、船中に訪へば小山氏は語る

今度農村各地で講演した時に驚いたことは到る處で田舍の人等は滿洲移民の事を我々に對して質問するのです、それも移民するには幾何の金を持つていけば良いかとか、費用について細いことまで聞かれ、而も彼等の眞摯な態度には寧ろ當方が面喰つた形です、これは仙臺、信州等の農村では特に多かつたが青森、盛岡等の農民は蕨等を食つてゐる窮乏狀態をみれば成程と思ひます、この點滿蒙の建設問題については滿洲の人より彼等内地の人の方が眞劍に又當面の問題として考へて居ります、無産黨にしろ折角我々兄弟の血を流した滿洲を資本家の喰物にするなと意氣込み、資本家は又投資方面から着目すると事實滿洲問題は内地では全國民が多大な意氣込と關心を持つて居ります、滿鐵の東京支社は最近地方農民から滿洲移民の問合狀が山と舞込んで應接に忙殺されてゐる有樣です、かくの如く全國民の關心は滿洲問題に集中し今度の總選擧に對しては今まで曾てなかつたほどの氣乘薄をみせて居りますが注目すべきことゝ思ひます

スキー大會成績

【野澤七日發】全日本スキー選手權大會第二日成績左の如し

▲幼年組　十八基　一着松橋朝一　一時間五十分十三秒
▲青年組　十八基　宮下義郎、一時間五十五分十八秒
▲壯年組　十八基　横濱宗二（青森）二時間二分十二秒七

木谷選手七位

一萬米遣直し

【レークプラシツド六日發】オリムピツク冬季大會三日目は問題となつた一萬メートルレースの遣り直しが午前九時半から行はれたがA組では濶間石原兩選手とも十二周目で棄權、B組は河村選手十三周目に棄權、木谷選手一人善鬪したが七等となり落選した

薩摩温泉の改造計畫

大樂園にする

當地有力者達は薩摩温泉を買收し金百萬圓の株式會社となし從來の建物全部を改造して娛樂場、温泉場の二部とする市民安息の一大樂園たらしむべく計畫中である計畫案は娛樂場は東京新橋の演舞場、温泉場は大阪の寶塚温泉の粹を取り入れ思ひ切つたスマートな大衆的かつ文化的な施設をなし近く具體的成案を發表し廣く共鳴者を糾合しハイスピードで計畫を進める模樣である

力士團側と交涉開始

相撲協會讓步

【東京七日發】新陣容を整へた大日本相撲協會では角道の紛糾を根本的に解決するため新興力士團の要求に對し大讓步をなし全力士團と交涉を開始する事を決意し春日野藤島錦島等の取締と千賀浦花籠の兩理事は伊藤初五郎氏に交涉を依頼する事となり七日午前下谷の伊藤氏を訪問し新興力士團側の要求八項目に就いて逐條的に協會の意向を述べ力士團側に對し折衝方を一任した

新兵器充實に獻金が增加

戰鬪報道に刺激さる

【東京七日發】毎日の新聞紙上で報道せられる戰鬪狀況に刺戟せられ國軍の裝備特に新兵器が充實して居ないのを痛感した結果、その獻納金が急に增加して來た、航空機の充實費として大阪市外豐中町山の上二二七條方大濤へ今一千圓獻納、同東區北濱二丁目二〇富輪安助五千圓獻納、東京市外西巣鴨町在郷軍人分會及び靑年團から一千圓獻納、裝甲自動車充實費として大阪市西成區千本通り二丁目四オーナドライバー倶樂部は代表者橋本寛治の名で七百七十五圓四十錢獻納、鐵兜充實費として陸軍造兵廠大阪工廠從業員有志から鐵兜七十三個獻納、大阪市東區瓦町大阪メリヤスタオル同業組合では三千百四十五圓五十錢で鐵兜を二百三十三個を購入獻納した

日本商議視察團十五日東京出發

支那問題委員會を開催

【東京特電六日發】日本商工會議所の主唱により全國產業團體聯合會と提携滿蒙における產業視察をなし内地と滿蒙と經濟的連絡を密接ならしめんとする計畫のことは既報の如くであるがその後視察團の行程、旅館の準備等を照會したる處今回は專門的智識を有する少數の有力者を派遣するやう地元會議所より希望等ありこれに基き昨日六大會議所理事會を開きたる結果、今回は十五名を厳選して取敢ず來る十五日東京發視察の途につかしむることになつた

參加者東京四名、大阪、神戸各一名、横濱三名、姫路二名、全國產業團體聯合會四名、日程三週間、十五日發朝鮮經由奉天、四平街、長春、吉林、ハルビン、チチハル、洮南、鄭家屯、營口、大連に視察の豫定

なほ會議所側にては三月上旬大連又は奉天にて支那問題委員會を開催することになつた

映畫會盛況

昨夜滿日講堂

本社主催、亞東印畫協會後援の時局映畫會は六日夜滿日講堂に於て開催したが、時局柄人氣を呼び定刻には既に滿員の盛況で殊に「錦州を衝く」三卷の如きは流石苦心撮影にかゝるだけに充分に皇軍の勇躍が展開され廿萬の兵を收容出來る宏壯な錦州の兵營或は錦州練兵場に於けるわが飛行機の勇姿等觀衆に多大の感動を興へて好評を博し、また時局同胞の後援になれる「愛國號機」の飛翔及び「擧國一致」の二卷を映寫して九時盛會裡に終了した

時期は早いがやる時にはやる

滿洲に來ても矢張り重工業

住友製鋼の荒木氏談

滿蒙の戰雲漸く收まつて今や建設の途上に邁進しつゝある際内地資本家の滿蒙進出は當然問題となるべき時七日入港のばいかる丸にて我國大財閥の住友合資重役常務理事川田順氏、住友製鋼取締役荒木宏氏ほか三氏一行の來滿せることは各方面において注目された

船中に訪へば川田常務理事は十河、村上、宇佐美氏等滿鐵各理事は私の學友でもあり大へん懇意で又總裁とも御懇意に願つてゐるので時局に對し活動してゐらるゝ滿鐵重役慰問が目的で旁々視察の爲めに來たのですが私は長春邊りまで行つて若い人にはハルビンを觀察して貰ひますかな

と巧に問題の要點を避け乍らも滿洲進出について記者の質問に答へて左の如く語る

資本家の滿洲投資問題は未だ早いと思ふ、今や建設の途についたとは云へ未だ軍人が血を流して戰つてゐる時に我々が今出しやばつてどうこうするといふことは遠慮すべきだ、併し將來滿蒙發展の上から投資はどうしても必要であらう

滿洲で事業をしなければならないからその際には何時でも立てるやうに努力は惜まないし又お役にも立つつもりだ、だが住友としては小商人ではないのだから未だ大綱の定まらざる時にさう慌てる必要はない、愈々の時は我々のやうなものでなく各エキスパートを派遣して具體的調査に移る筈だ、さあ愈よ住友が滿洲で事業を始めると假定すれば滿洲は農產國であるとは云へ住友が從來手を伸した範圍以外の仕事には手を出せないから住友として經驗ある重工業、鑛山業に力を入れることゝなら う、尤もそれは

滿鐵が從來續くやつてゐることだし住友としては大きなお得意さまの滿鐵と對立するやうなことは出來ないから滿鐵と協力してやることにならう【寫眞は荒木氏】

自動車海中へ

萬歲街二六自動車運轉手呂盛儀（二一）は六日午後十一時半客を送つて歸途空車を操縱して西埠頭派出所前に差掛つた時急カーブせんとしたところブレーキ利かず自動車は顚覆して車體諸共側の海中に墜落した、幸ひ海水淺く輕傷を負つたのみであるが、車體は大破した

自覺を促すビラ

青年團が市内要所に

朔北の曠野にまだ暗雲去らず、上海の時局また惡化して國難に直面し皇軍將士は身命を賭し暴戾飽くなき支那正規軍および兵匪、土匪と惡戰苦鬪してゐる今日、ともすれば緊張を缺き柳暗花明の巷に出入し或はカフエーを泳ぎジャズに浮れる不眞面目な分子が尠くないのに鑑み大連靑年團では市民の精神作興上甚だ遺憾なりとし七日大連署の許可を受け市内要所々々に「上海の同胞を見殺しにするな」「三國干涉蹴つ飛ばせ」「不良老年よ待合やめて獻金」「カフエーやめて獻金せよ」等の警句を大書した宣傳ビラ二百枚を貼布してその自覺を促すことになつた

ばいかる丸の新船長南部氏

七日入港のばいかる丸は今航海より新船長南部富助氏が前船長原田環氏下船のあとを受けて代つたが南部船長は今まで長江丸船長として天津神戸間航路に從事してゐたもので六年前に福建丸船長として大連航路に從事した經驗を持つてゐる【寫眞は南部新船長】

愛國飛行機「滿洲號」建造獻金の計畫を逸早くもこれに應じて金一千圓也の獻金を申出でたのが市内常盤橋際みなと屋菓子店主人の石川さん

「えらい早いですな、何か特に感ずることでもあるのですか」と人に聞かれ、神極まり惡さうにモヂくして曰く。

「いえ、特に何うといふ深い譯もないのですが何しろお國の一大事ですからね、何とかして報國の誠意を捧げ度いと心掛けて居た折柄、斯ういふ好機會に接したのを非常に有難く思つてゐます、だがこれだけでも出來たのは私ひとりの力でなく店員や工場の人達が常日ごろ眞面目に懸命に働いてくれるお蔭です」と自分のことは棚にあげて從業員たちを賞めることくく。

……◇……

この人、元來一風變つた人で平素は節約家といはれる程の堅人だが何か自分が感ずる所があると一肌脱げれば氣の濟まぬ方で現に昨年も郷里三河の小學校で例の二宮尊德像建造の話が出ると一議に及ばず自分が一手に引受けて寄進し郷黨を呼ツといはせたといふから今回の擧も決して偶然ではあるまいと

滿日各地版

避難中の同胞達は前住地に歸へすか
何等かの積極的方法を講ずべく 穗積外事課長來滿

【安東】在滿鮮人問題に關し重要協議の爲め朝鮮總督府外事課長は五日朝渡安北行した、何しろ事變後の在滿鮮人問題は頗る重大でそう簡單には片づかぬものと見られてゐる、朝鮮總督府としても現に避難中の者は前住地に歸還せしめる方針であるらしく、だが單に歸還せしむることは、從來の例に徵し馬賊等の横行ありとて喜ばざる模樣であり、この點につき關係各方面當局に於ても相當考慮されてゐるらしく、殊に歸還と雖も從來の其儘ではなく或程度の集團的生活部落を形成せしめ之に相當の警備上の設置を伴はしめるものと見られ、斯くなれば、避難民も喜んで歸還するものと見られてゐるが目下の處經費問題が惱みの一つでないかと云はれてゐるも、早晩何等かの具體的打開策が講ぜられ實現の運びとなるであらうと見られる尙安東朝鮮人會の現狀を見るに各地よりの避難民の收容は經費その他に頗る困窮を來して居り之れが永續の場合は到底支持し得ない事にもなるので急速解決方を切望してゐる

危く虎口を逃れ石山站から歸る
朝鮮料理店主石氏

【營口】新市街青柳街朝鮮料理店永樂館主石萬殖の父贊梓は我軍の錦洲占據後、婦數名を伴ない同地に料理店を開業し更に石山店に支店開設の目的を以て韓成奎なるものと共に酌婦二名を連れ去月二十四日同站に下車支那人民家を借り受け開業準備の爲め宿泊中、二十五日午前一時頃數十名の馬賊に襲はれ酌婦は隙を覗ひ逃走したが右二名はあちこちに引廻され虐待を受けた後大凌河を渡り錦州に赴く途中隙を覗ひ逃走したが韓は賊のために追擊射擊を受け射殺され石のみは葦塘に飛び込みたどりくて去月三十一日午後五時頃溝帮子の我守備隊に投じ無事に歸宅した賊は約五百名の騎馬にして頭目は四十五六歲のものであるとのことであるが石は一時慘殺を傳へられたるも危ふく虎口を脫れて歸來したので一家は大喜びである

視察團の來滿に滿鐵の準備
出來るだけの便宜を計るべく 今から懸命の努力

【奉天】內地は九州、四國、中國、關東、遠く離れて北海道からも滿洲の春を訪れて來滿する旅客、團體客が毎年の如く多數に上るので滿鐵々道課では例年二月に入れば旅館、案內所などと連絡を保ち是等滿洲を訪問して來る旅客に對しサービスに案內に宣傳に萬全の準備をなしてゐるのであるが、今年は奉天を中心に滿洲の事變勃發し內地は隈なく多大の衝動を與へてゐることゝて春光漸く加はらんとしてゐる三月頃から或は戰跡視察に、或は經濟事情調査に、次から次へと潮の如くなだれこんで來るであらうと期待され大阪、東京、各鮮滿案內所、名古屋、仙臺各運輸事務所では千名、二千名など、豫約申込みありとよりなかけ車輛の連絡、車內のサービス、各所視察の案內方法等につき寄々打合せをなすのみか旅館、自動車商會方面とも聯絡して

錦州攻撃の裏にこの隱れた功績
滿鐵機關區員活躍 (下)

かくの如く戰時に於て軍用列車運輸上第一生命とも云ふべきは機關車の用水である、從て衛家溝に水源地あるを內査せる運轉所は水源地偵察の目的を以て廿五日第三十聯隊第五中隊の應援を得て齋藤區長指揮の下に豐田工作助役外修繕班四十四名出發した、該衛家溝水源地分岐點に機關車を進めたる頃同地點煉瓦小屋に潛伏せる敵裝甲車假に我れに向つて猛射を賦始した、軍は直に下車非戰鬪員に後退を命じ該隊之れに應戰して前進した、水源地偵察の重大任務を帶びたる豐田助役は單獨砲煙彈雨を犯して零下二十有餘度の雪中を水源地に向つた、豐田助役出發して二十分後齋藤區長はこの事を知り部下一人をやつて萬一のことが出來ては申譯なしとして他の者に機關車の看守を命じ豐田の後を追ひ水源地に出發した ◇

る豐田の姿を認め思はず手を取りて無事なるを喜び合つた、時に砲聲遠ざかり敵軍の後退を悟りつゝ機關車に立ち歸つた、給水タンクを調査するに敵軍は退却に當りテリペリーパイプを爆破せるものゝやうであつたが修理班と共に應急修理を施し給水可能に復した、此の日の行動に於て豐田助役の責任感の發露として彈雨を犯して單身水源地を偵察したるは軍人に劣らざる行動といふべく又部下の身を思ひ其後を追ひたる區長も又尊い、此の長ありて此の部下あり又其心事ありとして軍部より激賞を受けた (寫眞は豐田工作助役)【大石橋支局發】

朝鮮警官隊討伐に出動

【安東】安奉沿線に應援の爲め派遣されたる朝鮮警察官隊はそれぞれ部署に就き活動を開始したが平北より派遣された六十餘名は濱田警部指揮の下に鷄冠山、草河口、通遠堡、劉家、秋木莊の各驛に配置されてゐるが濱田警部以下二十三名は三日朝十時十五分鷄冠山發北行列車で沿線各驛警備狀況を巡視しつゝ十一時四十五分草河口に到着豫て賊徒出沒の情報ありし北

奉天の舊正
新東北の甦生を祝す

【奉天】事變後新興氣分横溢してゐる裡に舊正月を迎へた支那人は各戶共一齊に休業し門前には指導部より無料で配布されたる東亞民族融和、共存共榮、開市大吉、萬事亨通等と書かれた門對子を貼りつけ時節柄爆竹は揚げられず旗も樹てられてないが一層の人出あり平和甦生の新東北の首途を祝し合つて平和な新春を迎へてゐる、尙當日は省政府に於て孔子祭が催された

金州の舊正

【金州】銀安やら不景氣に崇られた支那人社會も五日の大晦日が泣いても笑つてもお終ひだ、隨所に鳴り響く爆竹の音もまばらながら年越には相應しい風情である、明くれば六日さらりと晴れた朝來の春光は彌が上にも舊正氣分が濃厚だ、それでも不景氣に崇られた舊正は何となく淋しい

本春は更に未曾有の盛況を呈するであらうと云はれてゐるなほ例年による來滿する旅客は一年を通じ四月が最も多く四千名三月、五月は千名乃至は二千名となつてゐるが奉天は交通機關中心をなしてゐる關係上朝鮮、大連或は北滿方面から必ず立寄られる地なので本年は優に萬を突破するであらうと期待されてゐる

時局寫眞展覽會

國民精神の涵養と學生教育の參考に供せんため、滿蒙各地に於ける皇軍の勇躍匪賊生活の實況上海陸戰隊の活動を本社特派寫眞班がカメラに收めたる貴重なる時局寫眞四百餘點の展覽會を左記日程により各地で開催いたします

日程	會場
二月七、八兩日	奉天
同九日	長春
同十日	鐵嶺
同十一日	四平街
同十二日	安東
同十三日	本溪湖
同十四日	公主嶺
同十六日	撫順
同十七日	開原
同十八日	遼陽
同十九日	鞍山

健兒團の寄附

【長春】長春健兒團鳴鑾隊では滿洲事變以來後方勤務として凡ゆる方面に不眠不休の活動、續けて來たが殊に涙ぐましいことは十二月から正月にかけて白永隊長以下八名は幼い身にも拘らず寒さを餘所に行商を行ひその利益金二十圓を四日左の手紙を添へて駐長四聯隊に獻金することろあつた

このお金は僅かですが私たち九人の少年が十二月の冬休みを利用して行商した利益金です、お國のために凡ゆる苦鬪を續けられる兵隊さんに何か買つてやつて下さい

新城子附近の村長會議

【奉天】新城子を中心とする附近卅八ヶ村長は七日午後一時から新城子に集合し虎石臺守備隊川島大尉を主催者に左の事項につき協議をなすが村長會議は今回最初である

協議事項

一、最近の狀況、自警團公安隊村長の所持する武器の調査
一、現在居住する部落の人員
一、現在の警備方法
一、現在までの損害狀態
一、附近匪賊頭目の氏名

方約二粁の村落に向け行軍したが賊影を認めず更に北行列車で秋木莊に向ひ過般襲擊されし驛跡を見學し午後二時四十分鷄冠山に歸着したが四日は更に地理賊情研究の爲め濠山城へ出動したと

轢殺事件公判

【遼陽】鞍山北二條町野崎太八郎方上木濟(二八)は和歌山縣下で昨年六月二十七日三輪自動車に木炭二十五俵を積み運轉中十歲になる小兒に衝突肋骨々折の負傷を與へ腦に損傷を來し死に至らしめた廉に依り五日遼陽領事館で花輪司法領事、菊地檢事々務取扱ひ立會公判の結果罰金百五十圓の判決言渡しがあつた

部下を統御し警備力の充實を圖り動亂の巷に好く管內の治安維持を完璧皇國警察の威力を萬全に發揚伸展せしめたる功績は閣下は勿論其の名聲赫々たるものあり當地各官衙在住市民は勿論部下五十有餘の警察官もその信賴厚く優越たる

榮轉する人々

長春署の三氏

【長春】關東廳警務局の大異動によつて長春からの榮轉組は春木警務主任、井上高等主任、中川領事館警察署主任警部の三氏で何れも滿洲事變に功勞顯著なるものがあつた、春木警部は水上署に轉出したが武波署長の許にこの大事變にも拘らず一名の應援者も入れなかつたといふ果斷な人である、井上警部は事變に際しての情報蒐集の着眼とその報告の機敏さとは警務局當下に於て氏の右に出たものは恐らくなからうそれ程不眠不休に動き續けた人で榮轉は當然だが氏を失ふ長春署としては甚だからざる損失であらう中川警部は萬寶山事件でその勇敢なる活躍は日本的に知られたが滿洲事變を今日にあらしめた力ある一つの分子である、長春署が一指もふれ得なかつた憲德記者泉廉治を斷平として逮捕し鬱積してる長春の記者界に一大警鐘を與へた警察官に稀に見る硬骨漢である、尙三氏は相携へて十日午後四時半發列車で赴任の途に着く豫定だと

佐藤署長榮轉

【瓦房店】瓦房店警察署長佐藤雅助氏は五日附を以て旅順警務局衛生課に榮轉の電命に接した氏は當地赴任以來滿二年三ケ月溫厚篤實の性格と職務に恪勤勵精とを以て大に署風を改め支那側との關係も頗る緊密であつた昨年時局以來は一面在鄉軍人分會長として寢食を忘れて公安維持の任を盡され又管外馬賊の襲來に際しては彈雨の中を馳驅して之が討滅の効を奏する等眞に難局に當られたが今回突如として轉任せらるゝ事は非常に惜まれて居る後任には普蘭店より牧田署長來任する筈

猪苗代署長

【大石橋】元猪苗代大石橋警察署長は昨年七月十五日溝子窩署より轉動し今日迄在勤僅かに七ケ月と雖も其の間時局突發に遭遇し管內は匪賊の包圍圈內に在つたが好く

人格に心服共に將來を嘱望期待してゐたが突如關東廳保安課勤務として榮轉の辭令に接したことを傳へ聞きたる官市民はこれを惜んでゐる

氏は赴任早々週月を出でずして管內唐王山邦人小林善人拉致事件を皮切りに十月二十四日沙崗事件には自ら部下を引具して砲煙彈雨を犯かし頭目靑山の配下三〇〇を擊退、續いて白旗信號所を襲はんとする匪賊團に對しては機敏に行動を起し敵の機先を制して之れを殲滅、其後引續き現在迄管內に兵匪の跳梁激增し南臺海城の如きは全く危險急迫せしも邦人保護の爲め好く善處し敵をして附屬地に其の一指をも觸れしめなかつたことは住民の感激するところである

黑林臺を占領

【遼陽】頭目全勝の一團約四百名は五日午後五時十里河驛西北十八支里の黑林臺部落を占據したので同部落民中百廿餘名は十里河附屬地に避難したと

因に署長は二月八、九日頃離石の由なるが後任として奉天署より小坂警部署長として來石の筈

り長と部下との此の心懸けが難關させる北寧支線を最も短日數に於て開通せしめた所以である ◇

元旦には元日午前一時半滿帮子驛信號所外に停車したが、驛構內線路塞がつて居るため入構出來ず、午後三時迄信號所外に待機した、午前九時頃機關車を降りた一行は高粱畑にシートを敷き假ゴーにて酒を汲み天皇陛下の萬歲を三唱し後石油罐を洗ひて餅百個を譯負人より貰つて雜煮を作り、最も意義深き昭和七年の元旦を迎へた、尙一行は盤山攻擊の際は砲煙彈雨を犯し軍隊輸送軍需品輸送の重任を遂行し其行動軍隊に劣らざるものありとして軍部より激賞を受けた【大石橋

女學校の校庭を主婦たちに開放
安東高女の新しい試み

【安東】近來特に女子體育の向上につき種々協議研究されつゝあるが安東高等女學校にては特に此點につき留意し努力しつゝあつたが何分家庭の一部では女性の體育に考慮せぬ傾向顯著なるに鑑み女學校々庭を或一定時間を限り一般主婦卒業生の爲め開放しテニス、薙刀體操等婦人にふさはしい運動をなさしめ尙希望者あらば學校當局が指導獎勵すべく解氷を俟つて何等かの方法で具體化する模樣である、又過般來戶塚校長は學校の正課として弓道部を設けんと既に調査研究を爲して居るも何しろ經難で急に實現の運びには至らぬも一部父兄間に於ても弓道が體育上有効なれば寄附してもいゝとの意向を洩らす向もあり或は具體化するであらうと

海軍將士慰問

旅順市役所に於ては五日午後二時より協議會開催の結果海軍將士に對する慰問袋募集の件につき主催者は對時局旅順市民會とし募集締切期限は本月二十五日迄と決定せるか便宜現金にて市役所へ委託すれば慰問袋を調製する由

會を開催の上四五兩日同會議室に於て第十三回總會を開催するが總會の順序は

▲會長挨拶▲事務報告、役員、會員の異動其他▲昭和五年度業務狀況及收支決算報告▲同七年度業務計畫及び收支豫算決定▲幹事改選

右了つて協議事項に移る筈

滿洲號の獻金

飛行機「滿洲號」建造獻金に關する旅順委員は五日市役所に於て協議の結果永山市長、大塚在鄕軍人分會長、米內山民政署長の三氏と決定大連本部と聯絡の上一齊に募集を開始する事となつた

遼陽

聯合素謠會

遼陽に於ける遼謠會、正謠會、青陽會、十歩老會、海城六流會等の觀世流の聯合春季大會は七日午前九時から正廼家で開催した

陣中文庫募集

遼陽圖書館と社會係主任で陣中文庫募集の處寄贈三千册の多きに達したが更に第二回募集を開始したので一册でも寄贈して貰ひたいと因に今回は締切期日を附せずと

四警部新任挨拶

新任沙河口署長大內佐藏同大連勤務磯邊源治同奉天勤務川渕物作同長春勤務楠田修四警部は六日各方面を歷訪在任中の挨拶を述べたが出發日時は不明

錦州視察參加

沿線輸入組合理事一行が舊正月の休務を利用して錦州視察を實行したので遼陽からも天士洋行主大松號野並一水滿蒙棉花合資會社員の八木弘の諸氏が西村理事と共に六日朝出發したが八日頃歸遼の豫定

瓦房店

◇寒氣凜烈◇

大寒中は殊の外溫暖で楡木に花が咲こうと噂して居た處寒明けの前夜より稀に見る酷寒となり立春に至りて一入凜烈を極めて來た

旅順

神職會總會

滿洲神職會では來る三月三日午後一時から關東廳に於て幹事打合せ

おめでた

▲敦賀町三六 伊藤次郎氏長女和子孃二十九日出生
▲千歲町一一ノ七 板倉保氏三女惠美子孃十日同上

市中の噂

六日は舊正元旦といふので旅順市內は勿論近郊の支那人商家では青天白日旗を揭げて慶祝の意を表したが▲客年の國慶記念日に奉天の醫大が不用意にこの旗を出したので在鄕軍人その他軍方面から非難され、事務長の陳謝となつた▲然るに當時は滿洲事變直後の十月十日にしてそうであつたのが東北四省殆ど平定し張軍閥政權殲滅し盡し新國家の三色旗定まつた今日、依然排日侮日の本據、南京政府の國旗を州內の旅順に揭揚せしむるといふのは一層問題となりそうだ▲前線に遠い旅順の事とて無關心の結果だらうが一考の餘地がある、とは當地某方面の噂である

曙の鐘 (190)
倉田潮 河野想多畫

絶叫 (三)

あけみは息をはずませながら、春木の扮裝をした覆面の後を追ひかけてゐた。

先程壯三と逢つて間もなく彼女と同じ小惡魔の假面が春木の覆面を追ひかけたが、何に驚いてか樹の幹にしがみつき、そのまゝ追跡をやめてしまつた。あけみはそれを見たので、ますくその覆面に好奇心をそゝられた。

もとより春木の扮裝が眞の春木でないことは想像がついてゐた。春木は今は捕はれの身だつた。此の會に來る筈はなかつたが萬一と云ふこともある萬一何んな手段でそこをぬけ出して來ないとは禰ならぬ人間には決して斷言は出來ない。

春木が捕はれの人となつてから彼女は何れほどその面影にあこがれてゐたらう。何んなに狂ほしく其の姿を戀慕つてゐたらう。居ない時こそ居る時よりもかへつてなつかしい。毎日激務と配慮に休むひまもない時でさへ、彼女は心の底で春木を思ひ、いや春木を呼吸し、春木を生活してゐたのだ。

たとへ本當の春木でなくてもよい、春木の假裝でもよい。その假裝から春木の思ひ出をたどり度いのだ。その假裝を語つて、かなはぬ戀を慰め度いのだ。春木を苦めて擒へ、或は殺さればならぬ此の悔ろしい熱情を假面に向つてでもわびたいのだ。

彼女は狂女の如く林の小路を走つた。走りながら春木の名を叫び續けた。息が切れて、胸が踊り通り、目の先が時々暗くなるやうに思つても、氣じような彼女は屈しなかつた。

距離は一間の前に近づいてゐたが、あけみはもう轢も根もつきはてゝしまつた。にもかゝはらず、春木の覆面は殆ど疲れも知らぬげに、右に曲り左によろめいて、からかふやうに逃て行く。つひに、あけみは小石につまづいて、ごつさばかりに地に斃れ伏した。が、彼女はそれを殘念とも思はなかつた。また體の痛みを感じても、驚きろそれを快よくさへ感じた。春木を追ふ力がつきた時、かう云ふ風に地に斃れて、そのまゝ息がたえてしまふのは彼女の願ふところだつた。

荒まじい勢ひで地に斃れて、そのまゝ起き上らぬあけみを見ると覆面は林の小路を戾つて來た。そして、半間ばかりはなれて、右手に雜木の幹をさゝへながら、あけみの姿をのぞきこんだ。泣きぬれたやうにうるんだ月が、林の背後に浮んでゐた。うなかがんだ覆面の姿は黑く、斃れ伏したあけみの假面は薄い月光をあびてゐる。それはおどけた小惡魔の扮裝であつたが、ガウンの裾からこぼれた馬鈴薯の白さを持つた足が、假面の中の美しさを豫告してゐた。

春木の覆面は今なほ木の幹に體をさゝへたまゝ、あけみの假面を眺めてゐたが

「あけみさん、御起きなさい」と靜かに云つた。「もう私も逃げはしません」

「逃げないで下さい」と胸のあたりを烈しい呼吸に波うたせながら、あけみは苦げに半身を起した。

「逃げないから、御起きなさい」

あけみは假面をぬぎすてながら起き上つた。下には眼のさめるやうな大柄な着物をつけ、厚いフエルト草履をはいてゐた。春木の覆面は一歩身をひいた。あけみはその一歩を踏み出して、叫ぶやうに云つた。

「あなたは誰です」

「解りませんか」

「解らないから覆面をとつて下さい」

「いや、これをとることは出來ません」と嚴肅な聲で云つたが、次にはヨブ記の一句を口ずさんだ。

「見よ、彼、わが前を過ぐれど、我れそれを見ず、彼、すゝみ行けど、我れそれを悟らず」

突然あけみは覆面におどりかゝつて、先づ扮裝の洋服をむしり取つた。洋服の下には燃えるやうに紅い洋裝をつけてゐた。覆面は覺悟して少しも抵抗せず、樹立のまばらな黑土の上に月光をあびて、肅然と佇んでゐた。あけみは再び躍りかゝつて覆面をむしり取つた。

マリアが月光を浴びて、悲しげに假面の下から現はれた。

あけみは絶叫して、飛びどさつた。

新刊紹介

▲**邦人活躍の南洋**(宮下琢磨著) 本書は三版まで刊行し更に部正增補を要すべきところを新にし、其後視察した分を加へたものである、而して著者は大正十四年ブラジルの視察に出かけてから、北米、滿鮮、南洋とこの數年間旅から旅のあはただしい生活を續けたのである、そしてそのうちの南洋の第一印象を纏めたものが本書である、南洋を紹介し、わが同胞の奮鬪の消息を傳へたものとして民族發展上に寄與するところ多大なものがあらう(定價一圓五十錢東京市外落合町文化村海外社發行)

▲**浮世繪藝術**(創刊號) 日本美術の精華、日本特有の藝術「浮世繪は」先般發刊された「浮世繪大家集成」全十八卷は江戶時代の民衆藝術の基礎を建設せるもので今後六卷の發行によつて完全に浮世繪の中心論議を獲得されたわけである、今回この「浮世繪藝術」の發刊を見る、本書は浮世繪大家集成を一層價値づける機關で集成に收むることの出來ない名畫に對しては研究と專門諸家の解說を收めてある、今や日本は政治に經濟に思想に藝術に、或る段階を築こうとしてゐる、この時に際して浮世繪藝術の擡頭、更に浮世繪現代風俗畫の新興を企圖する本誌の創刊は本年度の世界藝術の殿堂に一エポックを築くことであらう(定價一圓、東京市下谷區池之端仲町五番地大鳳閣書房內浮世繪藝術社發行)

▲植民(二月號) 定價五十錢、東京市麴町區下六番町五〇番地日本植民通信社發行

▲陸上競技(二月號) 定價二十五錢、東京市神田區南神保町一六番地一成社發行

▲棋道(二月號) 定價五十錢、東京市麴町區永田町二丁目一番地日本棋院發行

▲石楠(新年號) 定價五十錢、東京市外中野町西町四〇番地石楠社發行

▲永鳥(二月號) 定價三十五錢、大阪市南區炭屋町和田內永鳥社

▲**東洋貿易研究**(二月號) 支那金輸出禁止と我輸出貿易、支那市場を如何にすべきか、金輸出再禁止と支那の銀貨、列國關稅戰と本邦對外貿易、南洋經濟界と排日貨運動、英領馬來の近況諸國の關稅に關する法規改正、化學製品市場としての比律賓、米國本年度の景氣展望(定價三十五錢、大阪市北區中の島大阪市役所產業部調査課發行)

▲**大陸研究**(創刊號) 夙に滿蒙問題の政治的經濟的重大性に鑑み義に全國學生靑年有志を糾合し日本靑年大陸研究會を結成し、愼重事態の推移を眺め、合理的解決の研究に務めて居た、昭和六年末日支兩國の事態愈々極めて急迫するに及んで本會機關誌の大陸研究創刊號を先づ公にしたものである(非賣品、仙臺市向山六軒町六番地日本青年大陸研究會)

けふの放送

大連 JQAK 二月八日

▲午前七時 ラヂオ體操
▲午後六時十分 ニュース
(以下內地中繼、七時)
▲兒童科學講座「最近科學文明の槪觀」(第二十四回)大連神明高等女學校大貫正
▲人情噺「貞婦お民」橘ノ圓
▲地唄 三絃富崎春昇、同同美喜子、同富山清琴
▲獨唱とピアノ(一)ピアノ冥想曲より(グリーグ作)(二)獨唱イ「漂泊の人」ロ「魔王」(シユーベルト作)ハ「庭園にて」(ウエルクマイスター作)(三)ピアノ、イ「マヅルカ舞曲」ロ「華やかなる圓舞曲」(ショパン作)鈴木乃婦、ピアノ、ハンガペツオールド、同パウルローゼンシユタイン
(以下大連放送局より)
▲筑前琵琶「橘中佐」法眞山加藤旭明
▲職業紹介事項
▲天氣豫報 ▲ニユース

滿洲日報

陸軍上海派遣に關し帝國政府聲明書發表

この際陸軍兵力の派遣に依つて上海の狀態を回復

【東京七日發】上海事件發生以來專ら海軍陸戰隊を以て居留民の保護に當つてゐたが事態は益々惡化し海軍のみを以てしては良く其の目的を達成する事が出來ないので政府は遂に陸軍を同地に派遣し我居留民現地保護を徹底せしむるに過日の閣議で方針決定した右に關し帝國政府は我立場を中外に闡明する爲め七日午前零時左の如き聲明を外務省より發表した

一、東洋の平和を確保し世界の平和的發達に貢獻するは帝國政府の一貫せる外交方針なり不幸にして近年隣邦に於ける排外運動の暴威は其の不統一不安定なる政情と相俟つて列國共通の憂を釀すに至りたるが**國土近接し利害最も錯綜せる帝國は列國中最大の犧牲的地位に立つに至れり**而して我方に於ても世界の大勢及善隣の關係に鑑み努めて友好的態度に出づるや支那側に於ては却つて乘ずべしと爲し頻りに我權益を蹂躙し殊に**國民政府と殆んど一心同體なる黨部指揮の下に機會ある毎に其の惡辣深なる排日運動を擴大**し在留帝國臣民に對し各種の暴行迫害を加ふるの實情なり

二、上海事件は斯る情勢の下に勃發せるものにしてこれより先青島、福州、廣東、廈門等に起りたる幾多の不敬記事事件乃至某事件等と其軌を一にす即ち之等の事件を通じて看取し得べき事實は**支那官民の我國及び國民に對する侮辱的態度と在留邦人に對する暴行**なるが上海事件は其の最も顯著なるものにして民國日報社は去る一月九日我皇室に對する不敬記事を掲げ又同月十八日は我僧侶等五名は何等の理由なくして支那暴民の爲め襲擊を受け中三名は重傷を負ひ一名は遂に死亡するに至れり茲に於いて過去長日月の間排日に苦しみ殊に最も**惡辣なる情勢に對し隱忍に隱忍を重ね來たれる我居留民の忿懣は其の極に達し事態極めて重大化するに至れり**

三、此の狀況に於いて在上海帝國總領事は帝國政府の訓令に基き右暴行事件を局地的に解決し事態の擴大を極力防止すべき方針の下に一月二十一日上海市長に對し反日會の解散を始め四項の要求を提出せるが二十八日午後三時同市長の我方に對する回答は**右要求を容れたるものなりしを以て我方としては之に依り事態の緩和を期待すると時に支那側の約束履行を監視**するの地位に立つに至りたり然るにこれより先、盛んに上海附近に集中せられたる第十九路軍は支那內政上の關係よりして必ずしも國民政府の命令を奉ぜざるもの丶如く前記上海市長の我要求應諾に拘らず租界附近で戰備を整ふる等の行動ありたる一方便衣隊其他不逞分子の租界潛入もあり市政府附近の形勢亦不穩となり流言蜚語甚だしく此の間閘北一帶の保安隊も逃亡したる爲め居留民をして極度の不安に陷らしめたり**共同租界當局は右不安狀態に鑑み二十八日午後四時戒嚴令を發し列國軍は**豫れて協定せし**受持區域の警備に就くに至れるところ、我陸戰隊に於いて其受持區域たる閘北地方の警備に就かんとするや、支那側は我軍に向つて發砲し攻勢的態度に出てたるを以つて、我陸戰隊は已むなく之が對抗手段を採り茲に日支兩軍の衝突となり**次いで今日の事態に到れり

四、右に依り明かなるが如く前記**暴行事件と日支兩軍の衝突事件とは全然別個の問題**にして衝突事件に至りては元來我方の意志に反するものなるを以つて極力形勢の惡化を防止するに努めたる結果米兩國總領事の奔走もありし二十九日、日支兩軍間に一旦停戰協定の成立を見たる次第なるところ翌三十日午前に至り**支那側は約に反して再び發砲し**更に三十一日午後の停戰會議で中立地帶に關する協定成立するまで停戰を約せるに拘らず**再び攻擊を開始し**其の後引續き砲擊を止めざるのみならず增援軍の上海附近集中を繼續し我方に於いて上海の國際都市たるの思惟に顧み事態不擴大の方針の下に努めて隱忍の態度に出づるや支那側に於ては却つて之を以つて**我軍の敗戰なるやに宣傳して益々攻擊的態度を逞うする狀況なり**

五、統制なき支那の現狀に鑑み又過去に於ける幾多の事例に照らし上海附近に集中せる支那の大軍は無責任なる政治家等の煽動に依り何時如何なる暴擧に出づるやも圖り難く一方今や我陸戰隊は十數倍の支那軍を控へ不眠不休の努力を續け居り我居留民は極度の不安に驅られつ丶ある狀況なるところ**海軍兵力の陸上派遣には自ら一定の限度あるを以つて此の際、陸軍兵力の派遣に依り支那の脅威を去り、一日も速かに上海の狀態を回復し、列國民の不安を除去するを緊要と認め茲に所要陸兵を・海方面に派遣し**て從來の海軍力と協力せしめらる丶事となれる次第なり

六、之を要するに今次帝國陸軍の上海方面派遣の目的は既往に於ける帝國の同方面に對する四時の海兵派遣と等しく多數の帝國臣民と巨億の財產保護の萬全を期し、併せて租界防備に關する國際的義務を完うするに存するを以て其の兵力は右目的達成のため必要なる限度に止め、且つ其の行動……**如き意圖なき事は既に聲明せる通り**にして帝國政府の上海地方に對し要望する處は畢竟、列國協調、相互扶助の精神に依り關係各國と共に、同地方の安寧と繁榮の增進を圖り、延いて東洋の平和と福祉とに貢獻するに存す

上海派兵と陸軍省發表

【東京六日發】陸軍省發表上海方面の事態急迫せるに鑑み今般同方面に所要の陸兵を派遣せらる丶事となれり

派兵により事態惡化を防ぐ

わが陸軍當局の談

【東京七日發】上海派兵に關し陸軍當局は語る

上海事件の原因經過並に派兵の趣きは政府聲明の通りである目下上海附近に於ける支那軍は蔡廷楷十九路軍にて第一線は第六十師約一萬一千、第二線は六十一師約一萬一千、第三線は七十八師約一萬尚ほ眞茹、蘇州間には呼衛三師、南京附近には呼衛一師集中し新編抗日決死隊二十二隊ならびに飛行隊若干も既に戰線に加入す、之れら軍隊は暴戾なる軍閥の煽動と暗愚なる群衆のアフトにより增長其の極に達し對日戰意頗る强硬である、尚ほ我が居留民數は列國に比し數倍し共同租界外に居住營業するもの多くしかも前述の如く急迫せる狀勢に直面現在我海軍兵力のみを以てしては列國協定による防備擔任區域に於いて所謂國際的共同任務を遂行する事すら畜し困難につき陸軍より一部兵力を增加するは臨機應變の處置と言はねばならぬ、要するに今次の陸軍派兵により上海事態の擴大惡化を防ぎ速かに之れを常態に復せしめ列國民の不安を除き得ん事を確信す

イギリスも陸軍派遣

【ロンドン六日發】本日英國陸軍省は目下上海にあるスコッツフジ……

單に投資だけでは根强い發展は困難

滿鐵の資金調達は困難でない

けふ歸連した内田滿鐵總裁談

歸職上京以來滯京月餘に亘つて政府要路と滿鐵今後の重要問題につき打合せを遂げた内田滿鐵總裁は既報の如く七日午前八時半入港ばいかる丸にて政子夫人同伴杉本總裁秘書役を隨へ歸任したが埠頭には江口副總裁以下在連重役全部、各次長其他傍系會社關係や社員夫人連等の多數の出迎へがあつた、外套の甲板上に總裁を出迎へる珍しい

小春日和 の空を眺め……「こちらはとても暖かいね」と……る元氣でサロンに記者團を捗して左の如く語つた

漸く滿洲の方が落着きはじめたと思ふと又上海に問題が起つて甚だ遺憾なことであるが、いづれにしても先方の誤解より起つたことであるから列國にも我立場が諒解されて支那側の誤解が解けてくれば現在以上に事が惡化するやうなことは無いだらう、內地の選擧の話か?ことは自分は門外漢だから全く判らぬ、昭和製鋼所問題はこちらにも種々の說が傳へられてゐるやうだが何しろ政府も組閣間もなくではあり議會解散や對外重要案件等次から次に起つてなかなか忙しいのでこの

問題丈け を右から左へ片付けるやうな譯には行かないの……附屬地行政の政府移管問題……何も今に始まつたことでなく……

上海調査委員會の報告書壽府に到着

秘密理事會に披露

【ジユネーヴ六日發】第一回會合を開いた上海調査委員會から國際聯盟事務總長ドラモンド氏への報告書は手續上まだ正式報告とはなつてゐないが事實上調査の結果が內報の形で澤山出來たのでボンクール議長は午後四時半からの十二國代表秘密理事會に之を披露し英、米、佛への日本の回答と之に對する各國の意見を披瀝せしめ理事會今後の態度を決定する筈

聯盟理事會當分靜觀

六日十二ケ國會議で決定

【ジユネーヴ六日發】本日の理事會公開會議は愈々豫定通り午後五時三十分より開會される事となつた席上上海問題に關する重大聲明があるものと觀られてゐる、尚右會議に先立ち午後三時半より日支兩國を除いた十二ケ國理事會議が開催される事に決定してゐる

【ジユネーヴ六日發】本日午後四時半より日支兩國代表を除く理事會十二ケ國會議が開かれたが現在の情勢で公開會議を開くは徒らに事態を紛糾に導くに過ぎずとの意見有力であるのと英米佛の對日交涉が結了してゐないので上海事件に關しては理事會は暫く靜觀の態度をとることゝなり本日午後五時半よりの公開會議は延期された

コムミユニケ

【ジユネーヴ六日發】聯盟理事會は左の如きコムミユニケを發表した

本日十二理事國會議は非公式に開會意見交換の結果二月一日の理事會にて各國が考慮した對日策が未だ結了せざるに依り本日の公開理事會にて日支紛爭を討議するは妥當でないと決定した

わが爆擊機出動敵陣地を爆擊

爆音空に木靈し壯烈

【上海六日發】我軍は愈々持久戰に入ることに肚をきめたらしく前線には工作隊が出かけて屋根をかけ便所を作り陣地工作……夜に入れば昨朝到着し本日組立を終つた野砲……

て敵陣地に威嚇砲擊を行ふ筈、一方從來指揮系統の關係上航空母艦鳳翔、加賀の爆擊機はあまり戰線……

ち十時五十分……敵の頑强な陣地に對し爆擊を開始した雪雲深く垂れて小雪降りしきる……

學良洛陽政府に感謝

【北平六日發】張學良は……政府に對し中央が敢然……を決意せるを感謝し……

蔣氏軍事會議

【上海七日發】蔣介石氏……軍事會議を開き上海、……とする軍の移動につき……

呉淞の總攻擊今朝來開始

目下双方間に交戰中

陸戰隊急行

植松指揮官談

佛政府の意嚮

獨伊英米協力

佛租界當局共同申込

支那機粉碎

便衣隊引渡し

眞茹飛行場爆擊さる

杭州領事館員は無事

外交方針指示

男女數百萬の軍縮請願書

人事

◀內田康哉氏(滿鐵總裁)……◀杉本重道氏(總裁秘書役)……◀高鷲弓彥氏(男爵)……◀河村統治氏……◀松崎憲司氏(關東廳……)……◀荒木東一郞氏……◀秋山高三郞氏……

東亞の謎 (100)

國枝史郎 挿畫 伊藤順三

大連の冒險

哈市に入城した皇軍
山口本社特派員撮影

ハルビンに一番乘りの白井大尉と土肥原特務機關長の劇的會見と特務機關前に一番乘りしたわがタンクの活躍

わが軍の入城に對し 在哈蘇聯機關は冷靜
丁軍の暴擧には鋭い反感
七日ハルビンにて 長谷部、森特派員發

我が皇軍の入城に關して在ハルビンのソウエート機關が如何なる態度に出でるかさいふことは日、露兩國間の國交關係に微妙な作用を及ぼすものがあるが、我軍が入哈の際在哈蘇聯のいづれの機關も冷靜な態度を固く守り未だわが領事館を初めわが軍に對し何等の提言すらなさない、丁超は過般の双城堡攻擊に際してもその部下に對し恰もソウエート赤衞軍と默契あるが如く宣傳したがソウエート當局ではこの事實を否定し却て丁超軍の暴擧に鋭い反感をもつてゐる、卽ちソウエート當局は東支鐵道をもつて一個の營利會社さ看做し且、支那軍にして規定の輸送賃銀を支拂へば軍事輸送も當方において應ふところに非ず **全く紛爭の圈外にあるソウエートの關知する所ならずとの立前を固く持してゐた事實に**徵するも明かであり **日本軍の哈市入城に關しては恐らく今後の事態の變化が直接的にソウエート側に不利とならない限りは積極的な意見を露はするに至らぬものと觀られてゐる、**これに反し支那軍の行動に關しては **東支鐵道當局では丁超が日本軍に敵對行動を執らんがためハルビン驛において機關車、貨車等全部の運輸機關を差押へたのみか交通機關を杜絕せしめ東支鐵道の收入に一大打擊を與へたことに關して非常に憤つてゐる**

兵力を右翼に集中 一擧に敵陣を破る
東洋ホテルで褞袍に打寛いだ 天野〇團長と語る

五日午後五時、當下各部隊を指揮しつゝハルビンに入城し天野〇團長は矢田高級副官栗栖副官を帶同し臨時〇團司令部に當てられた埠頭區東洋ホテルに入つたが、先づ **風呂** にザブリさ浸り寛濶な襦袢に着替へて同宿の記者(長谷部、森本社兩特派員)を快よく迎へて語る

一週間振りの風呂の味は格別だれ、お互に苦勞をしたれ、三日双城堡驛を出發して以來ハルビン入城まで恰度三日間かかつた譯だ、作戰よりも早く入城が出來て喜ばしい、御存じの通り我軍は兵力の輸送機關がなくて非常に難澁した、僕の〇團なども〇個聯隊の處が約〇個聯隊しかなくて〇團兵力さいつても貧弱なものであつた、作戰上からいへば六日朝から總攻擊さいふ處だつたが師團司令部などでも一刻も早く入哈して不安を除き在留邦人を救ひ度いさいふ考へから四日午後三時半全部隊に總攻擊を命令した、輸送危險であり兵力些少である我軍が危險を覺悟して總攻擊を開始したのだ、四日夜僕の左翼部隊長谷部〇團長に協力する **命令を** 受けたので五日午前三時ごろから俄かに兵力を右翼に集中して一擧主力に當つたのだ、少い兵力を以て强力な敵が長い陣形を張つて居るのを攻擊する時は何時も味方の主力を一方に集結せしめてその包圍陣形を突破する作戰に出るのが常套でこの戰爭でもこの方法によつては成功したのだ、双城堡を出發する際君達も相當考へただらうが、丁超軍は恐らくこんなにまで頑强に抵抗しようさは思つてゐなかつた、直にハルビンまでヒタ押しに押して行けるさ思つたさいふのは一般の考へ方、然しハルビンを根據さしてそこを唯一の資源さして居る丁超がムザムザさ日本軍にその經濟的の源泉を引渡す箸がない必らず一戰を交へるに違ひないさいふのは僕等の觀方だつた、それが俄然的中してハルビン郊外における激戰さなつたのだ、馮占海李杜等が丁超に **合流し** て今度の擧に出でたのは彼等は吉林軍に反抗しこれがために討伐命令を下されて而も馮、李はいづれも張作舟の緣者で自ら新政權に反抗してゐるそれで丁超に合流して叶はぬまでも面子のため自分等の利害關係のために日本軍と一戰する覺悟に出たのだらう、馮の如きは始終僕の處へ書を寄せて吉林軍に歸順するがおさりなしを願ふさいつて寄越してゐた、僕はその誠意あれば責任を以て身分を保護してやるからさいつてやつたのだが、遂に彼等に誠意なく今度の擧に出たのであつた、チチハル、昂々溪の戰鬪から比較戰線は短かつただけ樂ではあつたが、敵はハルビン郊外の支那家屋に銃眼を穿ち堅固な陣地によつて射擊し攻擊するに反してわが軍は掩護物なく平地を冲して行くのだし直ぐ近くには國際都市ハルビンがあるので始終 **遠慮し** ながら射擊しなければならぬので非常に不利益であつた、だから四日の戰鬪では敵の擊つに委かせて我軍は擬平砲射に堪へ夜に入つてソロソロ射擊を開始したのだ、こちらが總攻擊に移つて突擊を開始したころには敵は既に逃げ足を示して退却したから面白い戰鬪もなかつたが、〇團司令部は敵の目標になつて散々彈丸を受けたよ、先づ豫定よりも二日早く入城出來て御同慶に堪へない次第だれ【四平街經由來電】

多門師團長、張景惠と 治安の維持を協議
きのふ司令部で會見

多門第〇師團長は六日午後三時司令部なる東北四護路軍司令部に於て張景惠氏と會見、ハルビン市の治安維持その他重要事項に付き懇談した

邦人の保護に入哈
多門師團長の聲明書

【ハルビン六日發】多門第〇師團長は大要左の如き聲明書を發した

支那軍の行動により一月下旬より邦人の生命財産は危殆に瀕せり偵察のため派遣された我飛行機は射擊され將校は殺害されたり居留民保護のため派遣されたわが軍は双城堡に於て支那軍に攻擊され居留邦人保護のため二月四日ハルビン郊外に到着した我軍も同樣支那軍に攻擊されたので止むなく之を擊退ハルビンに入つた次第である攻擊に當り中外市民、鐵道、一般建造物に損害を及ぼさゞるやう特別の考慮を拂はしめたり治安は支那官憲が維持し我軍事行動を妨げ治安を紊す者は法に照し之を排除する用意を有す

皇軍の入哈により 再び歡樂境とならん

死の街ハルビンも我軍の到着によつて漸く蘇へり市中各所に避難して居た二千九百名の邦人は六日早朝から大きな風呂敷包を肩にしながら安堵の色に浮れつゝ吾家へ歸り日本人商店街も六日朝から景氣よく開店した、自動車や人力車の交通機關も平時に復し、すべては生き生きさして活動に歸つた、空には早朝から長春飛行隊から飛來した愛國二號及び三臺の我偵察機が市の上空を亂れ飛びタンクは轢轢たる響きをたてゝ市中を練り廻り不安に打ち慄きつゝ籠城生活を續けてゐた同胞達は何れ程だけ力强き感銘を與へて居るとか、斯くて死の街ハルビンもこゝ二、三日內に再び歡樂の都さ化すであらう

奉天を中心とする 移動警察隊を新設
警備力充實の第一聲

事變勃發以來在滿警察官の活動は軍隊さ共に非常なる活力を示し關東廳においても取敢ず當面の處置さして各署より增員派遣を行ひ治安維持匪賊討伐を敢行しつゝあるも未だ充分なる警備力さしての充實には相當の開きがあり且又組織立つたものではないため十二分の機能を發揮することが出來なかつたので這次山岡長官林警務局長の着任さ共にこれが考究中のさころ過般長官、局長赴奉により一層これが充實の急務を痛感せられ茲に森本警務課長さ共に意見の一致を見たので關東廳警務局さしては近く敢行實施される警備力充實の第一實施事項さして奉天を中心さする移動警察隊なるものを組織的に新設し專ら匪賊討伐及警備方面の完全を期することに決定、既に大體の具體案も出來上つてゐる模樣で發表終了直後において一部の實施を行ふ模樣である

反吉軍敗殘兵掃蕩
愛國號も出動し爆擊

【ハルビン長谷部、森特派員六日發】反吉聯合軍は五日午後一時過ぎより雪崩をうつて賓縣方面に敗走しつゝあり、さの我偵察機の報告により哈市郊外に宿營中の多門第〇團司令部では同夕刻より追擊を開始し五日夜から六日拂曉へかけて遠雷の如く野砲の響きは哈市の日本人街にまで殷々さして聞こえ一方愛國二號機は賓縣方面に敗走する敵軍を盛んに上空より爆擊し敵に多大な損害を與へた、なほ五日拂曉戰において負傷せる反吉軍の負傷者三百餘名は病院街の東北護路軍赤十字病院に今なほ收容されて居り便衣隊も多數市中に入り込んで居る模樣で未だ市中は一抹の不安に襲はれ居り、要所々々の土嚢はその儘にして我軍の手で物々敷く警戒依然さして續けられて居る

賓縣の公安局 兵營を爆破
吉林軍は警備に出動

皇軍の入城さ共に舊軍閥系の反吉林軍は東部線及賓縣方面に逃走したゝめ我軍は北滿の絕對的平和さ在留邦人の安全を期するためこれが掃蕩撲滅をはかることゝなり飛行機は既に賓縣公安局兵營その他を爆破し裝甲車、戰車その他自動車隊は騎兵さ連絡追擊を續け一方吉林軍は七日午後二時頃長春發列車で警備第二旅長李文柄、同第三旅長祭文三氏の統率の下に警備第三團、四團の主力をハルビン等を警備のため出動せしめた【長春電話】

【軍司令部發表】李杜、丁超、王之祐は呼蘭に趙貴、馮占海は賓縣に逃亡し敗殘部隊を整頓せんさしてゐる、反吉林軍の主力は賓縣方面に一部は呼蘭、阿城に向つて退却中である、わが飛行隊は六日朝來退却中の敵を猛擊したが特に午前十時半頃蜚克圖、永增源附近を潰走中の敵千の敵を攻擊して多大の損害を與へ蜚克圖では退却中の野砲三門を微塵に粉碎した【奉天電話】

舊軍閥系は 情實を棄て一掃
北滿各地の後始末に 郭恩霖氏ら一行赴哈

吉林省政府軍政廳長郭恩霖氏及その隨員三名は六日午後八時卅分着吉長線列車で來長、驛前福順館に投宿したが、七日午後二時廿九分發東支線でハルビンに向け出發した氏はハルビン行きについて記者に語る

ハルビン在住日本人保護のため出動した日本軍に對し抵抗した反吉林軍は一堪りもなく擊破され支離滅裂さなり逃走したが自分は熙長官からハルビンを初め賓縣その他北滿各地の治安維持さ兵匪逃走後の各機關事務整理を命ぜられ赴哈することさなつた丁超、李杜等の舊軍閥系は例へハルビンを逃走したさはいへ今後絕縁まで日本軍に反抗を續ける旨傲語してゐる、一方ハルビン支那側銀行團も舊軍閥態援のため多額の軍資を提供し殊に永衡官銀號は七十萬元を贈つた事實があるので極力之が調査を行ひ北滿の平和を擾す徒輩は斷乎さして排除する積りで舊軍閥系は一切情實をすてゝこの際一掃する積りである

因にハルビン電業公司新任總辦金世榮、同介辦洪文垣、駐哈濱江縣公安局長王家驤三氏は郭氏一行さ共に赴哈した【長春電話】

威風堂々と けふ觀兵式擧行
空軍も參加し壯觀

【ハルビン特電七日發】ハルビンに入城したわが皇軍は十日間に亘り長途の强行軍により疲勞恢復のため五日夜來諸部隊を市中に分宿せしめたが、愈々七日午後一時から停車場前廣場において莊嚴なる觀兵式を擧行、軍の威風を示すことになつた、當日はハルビンにあるわが飛行機、タンク等の新兵器全部參加し空に陸に壯烈な分列式を行ふ

馬占山來哈
多門中將と會見

馬占山は我軍入城の報に接し六日夜海倫より汽車でハルビンに來り七日朝十一時から滿鐵理事公館において多門將軍さ會見した【長春電話】

旅順聯隊の死傷者

ハルビン附近戰鬪に於る旅順駐劄步兵第〇〇聯隊の死傷者左の如し

▲戰死第二中隊上等兵山崎源一 ▲重傷後死亡第六中隊一等兵下鳥麟兒 ▲重傷第六中隊上等兵小野塚武 ▲輕傷第二中隊軍曹松澤末三

五氏送別會

今回の異動によつて大連各署より轉任する久下沼前沙河口署長を始めさして平光(水上)大塲、福間(大連)田口(刑事課)の各氏部の送別會を大連司法記者團發起で市內美濃町扇芳亭にて八日午後六時より開催一般申込者は同日午前中大連署保安係り(電四〇〇九)沙河口署警務係(九四四〇)へ申込まれたい會費三圓五十錢は當日持參のこさ

天氣豫報

八日 北の風晴れ後曇り

各地溫度

	七日午前十一時	昨日最低
大連	零下四・〇	四・八
旅順	同 一・八	八・七
營口	同 八・八	一九・〇
奉天	同 八・五	二一・五
長春	同 九・九	一八・九

滿洲號獻金の 時局映畫の夕

七日午後六時半滿日講堂

映畫「協力一致」滿蒙に於ける日淸、日露の兩役から現在の狀態を示した二卷▲「錦州を衝く」錦州方面の皇軍三卷▲「愛國號」一卷

附記……場內整理料さして大人十錢子供五錢いたゞきます

主催 滿洲日報社

武門血笑記（47）

下村悦夫作　布施長春挿畫

廣い世界へ（二）

障子を開けて、入つて來たのは宿の女中であつた。

「お床を、お延べ致しませうか」

行燈の灯を中に、向き合つて座つてゐる、二人の美しい男女を、眩しいやうな眼で見上げながら、丸出しの田舍言葉である。

「む、こちらに拙者のを、それから隣の部屋にこの方のを」

縫馬はこう云つて、お梨花の方を見た。

お梨花は、行燈に面を反むけたまゝ、默つて項垂れてゐた。

「それから、下に居る供の者には早く休むやうに云つてくれ」

「ひえ」

怪訝な顏をして、二人の方を時々盗み視しながら、下女が兩方の部屋へ床を延べて出て行くと、あとは又、二人きりの、甘酢つぱい息詰まるやうな世界であつた。

仕切りの襖を開けたまゝになつてゐる隣の部屋には、お梨花のために設けられた臥所――そこにはうす暗い行燈の光に照らされて、朱塗の枕が一つ、ぽつんと置かれてゐる。

「お梨花どの、お寢みになりますか？」

「はい」

が、お梨花は立たうとはしなかつた。

「そなたは、儂を、はしたない男だと、思つてゐられるであらう喃……」

「いゝえ」

お梨花は、項垂れたまゝ、頭を振つた。

「仇討に出た最初の夜に、斯樣な事を……」

縫馬の聲は、かすれて顫えを帶びてゐた。

「そなたの爲めにも、拙者の爲めにも、あの憎いお蓮とやらと、瀧之丞は、天地神明に誓つても打たねばならぬ。武門の意地、名譽にかけて、立派に本懷を遂げて歸らねばならぬ。それは云ふ迄もない事ぢや」

――と、句切句切れに、話かける縫馬の聲は、聲を潜めてゐるが、それだけ募り上つて來る心の顫ひ動揺を押へ兼ねてゐるらしく、次第に熱を帶びて來る。

「が、拙者は何よりも、いや、その武門の意地を立て、榮譽を得る爲めにも、何よりもそなたを、はつきり得たいのぢや……そなたの身も心も、はつきり自分の物にしたいのぢや」

「…………」

「お梨花どの、そなたは、未だはつきりと、あの露木が憎いと思つて居らぬのではないか？」

縫馬は、口のあたりを、ぴくぴくと震はせながら、膝頭をぢりぢりとにぢり寄つた。

「何で、左樣な事を……」

お梨花は、はつと胸を突かれたやうに顏を上げた。

「いや、拙者には、そなたが心の底から、露木を憎んでゐないやうに思へてならぬのぢや」

「敵の露木樣を、何で私が憎まないでゐられませう、あなたは、あなたは、そんな事を有仰つて、私を、私を……」

お梨花は、わなくと唇を慄はせながら、そのまゝ言葉を切つて兩手で袂を顏にあてると、聲を忍ばせて歔欷り泣き始めた。

「お梨花どの、そなたがそれ程におつしやるなら、お梨花どの、そなたの身を心も、拙者に……拙者に……」

縫馬は喘ぐやうに息をはつませて、こう云ふと、そのまゝ、つッとお梨花の傍に、歩み寄つて、慄えてゐる彼女の肩に、しつかりと手をかけた。

討入以前　赤穗浪士の討入以前に吉良邸に忍び込んだ同志の戀物語を描いた辻吉郎監督作品で澤田清と高津慶子が主演してゐる【帝國館上映】

協和會館映畫 チエホフとトルストイの夕

來る十日午後六時半より久し振りに滿鐵社員倶樂部主催で、協和會館に於て映畫會が催される、映畫はチエホフ原作「官位と人民」八卷、トルストイ原作「神父セルギー」十卷で、チエホフの物は「將軍の犬」「官吏の死」「アンナ颯」の短篇三部からなり無限のユーモアと痛烈なる諷刺に充ちたもの「神父セルギー」はイワン・モヂユウヒンの主演で、トルストイの宗教的苦悶を如實に描いたものと共にソウエートの純文藝映畫である。解説白藤六郎氏、伴奏ヤマトホテル・オーケストラ、會費五十錢、會員外八十錢、座席券前賣當日午前九時より

きのふの舊正と土曜日は果然映畫街が近來になく活氣立ち▲先づ實館が七時には札止めして「白痴の弟殺し」で紅涙を絞り▲揚高は映樂館の「市街」が第一位で開館以來の記録をつくり▲第二位は「榮冠涙あり」の中央映畫館、次いで大日活が久し振りで陸上までギツシリと詰り▲常盤座の「ハアマン」は足場だけハンデイキヤツプがついたが、尻上りが期待される▲そこへ今日から帝國館が「討入以前」を三十錢の大衆興行で乘り出し、今夜の決戰が興味をそゝつてゐる

時局軍事映畫會 今夜滿日講堂で開催

社告の如く今七日夜六時半から本社主催で滿日講堂に於て滿洲號獻金時局映畫會を開催するが、上映々畫は亞東印畫協會が多大の苦心を拂つて最近撮影した錦州方面の皇軍の活動状況を示した「錦州を衝く」三卷、國民愛國の結晶になつた愛國號の活躍をカメラに收めた「愛國號」一卷及び内地に於て好評を博してゐる滿蒙に於ける日清日露の兩役から現在の状態を採録した「擧國一致」二卷で何れも時局軍事映畫として期待されるものである、なほ入場者は會場整理費として大人十錢、小人五錢をいたゞくことになつてゐる【寫眞は「錦州を衝く」の一場面、盤山へ進軍する皇軍】

ペーブメント

レヴユウを呼び物にした大連會館のサンライズ・フオーリイも珍らしい間はまだよかつたが、そろそろ鼻につき出すし、餘りチヤチ過ぎて人氣を落したが、最近京城からギングレヴユウ團の踊子を六人連れて來て一寸見られるやうになつた、この六人のうち七歳になる原メリーなんていふのが、可愛くて受けてゐる、今やつてゐる「モダン節」程度なら見てゐても腹が立つやうなことはない、たゞしネタ切れになれば知らぬこと、文藝部よ勉強しろと言ひたい、そのうちまた十四五人踊子が來るらしいから、サンライズ・フオーリイもそろそろ面目を一新するだらう、物になりかけて來たからこの際頑張ることだ。

本社特選 新棋戰（其八）

香落　八段△花田長太郎　六段▲平野信助

【圖は二四香迄の局面】

▲平野氏「持駒」金歩歩歩

△花田氏「持駒」飛角桂歩歩歩

▲二六角成　△九二角●　▲同香　△同銀　▲三八銀　△二七歩　▲同銀不成　△三九桂●　▲四六成銀　△一七玉　▲一五歩　△二六歩　▲一六歩　△三八飛　△二七玉

【土居八段講評】△花田君の九二角打は防戰を誤つた此處は三八桂と打つて二筋を極力防戰しておけば尚面白い。この一手のため上手の玉は俄に窮屈な局面となつた。但し三九桂打と犠牲にしたのは已むを得ない。

滿洲日報

附錄

在留邦人保護に入哈した皇軍の活躍

砲彈下を潜りて　山口晴康特派員撮影

寫眞說明

（一）ハルビン滿鐵事務所前に歡喜して皇軍を迎へる在留邦人

（二）威風堂々ハルビン入城の○○砲兵聯隊

（三）哈市南郊から丁超軍を砲撃する○○聯隊の砲陣

（四）楊馬架で敵前視察をする砲兵○○聯隊

（五）入城した多門師團長（左端）と張景惠の會見（右端）中央は木村通譯官

滿洲日報
發行人 鈴木　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月金一圓二十錢　郵稅金十五錢　一部賣金五錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢　特別一行金二圓六十錢　場所指定二割以上加算

平和的解決を期待し米政府が更に調停案

關係列國と頻に通信を交換　兩三日中帝國へ發送

【ワシントン五日發】上海事件に關する英、米、佛三國共同提案に對して日本の回答に接した米政府の態度は日支紛爭は既に一轉期となりたるも、**平和的解決の見込は未だ失はれてない**といふにある、この目的の下に之が對策を凝議するところあつた、而して日本が**三國共同提案の主要項目を拒否せる事實はアメリカを失望させたが**官邊では倚局面打開の途ありと見て居りアメリカ政府は近く調停案を發するものと豫想されてゐる、而してアメリカ政府は在支アメリカ人の生命財産保護に關し更に救援を必要とする場合極めて迅速に必要なる行動に出る筈である

【ワシントン五日發】上海における形勢は益々逼迫しつゝあるので米國務省は之に對して最大の關心を拂ひつゝあるが、スチムソン氏は目下イギリス其の他の關係列國政府と通信を交換し極東の平和、特に上海共同租界の保護に關する對策を講じつゝあるが、**三國共同提案に對する四日附日本の回答に對し列國の意見を纏めた上兩三日中に日本政府に發送**する段取となるだらうと觀られてゐる

英も來週中再勸告か

【ジュネーヴ六日發】イギリス始め列强は日本政府に對し日支間の敵對行爲を中止して**上海中立地帶設置を促すべく新勸告**を行はんとしてゐるとの情報が聯盟に傳へられてゐる、而して理事會は列國の行動が聯盟に通告された後開かれるであらうが**支那代表部は上海の情勢不利に焦慮し**列國の要求が直に容れられねば聯盟臨時總會の招集を要請すると稱してゐる

【ロンドン五日發】英政府でも對日回答に對し愼重に審議中である回答發送は來週中と見てゐる

帝國政府の重大聲明

七日上海事件に關して

【東京六日發】上海事件對策遂行に關する**帝國政府の重大聲明は外陸海の各關係當局で案文作成中だが愈々七日中に中外に發表**する事となつた、右につき左近司海軍次官、百武軍令部次長以下海軍首腦部は六日午後四時陸軍省に荒木陸相、杉山次官、眞崎參謀次長以下陸軍首腦部と會合し七日公表さるべき帝國政府の重大聲明に伴ふ重要措置に關し種々凝議を遂げて午後五時半辭去し、更に午後六時陸相官邸に三長官主催晩餐會を開き荒木陸相、武藤總監、眞崎次長、杉山次官以下時局關係軍首腦部二十餘名出席今後の時局對策につき懇談を重ね八時散會した

> ## この際斷乎として惡軍閥を膺懲
> ### 各國は冷靜に支那を檢討せよ
> ### 植松新指揮官聲明

【上海六日發】植松陸戰隊新指揮官は軍艦熱海で來滬午後三時半陸戰隊本部着、直に鮫島指揮官と事務引繼を了し新聞記者室に現はれ例の豪快な調子で「どうぞよろしく」と挨拶を爲し本部内の空氣は俄に明るくなつた感がある、御感想はと問へば、これだけだと左の如き謄寫版刷りの「談話に代ふ」といふメッセージを渡して淸水副官の案内で各大隊本部の視察に廻つた、折柄空には戰鬪機○臺爆撃機○臺が爆音勇ましく飛翔し、時々敵陣に向つて爆撃を行へば我が野砲陣地からも之に呼應して敵陣を粉碎すべく猛襲擊を行ひドンヨリ曇つた當地の空模樣の中に空陸相呼應し砲擊物凄く轟き渡つてゐる

時局甚しく惡化せるの際陸戰隊指揮官を命ぜられたるは自己の責任甚だ大なるを考ふるも、難局に當り得るは武人として眞の本懐とする處である、上海の性質は自分はよく承知してゐる、然るに英、米其他二、三の國において意見の相違せるものあると

聞くは意外とする處である、吾人の考ふる處にては今や日本海軍は世界最惡の軍隊並に卑劣極る便衣隊に對し人類文明のため鬪りつゝあるのを思ふ、れ居る多數の民衆に對し幸福の擁護支那自體の軍閥に壓迫さ

一將軍其他各國指揮官と共に極めて圓滿なる協調の下に共同租界防備に任じ佛租界を守備せる佛指揮官とも步調を合せて共產黨並に支那軍の租界奪取及び擾亂に對しよく租界を守り得たのである、本年は當時の**排英に代ふるに排日**を以てするのである、此際斷乎として惡軍隊を膺懲せざれば、次々と各國を個々に苦しめ租界は常に不安を續くると思ふ、兩三日前よりは上海港に出入せる國際水路に對し支那兵は脅威を加ふるに至れりといふ、此等は

一九二七年猛烈なる排英運動起るや、兵を上海に集中せるもの英、米、佛、伊、蘭、日其他都合八ケ國に及び余は當時の日本陸戰隊指揮官として英タインカン將軍米バトラ

實に上海そのものを死滅せしめる不法行爲である東洋人は東洋人の心理をよく解す、余は恐れる、一九二六年において起りかけたる排キリスト教運動の如き今後來る事なきや、その空氣は一部において濃厚なるを認む斯くの如き場合には人類文明に對して實に由々しき大事と思ふである、一九〇〇年の義和團事件はそれである、**各國はよく冷靜に阿片に中毒せる支那人を詳しく檢討**する要ありと思ふ

陸海軍々事參議官會議

【東京七日發】上海事件重大化に鑑み陸、海軍當局は萬全を期するため十日午後二時より海相官邸に陸海軍々事參議官會議を開く事となつた

海軍首腦緊張

【東京七日發】海軍では上海の事態を重大視し七日日曜日にも拘ら

上海の事態に鑑み米艦除籍を中止か

アジア艦隊の十三隻

【ワシントン六日發】米國亞細亞艦隊所屬驅逐艦六隻潛水艦六隻航空母艦一隻計十三隻は今秋除籍されて豫備に編入さるるに決定したが上海の狀勢重大化に鑑み右は取止めとなる狀勢にあると觀られるに至つた、右に就き軍令部長プラット提督曰く

若し上海の狀勢に鑑み同地に亞細亞艦隊掛備の必要あらば該艦隊の配備を繼續するであらう、若し東洋の狀勢が急迫を告げれば十一日決定の艦隊編成變更令は延期されやう米國海軍は居留民保護並びに危險地區民の引きあげに備へるため驅逐艦を配備する必要がある

各地の御眞影

【上海六日發】敵砲彈は依然租界に落下し危險のため今朝軍艦安宅に軍部、領事館聯合協議會を開き北部小學校、女學校及び各官衙の御眞影を軍艦安宅及び常磐に奉遷するに決定した

す伏見軍令部長宮殿下の午前十時御出仕に前後して大角海相、左近司、豐田、百武諸氏各首腦部以下各班長等出動上海よりの情報を待ち非常な緊張振を示してゐる

邦人千名に引揚げ命令

【上海七日發】陸戰隊本部は今早朝本部附近の旭町、ダラック路、北四川路終點附近に在留せる邦人約一千名に引揚げ命令を發した這はわが軍事行動を徹底せしむるためで霙の惡天候を衝いて虹口方面に引揚中である

姑息なる解決不可

重光公使固き決意を披瀝

【上海六日發】上海事態に對し英米側から提出した調停案に對し、重光公使は今回こそ一時的な姑息の解決をなすは再び笑ひを後日に殘すものだとの見地から徹底的解決をなすべしとの斷乎たる信念を披瀝した

植松指揮官に在留民信頼

【上海六日發】植松指揮官は到着後直に北四川路及び前線一帶の實地につき視察し陸戰隊本部で幕僚全部を激勵士氣を振起した、在留民も植松指揮官に信頼して一切の希望を揭げ此處に軍民一致從來の空氣を更新した

臨時飛行場を設置

【上海六日發】敵は本日更に數臺の飛行機を當地に空輸して來たが、なほ相當多數の飛行機を當地に集結する模樣なので我が航空隊は來るべき空中戰に備へるため本日租界に近接せる〇〇廣場に臨時飛行場を設定し第一航空戰隊の戰鬪機爆擊機〇〇臺を此處に移し敵の襲來の時はすかさず飛び揚り之を追擊する準備を整へた

上海に在る列國の兵力

【東京七日發】在上海列國陸上兵力に就き六日現在陸兵陸戰隊の人員左の如し

	陸兵	陸戰隊
英國	三、四〇〇	三、二〇〇
米國	三、三〇〇	三、〇〇〇
佛國	二、四〇〇	一、〇〇〇
伊國	二、〇〇〇	—

我軍飛行機野砲で猛烈な攻撃を開始

支那街一帶は火の海

【上海七日發】陸戰隊は植松新總指揮官、第四戰隊を迎へて意氣天に沖し今日中に閘北一帶及び呉淞の占領を行はんと勇躍し午前十時半空中爆撃を中止し閘北の敵に對して野砲、曲射砲、燒夷彈を以て猛烈な攻擊を開始し十一時早くも敵の堅壘所在地虹口クリークの中山路、寶興路、北河南路角附近の一帶は炎々たる猛火の海と化してゐる、かくて午前十時五十五分我が野砲隊に對し打ち方止めの號令が下ると共に海軍重爆擊機〇臺は霙交りの雨を衝いて一齊に出動して閘北方面の敵堅壘に對し再び爆擊を開始した、爆擊終ると共に野砲隊は砲擊陸戰隊は突擊する筈

支那飛行機二十六臺集中

【上海七日發】支那側は飛行機二十六臺を虹橋飛行場に集中しつゝあるが昨日上海市長呉鐵城は工部局參事會議長マックレーラ氏に對し支那側も飛行機使用に決定したとて通告した

植松少將指揮

【上海七日發】新任陸戰隊總指揮官植松少將は午前七時半裝甲列車二、トラック五臺に兵を滿載自ら之を率ゐて呉淞攻擊の爲め同地へ向つた

支那軍夜襲

【上海七日發】日本時間午前零時二十分敵は突如砲門を開きたるため我が軍は直に應戰し砲彈殷々として轟き砲彈は北四川路終點一帶に落下し次いで我が野砲陣地と第五大隊本部に夜襲して來た敵は我が反擊にあひ日本時間零時五十分算を亂して退却した我が野砲隊は背後から砲火を浴びせ大東街方面は火災を起し焰々と燃えつゝあり

皇軍の死傷者

【上海七日發】五日迄の皇軍の死傷者累計左の如し

戰死者　五十四名
重輕傷者　三百五十二名
（內重傷者）　九十名

陸戰隊本部を又も砲擊

【上海六日發】敵は午後四時陸戰隊本部目がけて砲擊を開始し一彈は本部の附近の正金銀行支店支配人松本氏宅に落下した

南京在留米人に引揚命令

【南京六日發】米國總領事は居留米人に卽時引揚げを命じた、南京全市はわが空軍の攻擊を恐れ大混亂に陷つた

呉淞砲擊損害

【上海六日發】呉淞砲擊の我が損傷につき本日第一遣外艦隊司令部は左の如く正式發表した
昨日來呉淞砲臺よりの砲擊によりわが第三十驅逐隊如月、睦月皐月の三艦は無數の敵彈を浴び艦長以下機關長、兵員にも多數の死傷者を出した

支那軍は內部的に崩壞氣運濃厚

今日迄の死傷約六千

【上海六日發】上海戰事開始以來敵軍の損害は意外に少いかのやうに傳へられてゐるが、確なる方面の調査せるところによると我軍の猛擊に其損害は莫大なるものあり、蔡廷楷の第六十師は戰鬪力を失ひ後退の餘儀なきに至つた位で、今日までの死傷約六千を算されてゐる、殊に國民政府の洛陽移轉以來財政は全く破綻に瀕し軍費の捻出等思ひもよらず遂に支那兵の不滿甚だしく彼等敗殘兵は師旅長の逆に向くるに至るやも測られず、南京方面の不安は極度に達し避難者は遂に外人街に入り今や支那側の內部で崩壞の氣運が濃厚となつて來た

汪氏最後の決心を語る

【北平七日發】行政委員長汪精衞

上海事件を利用し蔣、全國軍を統一

對日軍事大綱を決定

は洛陽を訪問した支那記者團に上海事件に就き不戰條約、九ケ國條約の適用されず國際聯盟何等の制裁を加へざれば國民政府は決して南京に歸らずと言明し日支交涉には絕對に應ぜず政府は最後の決心を爲したと語つた

【北平七日發】蔣介石は開封で對日軍事大綱を定め軍事委員會を開き決定の筈であるが案は全國を四區に分ち

一區（中央）　蔣介石、韓復榘
二區（河北）　張學良、徐永昌
三區（東南）　陳濟棠、白崇禧
四區（江蘇、浙江）　何應欽、陳銘樞

をそれぐ正副長官とするもので蔣は上海事件を利用し全國軍を統一せんとするものである

對日戰最高指揮

蔣介石開封へ赴く

【北平六日發】蔣介石は對日軍事最高指揮に當るため昨夜洛陽から開封に着いた

九路軍の實際の頭目は廣西軍の張發奎で彼は元共產軍系に屬し今次の事件發生せしめた元兇孫科、陳友仁の使嗾を受け現に眞茹の敵司令部に在り蔡廷楷、顧祝同の上に立つてゐる

便衣隊引渡

【上海六日發】總領事館工部局協議の結果軍艦夕張に逮捕監禁中の敵便衣隊五十六名を午後六時工部局に引渡す事となつた

戰死傷者送還

【上海六日發】本日午後四時特務艦間宮は九十四名の負傷者と三十九名の戰死者を乘せ佐世保に向つた

敵機の根據地を威嚇

【上海六日發】午前十時半航空母艦加賀、能登呂から戰鬪機〇機、爆擊機〇機出動し〇機編隊の堂々たる戰鬪隊形で閘北上空に威嚇飛行を行ひ敵飛行隊根據地虹橋に向つた、敵飛行機は恐れを爲し遙かに機影を潛む

軍醫看護兵も不眠不休

【上海六日發】陸戰隊の海軍病院は平時病人を收容する程度のもので最近續出する負傷者は到底收容し切れず、ために內地に送還する有樣だが今井軍醫中佐以下七名の軍醫看護兵は二十名の篤志看護婦と共に事件發生以來不眠不休看護してゐるが昨夜からは交代にて二時間位づゝ休養出來るやうになつた、この背後の隱れたる獻身的努力は涙ぐましいものがある

支那軍混凝土防備物使用

【上海六日發】敵は本日から土囊の前に在つた一尺程のコンクリートの防備物を持出したが之は鐵條網機關銃の銃身を出す穴と覗き込む穴を明けたもので敵は以前からこのやうなものを用意してゐたらしく小銃の攻擊では殆ど效なく故に明日から我軍は砲擊爆擊に全力を注ぎ敵の先陣を破壞するに決した

避難民內地へ

【上海六日發】本日午前六時加賀丸は門司へ、九時半大連丸は長崎へ、正午笠置丸は門司へ何れも避難民を滿載して出發した

六日迄の死傷四百名

【上海六日發】陸戰隊本部調査、事變發生以來本日迄の軍の犧牲者は死傷總數三百九十三名で內譯は戰死五十一名、負傷後死亡六名、負傷內地送還二百七名、恢復して前線に立つたもの百十八名、入院中十一名右の外本日三時迄の負傷者七名を出した

支那軍頭目は張發奎

【上海六日發】支那側の情報によれば我軍に頑强に反抗を續ける十

上海事件費

【東京六日發】上海事件に對する政府の方針は五日の定例閣議で正式に決定したが、同事件に關する陸、海、外の三省では夫々經費の責任支出をなす必要があり陸軍省では六日大藏省に對し事變費の要求を提出したが、海、外兩省はこゝ一兩日中に夫々要求する筈で大藏省では三省の分が揃つてから財政上の緊急處分をなす事になつた

聯盟協會代表軍縮案を提出

【ジュネーヴ六日發】本日の軍縮本會議で英國全權セシル卿は國際聯盟協會聯合を代表し
一、軍事費二割五分減
二、戰鬪艦、潛航艇、タンク、重砲、軍用飛行機廢止
三、空中爆擊廢止
の同聯合軍縮案を提案した

ヴ氏の演說

【ジュネーヴ六日發】本日軍縮本會議で第二インターナショナル代表前ベルギー首相エミール・ヴァンデヴェルト氏は實質的軍縮を要求し若し今後再び戰爭が起らば世界勞働者は祖國の爲めと雖も戰ふ事を拒絕すべしと熱烈的言辭を弄し戰勝國と戰敗國との區別を撤廢せよと主張した、最初決定演說として配布された草稿では氏は頗る强硬に日支戰爭を非難してゐたが議長の注意で演說は緩和されてゐた

金死藏反對協議會

【ワシントン六日發】フーバー大統領は金死藏反對運動促進の爲め本日民間諸團體首腦者協議會を召集し協議を行つた

混亂の上海に急行して あゝ何といふ壯觀! 呉淞砲臺の爆撃ぶり

奉天丸にて六日 加藤特派員發

長江の混濁した流れ、恐ろしい勢ひで飛ぶ千切れ小雲、無電技師の微妙なる指先から發せられる急迫した上海の形勢、避難民急救といふ重大な責務を負はされた奉天丸は疾風を衝いて、波浪を蹴つて募地に上海へ、上海へ、砲彈の唸りと爆竹の煙りで醜く打ち壞された上海、……勇敢なるわが志願一看護婦は顔面に

擦過傷 を負ひながらも健氣に働いてゐる、上海在住自警團在郷軍人等は專らガイド役として眼覺ましい働きをしてゐる……船中、無電を通じ悲壯な上海の情景が手に取るやうだ、六日恰も舊の元旦、平年の爆竹の音は何と今年は實彈の唸りだ、正義の砲彈の轟きは鎭められたヤングチヤイナーの對日觀念を木ツ端微塵にフツ飛ばして居る、午前十時半、戰雲低く垂れこめた呉淞沖を通る、特務艦能登呂がドツシリ錨を降ろしてゐる、○○隊の偵察機がグルぐくその上を廻り爆音が氣味惡い音で空氣を振はしてゐる、本船は

戰裝に 固められた軍艦由良に守られ溯江する、セルンメンの低い縮ちやけた丘が呉淞砲臺と聞く、突然由良から手旗信號が本船に發せられる

呉淞通過危險保證出來ず

急に船内がザワメキ出す、悲壯な決心が穩積船長を初め乘組員並に只一人の上海行き乘客である記者(加藤特派員)の顔の裡に水のやうに流れる、斯くて本船は覺悟をきめて溯江を續ける、あゝ何といふ壯觀だ、母艦を離れた隼の如き我が飛行機三臺は呉淞砲臺と聞かされた丘陵の上空を高く、或は低く旋回しこの間時折りスルぐくさげ梶をとり爆彈投下の壯烈なる

戰闘を 開始する、目前僅の地點だ、ピリピリ空氣をふるわして轟然たる爆裂の壯絶さは先づ度肝を抜く、炸裂した黒煙はパツと大きく散る、一彈、二彈と次ぎぐくに氣持よく爆發する、やがて飛行機は悠々と目的を果し歸艦する、この間僅かに十分、本船はたつた今、爆彈の洗禮に會つた呉淞砲臺を右に見て午後一時ワンプマトウに着く

亂舞する近代武器 砲彈の街を一廻り 刺々しい邦人の顔面

【上海特電六日發奉天丸無電】現在の戰況は更に進展の模樣なく六日附の外國新聞は日本軍の大敗を報ず、これが六日現在の戰況である、全く陸戰隊は疲れ切つてゐるすでにその大部分は足にマメを作り步行困難を訴へて居る、元旦爆竹の鳴らぬ爆彈砲丸の洗禮化にある上海は不安と焦燥とに在留邦人いづれも生色を失つて居る、たゞ日本人だと云ふ

意識が 頑張らして居るのだ、食糧はぐんぐん減つて行くばかりで事變以來野菜の顔を見たものは幸運とされて居る、六日午後二時半黃浦碼頭繫留の市中巡回トラックに在乘を許されカメラ片手に楊樹浦を共同租界に出る、機關銃を運轉手臺に突出して六名の護衛水兵が小銃の安全辨をはづして居る、電車が通つて居る、正月の晴着を飾つた支那人がしきりに來往して居る、敵を見る樣なまなざしで記者(加藤特派員)等をにらんで行く、すごい眼だ、さされを見ても便衣隊だ、トラックは先づ總領事館にとまりそこにはためく

日章旗 に言ひ知れぬ感慨を覺え、ついで日本人倶樂部に行く、その邊を步いて居るのは腕章をつけたさげぐくしい顔をした日本人のみだ、妻も子も便船にてくしホツトしながらもいらぐくした氣持からは解放されない、北四川路をグンぐくさばし陸戰隊本部の桃山ホールに停車するこの間小銃機關銃の間斷ない亂調子は豪華な近代武器の狂奏曲をかなで居り

ない

航空母艦を離れた爆撃機の○臺編成は見事な空中サーカスを演じ、これ等が野砲の炸裂する地響きに應じ壯烈な威銘を懐かせる戰争だ然も近代武器の亂舞だ、廢墟の如き

焼土の 上海の外觀その上をトラック戰車オートバイが恐ろしいスピードで馳驅するかくて北部小學校の陸戰隊本部に敬意を表し小銃彈の炸裂に度膽を抜かれ旅舍に歸る、の間砲彈の音響は物々しい、七日早朝より我が○○方面より派遣された○○軍が○○名上陸疲れ切つた海軍に代り本格的な陸上戰を開始するの確報が傳はり在留民の雀躍する樣は一通りでない

貧困省民に穀物二千石支給

軍司令官の同情に何れも歡喜

軍司令部發表、チチハル來電によれば黑龍江省に對する軍司令官の貧民救濟金の使途については省政府において研究の結果省城に隣ず戰亂及び匪賊のため最も疲弊せる龍江縣にも及ぼし且つ救濟には穀物二千石を買入れ現品を以て眞の貧困者のみに支給することに決せり、しかしてこの報一度傳はるや省城内外を擧げて歡喜し眞の貧困者のみを救濟するときは之を以て約二ケ月間を救濟し得べしと喜びをれり、一面省城人士中には司令官のこの擧を聞き自ら又寄附を願ひ出づる者もあるやうである【奉天電話】

彈丸謠言の驅廻る 恐怖の都市大上海

同志討ちに目を廻す工部局巡査

上海にて 日森特派員發

恐怖の都上海をパチリスの樣に謠言が驅けめぐる、「吾軍暴日兵六百を捕虜となす」「日機四臺を射落す」「日艦呉淞沖で沈沒す」斯やうな戰況を創作する支那新聞け佛租界、南京舊英租界一帶を盛んに煽動する、失敗したと雖もアメリカの經濟封鎖論が支那民衆を煽動したことは想像以上だ「米國未だ正義を捨ず」の聲は、南市に踊る抗日義勇軍の進軍ラツパだ。聯盟の第十五條適用云々は特號見出しのドラツク宣傳となつてゐる

○

死の街、恐怖の街、支那人の居ない支那街、燒野が原の街、流彈の攝衞、閘北北四川路は「便衣隊數見」の謠言だ、ソラ便衣隊だ!たゝき斬れ!自警團の怒號に邦人でけつければ「××領事館員の使用なくば××洋行の買辦かだ、廿九日夜橫濱橋美術軍で七名の便衣隊嫌疑者が現場で處刑、東寶興路安慶坊で同五名、北四川路儉德公寓旅舍内より抗日會員の嫌疑者四名、虬江路中央部から十名、六名ハスケル路から十名……等々時間と手數戰況と其數量は彼等の生命を隊本部迄に運ばせなかつた!便衣隊死隊と共生物?は各隊本部の營庭を狹隘にした

○

「便衣隊」此三字こそは在留邦人のすべてを畏懼させ、逆上させ、自警團を勇敢にし老幼婦女の血を氷らせたのだ、發行不能に陷つた邦字新聞は街々に「便衣隊ニユース」?を書きなぐつて行く、しかし、それらの壁新聞のニユースをその謠言のパロローターだ。お蔭で便衣隊に關する調査を試みた筆者の計畫は極度に混亂、其ヒナ型な一つ……

○

卅一日今後十一時過ぎから邦人の密集する虹口一帶は、敵の正規兵及便衣隊襲擊すとの非常報告あり便令自警團連絡員等は「危險に瀕す!」を絶叫し廻り日本人倶樂部の隊本部からは勿論虹口一帶の巡邏兵は忽ちにして現場に驅け付け機關銃及小銃の發する砲聲は可成り安全地帶と目されてゐた虹口一帶を死の恐怖に突落した、それがどうだ、工部局ハルビン署邦人巡查鮫島外七名の一行は、十一時交替して本願寺橫の宿舍に歸る途中カーシン路附近で便衣隊らしき者を發見絶叫し乍ら之を追跡中、其聲を聞き驅けつけて來た巡邏兵は巡查一行を支那正規兵現はるとて之に猛射を加へ、之に吃驚した巡查一行は中部小學校西側江中堂四塀に喰ひ付き「日本人だ」「日本人だ!」と停射を求めたが川向ひの土嚢内から發射する機關銃彈は中部小學校或は老々子路一帶に命中し、正規兵襲擊の諜報を受けた小學校の駐屯所では之に對して一齊射擊

○

結局工部局巡查を中に味方同志の相射で、甚だしきに至つては、日人倶樂部隊本部に中部小學校を敵正規軍に占領され江口消防隊に迫つた!と急報し、他方天潼路の便衣隊發砲は之に油を注ぎ倶樂部の隊本部は一時上を下への大騷ぎを演じた、味方同志の同志射ち!之が戰法にない事は勿論だらう、地理に明くない吾陸戰隊、都市計畫のない亂脈的道路、此を攪む樣な便衣隊との市街戰、あゝ正にそれは戰慄に値するものがある斯くて一日の邦字紙には一號見出[illegible]界一界でも)ゐる

して「支那正規軍租界内に亂入襲擊す!」とある、書き後れてゐたが、工部局巡查の服裝は、一見支那軍と見紛らしき點多く、勤務中吾軍の步哨に度々引つかゝり、雨が降つてもレインコートを着ず、寒さにも拘らず外套を着ず、誤射を恐れてゐることおびたゞしい

○

去る二十日の夜半事變突發して以來工部局支那人巡捕は民族的妄動を慮り、禍中にある範圍内虹口ゴルドン、ハルビン、楊樹浦、デキスエ路等々各署は廿九日早朝より一齊に署内にカン詰めにしてゐる此點は決して見逃せない問題だ、何故なら、事變發生以前、靑年同志會員が三友實業社を襲擊した當時楊樹浦署支那巡捕がサボタージユして以來この風潮は全市に擴大され、全市の警備及交通整理等の機能は極度に阻害されて!(舊英

我軍死傷者

戰死者十七名に上る

ハルビン郊外における戰闘は敵の強硬なる抵抗と夜襲戰のために我軍の損害意外に多く現在ハルビン野戰病院に收容中の戰傷者のみで七十名の多きに及びその内危篤の重傷者十名に及んで居る、名譽の戰死者の數は判明しただけで十七名ある、將校の死傷者は左の如し

步兵○○聯隊副官佐藤少佐(左肩盲貫)同阿部大尉(左大腿部貫通)菅原少尉(右肩 過傷)戰死第○○聯隊藤井中尉

また各隊別にすれば戰死者左の如し

第○聯隊二名、第○○聯隊十二名、第○○聯隊二名、第○○聯隊一名、この内將校四名、特務曹長一名、下士六名

負傷者の内譯左の如し

第○聯隊五名、第○○聯隊五十一名、第○○聯隊一名、第○○聯隊一名、野砲三名、騎兵一名獨立守備隊六名、自動車隊一名

しかしてこれ等負傷者の内重傷者は野戰病院に當てられた日本病院に收容され輕傷者は警察演武場に送られたが、居留民會より特志看護婦が出動して手厚い看護を續けて居る【長春電話】

清水大尉機の機關銃を發見

【ハルビン特電七日發】一月廿六日哈市における邦人の狀況偵察のため飛行中丁超軍の狙擊を受け墜落慘死を遂げた清水大尉の搭乘せる八八式偵察機は當時敵軍のため掠奪され我軍で極力搜査中六日夜ミユルレル兵營を搜査して丁超の居室を調べたわが○○部隊はそこに飾られてある飛行機備へ付用の機關銃を發見し仔細に調べたところ清水大尉搭乘機の機關銃であることが判明、銃把に殘る彈痕に當時の模樣歴然たるものあり將士一同遭難當時における清水大尉の奮戰の模樣を想起して暗涙に咽んだ

賓縣方面の敗殘兵爆擊

【ハルビン特電七日發】賓縣方面に潰走せる反吉林軍は至るところ暴虐の限りを盡し附近住民を掠奪しつゝ再び兵力集中しつゝあるのでわが飛行隊は七日朝○○臺を同地方に派しこれが偵察爆擊を行つてゐる

鞍山守備隊 匪賊討伐

頭目を逮捕

鞍山農商聯合會より遼陽縣齊堆子に匪賊來襲し自警團と交戰中との情報を得た鞍山守備隊味岡中尉は部下四十六名を率ゐ三臺のトラツクに分乘し六日午前八時討伐に出動した、同地において大匪賊團と交戰し三勝の弟劉國臣外三名の有力なる匪賊を逮捕し長銃十二挺モーゼル拳銃二挺、彈藥三百發、鞍五個を押收し午後三時半歸鞍したが我軍には死傷なし【鞍山電話】

石原參謀 昨日來哈

重要打合せ

【ハルビン特電七日發】關東軍石原參謀は塚田參謀その他と共に廿七日朝愛國號でハルビン到着、直に滿鐵理事公館に入り多門將軍に對し本庄軍司令官よりの慰問品を贈呈して後、第○師團參謀と我軍今後の行動作戰につき重要な打合せを行つた

金榮桂は留任

ハルビン特別區警察處長の椅子を挾んで丁超部下の王瑞華と吉林軍の金榮桂の間に幾度か爭奪されたが皇軍のハルビン入城と共に王瑞華は逃走したゝめ金榮桂は再び警察處長の椅子に留任した【長春電話】

松尾輜重兵隊の遺骨原隊に歸る

けふ近衞師團葬執行

【東京七日發】去る一月九日古賀騎兵聯隊に軍需品補給の大任を果して錦西へ歸還の途次敵匪の包圍に陷り全滅した松尾近衞輜重兵部隊二十五勇士の遺骨は六日午前九時二十九分品川驛に到着した、驛頭には聖旨に依り御差遣の奈良侍從武官長始め在京全陸軍首腦部、閑院宮内次官、遺族その他一般出迎者一千餘名は多數花環の立並ぶホームに出迎へた

遺骨は三十臺の自動車にて出迎へ僧侶と共に分乘沿道に堵列して迎へる在鄉軍人團、靑、少年團其の他一般市民の淚に迎へられて午前十時二十分芝增上寺門前に出で同寺の回向を受け十一時三十五分原隊に歸着した

今夜は原隊にて通夜八日禁廷で閑院若宮、李鍵公兩殿下台臨の上近衞師團葬が行はれる

便衣別働隊

【ハルビン六日發】敗退せる丁超及び李杜派は皇軍に對する報復手段として窃に便衣別働隊(本日二名射殺さる)を潛入せしめて奇襲する事となつた

南部線順調

六日から開通した東支南部線列車は七日にいたり全く正確なダイヤグラムに復舊した七日朝六時二十九分長春着の第一列車には日本人三名支那人二三百名の乘客があつた【長春電話】

哈市居住民

九日振りで歸宅

【ハルビン五日發】皇軍の入市と共に九日間極度の不安の裡に籠城してゐた在留避難邦人約二千二百名は本夜それぐ歸宅した

我軍規嚴肅に

各國領事賞揚

軍司令部發表、ハルビンよりの來電によれば六日同地大橋總領事が日本軍のハルビン入城に關し各國領事に説明せしに各國領事はいづれも口を揃へて大成功なりと激賞し且つ日本軍の軍規嚴肅なるを激賞せり又一般市民も漸く安堵の思ひをなすと共に平和裡に終始し得たるを歡喜したれり【奉天電話】

ペ少年に見舞金

長谷部○團長

長谷部○團長は三十一日双城堡戰において反吉林軍の砲彈をうけて負傷したロシア人ボーイペレルツキー(一九)に金一封を送つて懇ろに見舞ふところあつた、ペ少年の負傷は腳および腕部に三彈の盲貫銃創であるが長春衞戍病院において手篤い治療をうけ經過頗る良好である、因に同人の實父は露支紛爭當時滿洲里國境附近において赤衞軍のために銃殺され年老た母が淋しくハルビンで暮してゐると【長春電話】

長哈間の列車開通

七日平常に復舊

六日開通した東支南部線の第一回長春行列車は豫定より二時間も延着する旨通知に接してゐたが三時二十九分の正確な時間に到着したしかし旅客は時局柄第一回列車のことゝて道中を不安と思つて日本人は一人も無く三等客は支那人七名あつたのみでそれもハルビンからでなく途中より乘つたもの、如くである、而して長春發は第一回到着の列車が五時半發車したが、これは一般旅客としては一人もなく軍部關係者の乘客であつた、しかし第二回の發着列車からは相當乘客も增加するものとみられてゐる因に七日からは正規のダイヤで運轉をみる筈である【長春電話】

丁超等が强盜的行動

退却に際して

丁超は救國の美名にかくれてハルビン附近の良民より多額の金品を捲き上げ、一方退却を決してゆるがせにせず一度我猛擊に遭へば米總領事を通じて我に一時間の休戰を申込み多額の金を揃り安全に退却し而も部下を顧みず自ら眞先に逃げ失せたことは支那軍閥の常習手段とはいへ内外人の牢記すべきところである世間の消息を熟知せる内外人は口を極めて丁超等舊軍閥の强盜的行爲を非難すると共に軍規嚴正なる日本軍の行動を賞揚しつゝある【奉天電話】

不安、焦燥の十日間 寶れた邦人義勇隊

皇軍入城に蘇生の思ひの同胞

【ハルビン長谷部、森兩特派員六日發】記者は五日午後四時ハルビンに入つた、沿道に立ち並ぶものは日章旗を掲げた人、なつこいロシア人の群衆である、先づハルビン滿鐵社員倶樂部へ車を停める、いつも左右に雄々しく開かれてゐる鐵門は太い針金で頑丈に縛られてゐる、劍付鐵砲姿の義勇團がガツチリ固めてゐる

「誰だ?」

「滿洲日報記者です、皇軍と一緒にハルビンへ來ました開けて下さい」

細いくゞり戸を開けて武裝した義勇隊が姿をみせる、ジロぐく見廻しながら眞黒な記者の顔を迂散臭さうに一渡り檢査して暫くして構内に引ツ張り込む。

×

立樹といふ立樹には鋭い鐵條網が七重八重に張りめぐらされて門から社屋までの間は八幡の藪知らずのやうな道路をくゞり三重に高く積まれたドアーの内にも銃劍光る、ドアーを開けたサツと飛び込むと廊下一杯にうづくまつてゐる婦人群だ

「日本軍が入城しましたよ、僕は滿洲日報の記者です、御心配入りません──大丈夫です」

記者の聲に應ずるやうに種々の服裝した婦人達は一齊に萬歳を叫んだ!泣いた!笑つた、悲喜交々の情景である

×

「よう來たれ、君が一番乘りだ二十七日以來ハルビンへ入つた邦人は君を以て魁けとするんだよく來て呉れた」

事務所にあてられた娛樂室を抜きばなしの四斗樽に腰かけた鐵道事務所の前田庶務課長が飛び込んだ記者の腕をガツチリと握つて頰ずり寄せた

×

やつれた、やつれた倶樂部會員が一體にうごめいてゐる、滿鐵社員七十名、義勇隊達は二十六日夜から鐵樞警戒で疲勞困憊で顔は落ち目はくぼんでゐる、水と炊出の飯で僅かに避難所の警備、邦人街の警備に當つてゐたのだ、電信は斷たれ、汽車は杜絶した、ハルビンは孤島のやうな運命から、いや長春、奉天からさへも見放され全く無援孤立の不安と焦燥の裡に十日間を過ごしたのだ皇軍入城の報を齎した記者を救世主のやうに之等の忘れた人々から感謝の言葉を浴びせられたのは無理もない

英新關稅と滿洲大豆の影響

大した事はあるまい

イギリスの新關稅案につき四日の下院に於てチエンバーレン藏相より公表された所によると輸入品に對し一割の從價稅を課し小麥、パン、原棉、羊毛、茶は除外する旨傳へられてゐる、しかして滿洲大豆の英國向輸出は多き時は十七、八萬噸、少い年で七、八萬噸に達し平均十萬噸以上の輸出をみてなり果して原料大豆に對してさへも關稅を賦課するかどうか判明しないが右に對し三井物産では語る

電文の内容が判然としないので何とも言へぬが、まさか原料大豆にまでかけられるものとは信ぜられぬ、只大豆の製品に對して增徵されるとせば從來大陸諸國に於て生産されてゐた大豆製品の英國への輸出が減少して英國内に於て生産される數量が增加することは考へられる、但しこれとてどの程度のものか不明であり殆んど問題にはなるまい假りに原料大豆に課稅されるとしても現に大陸諸國に於て賦課されてゐる實情に鑑みれば差したる影響もないわけで滿洲大豆自體から言へば作柄の如何とか出廻狀況如何に左右せらるゝことが大である、言ひ換ふれば關稅賦課による影響は輕微なものと言へる

丁超軍に爆擊開始

【ハルビン六日發】我○○團が頭部隊は六日午前八時過ぎ賓縣街道を埋めつゝ賓縣に向け總退却中の丁超軍に追ひつき猛烈な爆擊を開始した

大觀

いはく「國際警察部」いはく「國際軍隊」いはく「國際爆擊隊」▲フランス代表「樽酒」が突然軍縮會議に提出した新制裁案は近ごろのメイ案といふべし▲「暴は暴を以て制せよ」といふのがこの案の骨子▲人類平和の大理想もこの案の出現によつてもはや行き詰まれる感なしとせず▲果して列國の此案に對する評判は惡いこと夥だしい▲先づ第一にフランスと犬猿の仲にあるドイツ代表の言ひ分はどうだ▲「道德性に缺けてゐる、實際的でないアレはフランスのための安全保障論に過ぎず」とけなし▲日本は「理想案であつて實現の可能性なし」と見▲聯盟外のアメリカは「歐洲の戰爭に米軍が使用されては堪らぬ」といひ▲又ロシアは「却つて國際不安を大くするものだ」と皮肉り▲要するにフランス折角のメイ案もタルジユ全權の樽酒に醉ふた管としか見えず、この所いやはや散々の態▲往年ロシヤは世界各國の軍備全廢を主張して駭かしたが所謂平和論から見ればその方が遙かに徹底して居ることいふまでもなく▲聯盟に幾ら斯ういふ武裝が備へられても今日の實情では强國同志の正面衝突になつたらどうすることも出來まい▲況んや遠い地方のことになると兎角認識不足の聯盟に對し無暗に危險な權限を附與する如き極端にいふと狂人に銃劍を持たすに等しきなや▲それでなくても米、露の如く聯盟參加國外の强國が此の武裝によつて壓止することが出來るかどうか▲理想論ではあつても實際論ではない所以▲植松新陸戰隊司令官、就任の聲明に往年の排英運動、アンチクリスチヤン運動の實例を說く▲そこらで變な態度を示してゐる連中これを一たい何んと聞く▲「耳袋はづせば痛し向ひ風」

タンクに身を寄せて砲煙彈下を突進

哈市郊外五時間の大激戰!

六日ハルビンにて　山口晴康特派員發

長谷部、森兩特派員にわかれた記者(山口特派員)は五日朝七時師團司令部にあてられた楊馬架を出發、最前線に向つた、四日朝以來ハルビン郊外の堅陣にこもつて、砲撃をつづけつゝある丁超軍は依然として猛射の手をゆるめぬ高粱畑を進む、記者の前後左右には山砲、野砲、迫撃砲の巨彈が機關銃彈に混つて雨と飛び霰と降つて壯烈な炸裂をする、記者は幾度か地に伏し凍つた畑にもぐらのやうにはつて八時半頃敵陣を距る約八百米の野砲陣地に到着した、やがて朝八時半折柄長春より飛び來つたわが空軍の爆彈一彈、地上に炸裂して一大音響を發するとみるや、記者の眼前に並んだ野砲數門は一齊に火蓋をきり巨火をとし一齊射撃を開始した、第〇野砲聯隊の砲手たちは敵彈の洗禮にマツ黑く土を浴びながら昨夜來砲兵陣地を築いて待ちにまつてゐたのだ、やがて彼方砲彈は敵陣に落下地殼をつんざく大音響に空陸相呼應し一齊攻撃は北滿の寒野を震撼し砲煙爆煙濛々たるうち徹宵銃を握つて待期した長谷部〇團長の指揮する步兵第〇〇聯隊の將士は平田〇〇隊長號令一下すつくと起ちあがつた、壯絶まさに一幅の戰畫の如く立ちのぼる砲煙、濛々たる彈雨のうち、步兵突撃が行はれた、みよ、プロペラの響き高く悠々と北滿の曠野を其翼のしたにをさめて快翔するわが愛國第一號の雄姿、記者は轟轆たる戰車隊の蔭にピツタリと軀をよせて雨飛する彈丸を潜りながら第〇〇聯隊本部にたどりついた、ときまさに朝九時ごろである、空陸兩方面からするわが軍の猛撃に浮足たつた敵軍は一たん、陣地を捨て後退したがされども名にし負ふ北滿の强雄丁超軍だ、再びわが軍の二、三百米まで逆襲を敢行する嚠喨たる突撃ラツパの響とともに〇〇聯隊本部は燦然たる聯隊旗を先頭に敵軍の密集する敵陣めがけて又突撃日章旗の向ふところ步兵も戰車も、騎兵部隊も、一齊に雀躍して進みに進み撃つ、かくて正午わが尖兵部隊が完全に敵の堅壘たる哈市郊外部落の敵最後陣地に躍り込むまで實に五時間に亘る亂戰突撃の攻撃であつた、この戰鬪は敵は背後に國際都市ハルビンを擁しわれは平原を突撃するのでわが砲彈小銃彈の市街に飛び入るのを懸念し距離を案じながら射撃するため非常に不利な立場にあつた、戰ひの苦勞は三間房以上のものがあつた、このため我軍の損害は豫想外に多く殊に先頭部隊たる長谷部〇團麾下の第〇〇聯隊は戰死十二名、重傷五十三のほか凍傷患者多數を出してゐる

我傳騎の跡を追ふて決死の哈市一番乘り

敗殘兵を收容した病院へ飛込む

六日ハルビンにて　長谷部、森特派員發

沖、横川兩烈士の碑前において劇的な哈市入城記念の撮影をした多門第〇師團司令部は既に哈市入城した先發部隊と連絡し司令部を病院街に定めて五日夜の宿營準備に移つた、これよりさき記者等は敗殘兵便衣隊の潜入によつて危險更に增加した哈市において恐怖に戰きする在留邦人にわが皇軍入城の報を齎らすべく危險をおかして約一里の行程を一路ハルビン市街をさして決死の潜入を企てた、灰色に塗り潰されたハルビン郊外は三々伍々點在するロシヤ家屋が色取々なバンガローの屋根を曠野の彼方に浮出させてゐる外には凍つた野菜畑にうら枯れた白菜の莖がカン〳〵と尖り獰猛な野犬の群が彷徨して吠えて牙齒を記者等の姿に向けて咆哮してゐるばかり凄愴筆舌を越へて危期迫る、ハルビンへ!ハルビンへ!曠野を隔てて指呼の内にそゝり立つ市街の眞ン中には取り殘されたやうにカトリツクのドウムが聳立し五時夕べの鐘が寒天をさいて余等の氣持ちをいやが上にもかり立てる、重いリユツクサツクがついた怪物のやうに肩の上で搖れる、一週間の行軍で丸太棒のやうに突張つた双脚は寒さに凍つて感觸の無くなつた兩手を一生懸命に振り動かしながら放心した樣に淀み曇つた記者等の瞳はボンヤリと明るく照し出されたハルビン市街の灯が映つたハルビンへ!ハルビンへ!苦力とみまごうばかりのボロ姿のロシヤ農奴(ムジーク)が日章旗を振つて我等一行に「ヤポンスキースパシボー」となつかしい呼びかけをあびせる「ハラショー」と醜いてしびれた腕を振るやつと曠野を抜けて一廓の市街に入る、病院街である、赤十字の大旗の上に掲げられた青天白日旗がスル〳〵と下されて巨大な赤丸燦然たる日章旗が上る東北護路軍病院(パピロース、シガレット)赤十字のマークをつけた鐵門の外に立つて記者等を歡迎する「日本人は居ないのか、誰か日本人はこの病院を通つたか」英語をしやべると云ふ看護長にこうあびせかける「日本人は皆何處かへいつちやたさうだ十分ばかり前にサイドカーでヤポンスキーのソウルヂヤーがかけたよ」さうだ記者等は俄然日本軍の傳騎の跡を追ふて哈市へ入つたハルビン最初の入城者だ電話だ、何より自動車だ、どつと病院の構内に飛び込まうとする記者の外套をつかまへて看護長が血相をかへる「危いぞここの病院は昨夜の戰鬪で日本軍の射撃された丁超軍の負傷兵が三百名ほど寢て居るのだ」アツとたまげた、記者は二の足をふんだ、ハルビンを瞰前にひかへて負傷兵や敗殘兵に殺されては馬鹿々々しい「赤十字病院は國際公法上絶對中立の安全地ではないか、君は責任を以て僕の生命を保障する義務があるぞ」記者は恐怖を越えた怒號を發した、大丈夫だらう病院は事務室と離されて居るテレフオンの番號を云へ僕は自動車を呼んでやらう、雜然たる事務室に入つて電話を待つ間の十分間記者は恐怖に戰慄した、隣室から運ばれる血みどろな繃帶、ほのかに聞へて來る支那兵の悲鳴、赤十字病院も記者達にとつては危險箇所である、彈痕の著るしい病院の窓をながめながら敗殘兵の影におびえた記者は十分の後露人の看護長が呼んで呉れたボロボロのフオードに乘つて一路ハルビンに驅つたハルビンへ!ハルビンへ!斯くして哈市入城の一番乘りを決行した記者は死地を脱して今更の樣に再度の戰慄を禁じ得なかつた

双城堡戰の勇士　長春衛戍病院にて

上海官民同胞に感謝狀と慰問狀

在滿時局後援會から

上海の時局進展に鑑み在滿日本人時局後援會では八日小澤太兵衞氏を代表として派遣し陸海軍司令官に感謝狀並に在留同胞に對し慰問狀を贈呈する外トラツク七臺、バス二臺、運轉手十五名を送る事になつた事は既報の通りであるがその感謝狀および慰問狀は左の通りである

感謝狀

曩に帝國は自衛權の發動により滿洲における支那兵匪を掃蕩し舊政權を潰滅し治安維持に努め今や滿蒙新國家は建設せられむとしつゝあり帝國の此行動は在滿邦人の生命財産を保護し條約上の既得權益を擁護する正當なる措置なるとは何人も之を認むる所也然るに南京政府は依然其非を悟らず率先して排日を行ひ侮日の行爲に出で我通商を彈壓し、以て上海其の他南支各地における在滿邦人の生命財産を脅し帝國に對し積極的敵對行爲に出づ帝國が敢然立つて之を膺懲し其改悟を將來に期するは東洋平和のため蓋し止むを得ざる所也惟ふに貴地は國際關係の錯雜せる所直接國際問題に波及する點に於て滿洲事變に比し方途一層困難の事情あるべきを信ず、軍を統裁せらるゝ閣下の苦衷と閣下將士の心勞を想ふとき感謝の念自から禁ずる能はざるものあり茲に本會の決議により本會總務小澤太兵衛を特派して虔みて閣下並に將士各位に對し深甚の感謝の意を表す

昭和七年二月　日

慰問狀

關東廳人事異動兩三日中に發表

傳へられる噂の聞書

關東廳の人事異動は警務關係を皮切りとして逐次發表を見るべく觀測されるが、今や廳内始め市中の話題は本問題に集中されてゐるかの觀がある、随つて、これに關する下馬評……

御鉢が

兩宮殿下御就任の市民感謝大會擧行

紀元節に忠靈塔前で

大連市役所では來る十一日の紀元節當日午前十一時半より中央公園内忠靈塔前において紀元節奉祝式を擧行し引き續き大連市および在鄕軍人會大連聯合分會共催の下に閑院宮載仁親王殿下參謀總長御就任、伏見宮博恭王殿下の海軍軍令部長御就任に對し奉る市民感謝大會を擧行する事になつたが式次は左の通りである、なほ當日は市民多數の參會を希望してゐる

一、午前十一時半喇叭「氣を付け」にて開式……

奉天三氏脱退が俄然問題となる

日本人聯合會理事會

全滿日本人聯合會理事會は……前九時半より奉天倶樂部において開催された……

大連の

ばいかる丸の新船長南部氏

薩摩温泉の改造計畫

大樂園にする

自覺を促すビラ

青年團が市内要所に

八雲入港繋留

木谷選手七位

スキー大會成績

大連兩婦人團體滿洲聯盟を脱退

六日聲明書を發す

聲明書

復歸する

滿日各地版

避難中の同胞達は前住地に歸へすか
何等かの積極的方法を講ずべく 穗積外事課長來滿

【安東】在滿鮮人問題に關し重要協議の爲め朝鮮穗積外事課長は五日朝過安北行した、何しろ事變後の在滿鮮人問題は頗る重大でさう簡單には片づかぬものと見られてゐる、朝鮮總督府としても現に避難中の者は前住地に歸還せしめる方針であるらしく、だが單に歸還せしむることは、從來の例に徴し馬賊等の横行ありとて喜ばざる模樣であり、この點につき關係各方面當局に於ても相當考慮されてゐるらしく、殊に歸還と雖も從來の其儘ではなく或程度の集團的生活部落を形成せしめ之に相當の警備上の設置を伴はしめるものと見られ、斯くなれば、避難民も喜んで歸還するものと見られてゐるが目下の處經費問題が惱みの一つでないかと云はれてゐるも、早晩何等かの具體的打開策が講ぜられ實現の運びとなるであらうと見られる尚安東朝鮮人會の現狀を見るに各地よりの避難民の收容は經費その他に頗る困窮を來して居り之れが永續の場合は到底支持し得ない事にもなるので急速解決方を切望してゐる

危く虎口を逃れ石山站から歸る
朝鮮料理店主石氏

【營口】新市街青柳街朝鮮料理店永樂館主石萬爾の父贊梓は我軍の錦州占據後、醜婦數名を伴ひ同地に料理店を開業し更に石山店に支店開設の目的を以て韓成奎なるものと共に醜婦二名を連れ去月二十四日同站に下車支那人民家を借り受け開業準備の爲め宿泊中、二十五日午前一時頃數十名の馬賊に襲はれ醜婦は隙を覗ひ逃走したが石二名はあちこちに引廻され虐待を受けた後大凌河を渡り錦州に赴く途中隙を覗ひ逃走したが韓は賊のために追擊射擊を受け射殺され石のみは羊塀に飛び込みたどりくて去月三十一日午後五時頃溝幇子の我守備隊に投じ無事に歸宅した賊は約五百名の騎馬にして頭目は四十五六歳のものであるとのことであるが石は一時慘殺を傳へられたるも危ふく虎口を脱れて歸來したので一家は大喜びである

視察團の來滿に滿鐵の準備
出來るだけの便宜を計るべく今から懸命の努力

【奉天】内地は九州、四國、中國、關東、遠く離れて北海道からも滿洲の春を訪れて來滿する旅客、團體客が每年の如く多數に上るので滿鐵々道課では例年二月に入れば旅館、案内所などと連絡を保ち是等滿洲を訪問して來る旅客に對しサービスに案内に官憲に萬全の準備をなしてゐるのであるが、今年は奉天を中心に滿洲の事變勃發し内地は隈なく多大の衝動を與へてゐることゝて春光漸く加はらんとしてゐる三月頃から或は戰跡視察に、或は經濟事情調査に、次から次へと潮の如くなだれこんで來るであらうと期待され大阪、東京、各鮮滿案内所、名古屋、仙臺各運輸事務所では千名、二千名など、豫約申込みあり奉天鐵道課旅客係では今年こそはとよりをかけ車輛の連絡、車内のサービス、各所視察の案内方法等につき寄々打合せをなすのみか旅館、自動車商會方面とも聯絡して出來るだけの便宜を圖ることに懸命の努力をなしてゐる、さなくとも内地朝鮮その他より來滿する旅客、團體等のため奉天驛は大混雜を呈してゐる有樣である

本春は更に未曾有の混雜を呈するであらうと云はれてゐるなほ例年による來滿する旅客は一年を通じ四月が最も多く四千名三月、五月は千名乃至は二千名となつてゐるが奉天は交通機關中心をなしてゐる關係上朝鮮、大連或は北滿方面から必ず立寄られる地なので本年は優に萬を突破するであらうと期待されてゐる

錦州攻擊の裏にこの隱れた功績
滿鐵機關區員活躍（下）

かくの如く戰時に於て軍用列車運轉上第一生命とも云ふべきは機關車の用水である、從て衛家溝に水源地あるを内査せる運轉班は水源地偵察の目的を以て廿五日第三十聯隊第五中隊の應援を得て齋藤區長指揮の下に豐田工作助役外修繕班四十四名出發した、該衛家溝水源地分岐點に機關車を進めたる頃同地點煉瓦小屋に潜伏せる敵襲甲車隊に我れに向つて猛射を開始し車は直に下車非戰鬪員に後退を命じ戰隊之れに應戰して前進した、水源地偵察の重大任務を帶びたる豐田助役は單獨砲煙彈雨を犯して零下二十有餘度の雪中を水源地に向つた、豐田助役出發して二十分後齋藤區長はこの事を知り部下一人をやつて萬一のことが出來ては申譯なしとして他の者に機關車の看守を命じ豐田の後を追ひ水源地に出發した

◇

部下思ひの區長は水源地に無事なる豐田の姿を認め思はず手を取りて無事なるを喜び合つた、時に砲聲遠ざかり敵軍の後退を悟りつゝ機關車に立ち歸つた、給水タンクを調査するに敵軍は退却に當りテリベリーパイプを爆破せるものゝやうであつたが修理班と共に應急修理を施し給水可能に復した、此の日の行動に於て豐田助役の責任感の發露として彈雨を犯して單身水源地を偵察したるは軍人に劣らざる行動といふべく又部下の身を思ひ此後を追ひたる區長又其心事は尊い、此の長ありて此の部下あり長と部下との此の心懸けが離關させる北寧支線を最も短日數に於て開通せしめた所以である

◇

元旦には元旦午前一時半溝幇子驛信號所外に停車したが、驛構內線路塞がつて居るため入構出來ず、午後三時迄信號所外に待機した、午前九時頃機關車を降りた一行は高粱畑にシートを敷き飯盒にて酒を汲み天皇陛下の萬歲を三唱し後石油罐を洗ひて餅百個を請負人より貰つて雜煮を作り、最も意義深き昭和七年の元旦を迎へた、尚一行は盤山攻擊の際は砲煙彈雨を犯し軍隊輸送軍需品輸送の重任を遂行し其行動軍隊に劣らざるものありとして軍部より激賞を受けた【大石橋支局發】

（寫眞は豐田工作助役）

奉天の舊正
新東北の甦生を祝す

【奉天】事變後新興氣分横溢してゐる裡に舊正月を迎へた支那人は各戸共一齊に休業し門前には指導部より無料で配布されたる 東亞民族協和、共存共榮、開市大吉、萬事亨通 等と書かれた門對子を貼りつけ時節柄爆竹は揚げられず旗も樹てられてないが一層の人出あり平和甦生の新東北の首途を祝し合つて平和な新春を迎へてゐる、尚當日は省政府に於て孔子祭が催された

金州の舊正

【金州】銀安やら不景氣に祟られた支那人社會も五日の大晦日が泣いても笑つてもお終ひだ、隨所に鳴り響く爆竹の音もまばらながら年越には相應しい風情である、明くれば六日さらりと晴れた朝來の春光は彌が上にも舊正氣分が濃厚だ、それでも不景氣に祟られた舊正は何となく淋しい

朝鮮警官隊討伐に出動

【安東】安奉沿線に應援の爲め派遣されたる朝鮮警察官隊はそれぞれ部署に就き活動を開始したが平北より派遣された六十餘名は濱田警部指揮の下に雞冠山、草河口、通遠堡、劉家、秋木莊の各驛に配置されてゐるが濱田警部以下二十三名は三日朝十時十五分雞冠山發北行列車で沿線各驛警備狀況を巡視しつゝ十一時四十五分草河口に到着豫て賊徒出沒の情報ありし北

健兒團の寄附

【長春】長春健兒團鳴鶴隊では滿洲事變以來後方勤務として凡ゆる方面に不眠不休の活動を續けて來たが殊に涙ぐましいことは十二月から正月にかけて白永隊長以下八名は幼い身にも拘らず寒さを餘所に行商を行ひその利益金二十圓を四日左の手紙を添へて駐長四聯隊に献金するところあつた

このお金は僅かですが私たち九人の少年が十二月の冬休みを利用して行商した利益金です、お國のために凡ゆる苦鬪を續けられる兵隊さんに何か買つてやつて下さい

新城子附近の村長會議

【奉天】新城子を中心とする附近卅八ケ村長は七日午後一時から新城子に集合し虎石臺守備隊川島大尉を主催者に左の事項につき協議があつた

協議事項

一、最近の狀況、自警團公安隊村長の所持する武器の調査
一、現在居住する部落の人員
一、現在の警備方法
一、現在までの損害狀態
一、附近匪賊頭目の氏名

をなすが村長會議がは今回最初である

轢殺事件公判

【遼陽】鞍山北二條町野崎太八郎方上木清（二〇）は和歌山縣下で昨年六月二十七日三輪自動車に木炭二十五俵を積み運轉中十歳になる小兒に衝突肋骨々折の負傷を與へ腑に損傷を來し死に至らしめた廉に依り五日遼陽領事館で花輪司法領事、菊地檢事々務取扱ひ立會公判の結果罰金百五十圓の判決言渡しがあつた

時局寫眞展覽會

國民精神の涵養と學生教育の參考に供せんため、滿蒙各地に於ける皇軍の勇躍匪賊生活の實況上海陸戰隊の活動を本社特派寫眞班がカメラに收めたる貴重なる時局寫眞四百餘點の展覽會を左記日程により各地で開催いたします

日程	場所
二月七、八兩日	奉天
同九日	長春
同十日	鐵嶺
同十一日	四平街
同十二日	安東
同十三日	本溪湖
同十四日	公主嶺
同十六日	撫順
同十七日	開原
同十八日	遼陽
同十九日	鞍山

榮轉する人々

長春署の三氏

【長春】關東廳警務局の大異動によつて長春からの榮轉組は春木警務主任、井上高等主任、中川領事館警察署主任警部の三氏で何れも滿洲事變に功勞顯著なるものがあつた、春木警部は水上署に轉出したが武波署長の許にこの大事變にも拘らず一名の應援者も入れなかつたといふ果敢な人である、井上警部は事變に際しての情報蒐集の着眼とその報告の機敏さとは警務局當局下に於て氏の右に出たものは恐らくなからうそれ程不眠不休に動き續けた人で榮轉は當然だが氏を失ふ長春署としては尠からざる損失であらう中川警部は萬寶山事件でその勇敢なる活躍は日本的に知られたが滿洲事變を今日あらしめた力ある一つの分子である、長春署が一指もふれ得なかつた惡德記者泉康治を敢然として檢擧し鬱積してる長春の記者界に一大警鐘を與へた警察官に稀に見る硬骨漢である、尚三氏は相携へて十日午後四時半發列車で赴任の途に着く豫定だと

佐藤署長榮轉

【瓦房店】瓦房店警察署長佐藤雅助氏は五日附を以て旅順警務局衛生課に榮轉の電命に接した氏は當地赴任以來滿二年三ケ月溫厚篤實の性格と職務に恪勤勵精を以て大に署風を改め支那側との關係も頗る緊密であつた昨年時局以來は一面在鄕軍人分會長として寢食を忘れて公安維持の任を盡され又管外馬賊の襲來に際しては彈雨の中を馳驅して之が討滅の效を奏する等眞に難局に當られたが今回突如として轉任せらるゝ事は非常に惜まれて居る後任には普蘭店より牧田署長來任する筈

猪苗代署長

【大石橋】元猪苗代大石橋警察署長は昨年七月十五日獅子窩署より轉勤し今日迄在勤僅かに七ケ月とは雖も其の間時局突發に遭遇し管內は匪賊の包圍圏內に在つたが好く人格に心服共に將來を嘱望期待してゐたが突如關東廳保安課勤務として榮轉の辭令に接したことを傳へ聞きたる官市民はこれを惜んでゐる

氏は赴任早々週月を出でずして管内唐王山邦人小林善人拉致事件を皮切りに十月二十四日沙嶺事件には自ら部下を引具して砲煙彈雨を犯かし頭目青山の配下三〇〇を擊退、續いて白旗信號所を襲はんとする匪賊團に對しては機敏に行動を起し敵の機先を制して之れを殲滅、其後引續き現在迄管内に兵匪の跳梁激增し南楽海城の如きは全く危險急迫せしも邦人保護の爲め好く善處し敵をして附屬地に其の一指をも觸れしめなかつたことは住民の感激するところである因に署長は二月八、九日頃離石の由なるが後任として奉天署より小坂警部署長として來石の筈

黑林臺を占領

【遼陽】頭目全勝の一團約四百名は五日午後五時十里河驛西北十八支里の黑林臺部落を占據したので同部落民中百廿餘名は十里河附屬地に避難したと

女學校の校庭を主婦たちに開放
安東高女の新しい試み

【安東】近來特に女子體育の向上につき種々協議研究されつゝあるが安東高等女學校にては特に此點につき留意し努力しつゝあつたが何分家庭の一部では女性の體育に考慮せぬ傾向顯著なるに鑑み女學校々庭を或一定時間を限り一般主婦卒業生の爲め開放しテニス、薙刀體操等婦人にふさはしい運動をなさしめ尚希望者あらば學校當局が指導獎勵すべく解氷を俟つて何等かの方法で具體化する模樣である、又道般來戶塚校長は學校の正課として弓道部を設けんと既に調查研究を爲して居るも何しろ經濟難で急に實現の運びには至らぬも一部父兄間に於ても弓道が體育上有效なれば寄附してもいゝとの意向を洩らす向もあり或は具體化するであらうと

部下を統御し警備力の充實を圖り動亂の巷に好く管內の治安維持を完璧皇國警察の威力を萬全に發揚伸展せしめたる功績は署下は勿論其の名聲赫々たるものあり當地各官衙在任市民は勿論部下五十有餘の警察官もその信頼厚く優越たる

遼陽

聯合素謠會

遼陽に於ける遼謠會、正謠會、喜陽會、十歩老會、海城六海會等の觀世流の聯合春季大會は七日午前九時から正迺家で開催した

陣中文庫募集

遼陽圖書館と社會係主任で陣中文庫募集の處寄贈三千册の多きに達したが更に第二回募集を開始したので一册でも寄贈して貰ひたいと因に今回は締切期日を附せずと

錦州視察參加

沿線輸入組合理事一行が舊正月の休務を利用して錦州視察を實行したので遼陽からも天土洋行主大松號野並一水滿蒙棉花合資會社員の八木弘の諸氏が西村理事と共に六日朝出發したが八日頃歸連の豫定

瓦房店

◇寒氣凜烈◇

大寒中は殊の外溫暖で枯木に花が咲こうと噂して居た處寒明けの前夜より稀に見る酷寒となり立春に至りて一入凛烈を極めて來た

旅順

神職會總會

滿洲神職會では來る三月三日午後時から關東廳に於て幹事打合せ

會を開催の上四五兩日同會議室に於て第十三回總會を開催するが總會の順序は

▲會長挨拶▲事務報告、役員、會員の異動其他▲昭和五年度業務狀況及收支決算報告▲同七年度業務計畫及び收支豫算決定▲幹事改選

右了つて協議事項に移る筈

海軍將士慰問

旅順市役所に於ては五日午後二時より協議會開催の結果海軍將士に對する慰問袋募集の件につき主催者は對時局旅順市民會として募集締切期限は本月二十五日迄と決定せるか便宜現金にて市役所へ委託すれば慰問袋を調製する由

滿洲號の獻金

飛行機「滿洲號」建造獻金に關する旅順委員は五日市役所に於て協議の結果永山市長、大塚在鄕軍人分會長、米內山民政署長の三氏と決定大連本部と聯絡の上一齊に募集を開始する事となつた

四警部新任挨拶

新任沙河口署長大内佐藏同大連勤務邊見治同奉天勤務川邊物作同長春勤務楠田修四警部は六日各方面を歷訪在任中の挨拶を述べたが出發日時は不明

おめでた

▲敦賀町三六 伊藤次郎氏長女和子孃二十九日出生
▲千歳町一ノ七 板倉保氏三女惠美子孃十日同上

市中の噂

六日は舊正元旦といふので旅順市内は勿論近郊の支那人商家では青天白日旗を掲げて慶祝の意を表したが▲客年の國慶記念日に奉天の醫大が不用意にこの旗を出したので在鄕軍人その他軍方面から非難され、事務長の陳謝となつた▲然るに當時は滿洲事變直後の十月十日にしてそうであつたのが東北四省殆ど平定し張軍閥政權絶滅し盡し新國家の三色旗定まつた今日、依然排日侮日の本據、南京政府の國旗を州內の旅順に掲揚せしむるといふのは一層問題となりそうだ▲前線に遠い旅順の事とて無關心の結果だらうが一考の餘地がある、とは當地某方面の噂である

曙の鐘（190）
倉田潮
河野想多畫

絶叫（三）

あけみは息をはずませながら、春木の扮裝をした覆面の後を追ひかけてゐた。

先程壯三と逢つて間もなく彼女と同じ小惡魔の假面が春木の覆面を追ひかけたが、何に驚いてか樹の幹にしがみつき、そのまゝ追跡をやめてしまつた。あけみはそれを見たので、ますゝくその覆面に好奇心をそゝられた。

もとより春木の扮裝が眞の春木でないことは想像がついてゐた。春木は今は捕はれの身だつた。此の會に來る筈はなかつたが萬一と云ふことがある萬一何んな手段でそこをぬけ出して來ないとは神ならぬ人間には決して斷言は出來ない。

春木が捕はれの人となつてから彼女は何れほどその面影にあこがれてゐたらう。何んなに狂ほしく其の姿を戀慕つてゐたらう。居ない時こそ居る時よりもかへつてなつかしい。毎日激務と配慮に休むひまもない時でさへ、彼女は心の底で春木を思ひ、いや春木を呼吸し、春木を生活してゐたのだ。たとへ本當の春木でなくてもよい、春木の假裝でもよい。その假裝から春木の思ひ出をたどり度いのだ。その假裝を語つて、かなはぬ戀を慰め度いのだ。春木を苦め捕へ、或は殺さればならぬ此の涌ろしい熱情を假面に向つてでもわびたいのだ。

彼女は狂女の如く林の小路を走つた。走りながら春木の名を叫び續けた。息が切れて、胸が踊り廻り、目の先が時々暗くなるやうに思つても、氣じような彼女は屈しなかつた。

距離は一間の前に近づいてゐたが、あけみはもう纏も椀もつきはてゝしまつた。にもかゝはらず、春木の覆面は殆ど疲れも知らぬげに、右に曲り左によろめいて、からかふやうに逃て行く。つひに、あけみは小石につまづいて、どつとばかりに地に跪れ伏した。が、彼女はそれを殘念とも思はなかつた。また體の痛みを感じても、寧ろそれを快よくさへ感じた。春木を追ふ力がつきた時、かう云ふ風に地に跪れて、そのまゝ息がたえてしまふのは彼女の願ふところだつた。

荒まじい勢ひで地に跪れて、そのまゝ起き上らぬあけみを見ると覆面は林の小路を戻つて來た。そして、半間ばかりはなれて、右手に雜木の幹をさゝへながら、あけみの姿をのぞきこんだ。泣きぬれたやうにうるんだ月が、林の背後に浮んでゐた。うなかがんだ覆面の姿は黑く、跪れ伏したあけみの假面は薄い月光をあびてゐる。それはおどけた小惡魔の扮裝であつたが、ガウンの裾からこぼれた馬鈴薯の白さを持つた足が、假面の中の美しさを豫告してゐた。

春木の覆面は今なほ木の幹に體をささへたまゝ、あけみの假面を眺めてゐたが

「あけみさん、御起きなさい」と靜かに云つた。「もう私も逃げはしません」

「逃げないで下さい」と胸のあたりを烈しい呼吸に波うたせながら、あけみは苦げに半身を起した。

「逃げないから、御起きなさい」

あけみは假面をぬぎすてながら起き上つた。下には眼のさめるやうな大柄な着物をつけ、厚いフエルト草履をはいてゐた。春木の覆面は一歩身をひいた。あけみはその一歩を踏み出して、叫ぶやうに云つた。

「あなたは誰です」

「解りませんか」

「解らないから覆面をとつて下さい」

「いや、これをとることは出來ません」と嚴肅な聲で云つたが、次にはヨブ記の一句を口ずさんだ。

「見よ、彼、わが前を過ぐれど、我れそれを見ず、彼、すゝみ行けど、我れそれを悟らず」

突然あけみは覆面におどりかゝつて、先づ扮裝の洋服をむしり取つた。洋服の下には燃えるやうに紅い洋裝をつけてゐた。覆面は覺悟して少しも抵抗せず、樹立のまばらな黒土の上に月光をあびて、悄然と佇んでゐた。あけみは再び躍りかゝつて覆面をむしり取つた。

マリアが月光を浴びて、悲しげに假面の下から現はれた。あけみは絶叫して、飛びじさつた。

新刊紹介

▲邦人活躍の南洋（宮下琢磨著）本書は三版まで刊行し更に部止增補を要すべきところを新にし、其後視察した分を加へたものである、而して著者は大正十四年ブラジルの視察に出かけてから、北米、滿鮮、南洋とこの數年間旅から旅のあはたゞしい生活を續けたのである、そしてそのうちの南洋の第一印象を纒めたものが本書である、南洋を紹介し、わが同胞の奮鬪の消息を傳へたものとして民族發展上に寄與するところ多大なものがあらう（定價一圓五十錢東京市外落合町文化村海外社發行）

▲浮世繪藝術（創刊號）日本美術の精華、日本特有の藝術「浮世繪は」先般發刊された「浮世繪大家集成」全十八卷は江戶時代の民衆藝術の基礎を建設せるもので今後六卷の發行によつて完全に浮世繪の中心繪畫を獲得されたわけである、今同この「浮世繪藝術」の發刊を見る、本書は浮世繪大家集成を一層價値づける機關で集成に收むることの出來ない名畫に對しては研究と專門諸家の解說を收めてある、今や日本は政治に經濟に思想に藝術に、或る段階を築かうとしてゐる、この時に際して浮世繪藝術の擡頭、更に浮世繪現代風俗畫の新興を企圖する本誌の創刊は本年度の世界藝術の殿堂に一エポツクを築くことであらう（定價一圓、東京市下谷區池之端仲町五番地大鳳閣書房內浮世繪藝術社發行）

▲植民（二月號）定價五十錢、東京市麴町區下六番町五〇番地日本植民通信社發行

▲陸上競技（二月號）定價二十五錢、東京市神田區南神保町一六番地一成社發行

▲棋道（二月號）定價五十錢、東京市麴町區永田町二丁目一番地日本棋院發行

▲石楠（新年號）定價五十錢、東京市外中野町西町四〇番地石楠社發行

▲永鳥（二月號）定價三十五錢、大阪市南區炭屋町和田内永鳥社

▲東洋貿易研究（二月號）金輸出禁止と我輸出貿易、支那市場を如何にすべきか、金輸出再禁止と支那の銀貨、列國關稅戰と本邦對外貿易、南洋經濟界と排日貨運動、英領馬來の近況諸國の關稅に關する法規改正、化學製品市場としての比律賓、米國本年度の景氣展望（定價三十五錢、大阪市北區中之島大阪市役所產業部調查課發行）

▲大陸研究（創刊號）夙に滿蒙問題の政治的經濟的重大性に鑑み嚢に全國學生青年有志を糾合し日本青年大陸研究會を結成し、愼重事態の推移を眺め、合理的解決の研究に務めて居た、昭和六年末日支兩國の事態愈々極めて急迫するに及んで本會機關誌の大陸研究創刊號を先づ公にしたものである（非賣品、仙臺市向山六軒町六番地日本青年大陸研究會）

けふの放送
大連 JQAK 二月八日

▲午前七時 ラヂオ體操
▲午後六時十分 ニュース
▲兒童科學講座「最近科學文明の衛觀」（第二十四回）大連神明高等女學校大貫正
（以下内地中繼、七時）
▲人情噺「眞綿お民」橘ノ圓
▲地唄「三絃富輪春昇、同同美喜子、同富山清琴
▲獨唱とピアノ（一）ピアノ冥想曲より（グリーグ作）（二）獨唱イ「漂浪の人」ロ「魔王」（シユーバート作）ハ「庭園にて」（ウエルクマイスター作）（三）ピアノ、イ「マヅルカ舞曲」ロ「華やかなる圓舞曲」（ショパン作）獨唱 鈴木乃婦、ピアノ、ハンガベツオールド、同ワルローゼンシユタイン
（以下大連放送局より）
▲筑前琵琶「楠中佐」法佩山加藤旭明
▲職業紹介事項
▲天氣豫報▲ニュース

陸軍上海派遣に關し帝國政府聲明書發表
この際陸軍兵力の派遣に依つて上海の狀態を回復

【東京七日發】上海事件發生以來專ら海軍陸戰隊を以て居留民の保護に當つてゐたが事態は益々惡化し海軍のみを以てしては良く其の目的を達成する事が出來ないので政府は遂に陸軍を同地に派遣し我居留民現地保護を徹底せしむるに過日の閣議で方針決定した右に關し帝國政府は我立場を中外に闡明する爲め七日午前零時左の如き聲明を外務省より發表した

一、東洋の平和を確保し世界の平和的發達に貢獻するは帝國政府の一貫せる外交方針なり不幸にして近年隣邦に於ける排外運動の暴威は其の不統一不安定なる政情と相俟つて列國共通の憂を釀すに至りたるが**國土近接し利害最も錯綜せる帝國は列國中最大の犧牲的地位に立つに至れり**而して我方に於ても世界の大勢及善隣の關係に鑑み努めて友好的態度に出づるや支那側に於ては却つて乘ずべしとさ爲し頻りに我權益を蹂躙し殊に**國民政府と殆んど一心同體なる黨部指揮の下に機會ある毎に其の惡辣深なる排日運動を擴大**し在留帝國臣民に對し各種の暴行迫害を加ふるの實情なり

二、上海事件は斯る情勢の下に勃發せるものにしてこれより先青島、福州、廣東、厦門等に起りたる幾多の不敬記事事件乃至某事件等と其軌を一にす即ち之等の事件を通じて看取し得べき事實は**支那官民の我國及び國民に對する侮辱的態度と在留邦人に對する暴行**なるが上海事件は其の最も顯著なるものにして民國日報社は去る一月九日我皇室に對する不敬記事を掲げ又同月十八日は我僧侶等五名は何等の理由なくして支那暴民の爲め襲擊を受け中三名は重傷を負ひ一名は遂に死亡するに至れり茲に於いて過去長日月の間排日に苦しみ殊に最も**惡辣なる情勢に對し隱忍に隱忍を重ね來たれる我居留民の忿懣は其の極に達し事態極めて重大化するに至れり**

三、此の狀況に於いて在上海帝國總領事は帝國政府の訓令に基き右暴行事件を局地的に解決し事態の擴大を極力防止すべき方針の下に一月二十一日上海市長に對し反日會の解散を始め四項の要求を提出せるが二十八日午後三時同市長の我方に對する回答は**右要求を容れたるものなりしを以つて我方として**之に依り**事態の緩和を期待すると時に支那側の約束履行を監視**するの地位に立つに至りたり然るにこれより先、盛んに上海附近に集中せられたる第十九路軍は支那內政上の關係よりして必ずしも國民政府の命令を奉ぜざるものゝ如く前記上海市長の我要求應諾に拘らず租界附近で戰備を整ふる等の行動ありたる一方便衣隊其他不逞分子の租界潛入もあり市政府附近の形勢亦不穩となり流言蜚語甚だしく北の閘北一帶の保安隊も逃亡したる爲め居留民をして極度の不安に陷らしめたり**共同租界當局は右不安狀態に鑑み二十八日午後四時戒嚴令を發し列國軍は**豫れて協定せし**受持區域の警備に就くに至れるところ、我陸戰隊に於いて其受持區域たる閘北地方の警備に就かんとするや、支那側は我軍に向つて發砲し攻勢的態度に出てたるを以つて、我陸戰隊は已むなく之が對抗手段を採り茲に日支兩軍の衝突となり**次いで今日の事態に到れり

四、右に依り明かなるが如く前記**暴行事件と日支兩軍の衝突事件とは全然別個の問題**にして衝突事件に至りては元來我方の意志に反するものなるを以つて極力形勢の惡化を防止するに努めたる結果　米兩國總領事の奔走もあり二十九日、日支兩軍間に一旦停戰協定の成立を見たる次第なるところ翌三十日午前に至り**支那側は約に反して再び發砲し**更に三十一日午後の停戰會議で中立地帶に關する協定成立するまで停戰を約せるに拘らず**再び攻擊を開始し**其の後引續き砲擊を止めざるのみならず增援軍の上海附近集中を繼續し我方に於いて上海の國際都市たるの思惟に顧み事態不擴大の方針の下に努めて隱忍の態度に出づるや支那側に於ては却つて之を以つて**我軍の敗戰なるやに宣傳して益々攻擊的態度を逞うする狀況なり**

五、統制なき支那の現狀に鑑み又過去に於ける幾多の事例に照らし上海附近に集中せる支那の大軍は無責任なる政治家等の煽動に依り何時如何なる暴擧に出づるやも圖り難く一方今や我陸戰隊は十數倍の支那軍を控へ不眠不休の努力を續け居り我居留民は極度の不安に驅られつゝある狀況なるところ**海軍兵力の陸上派遣には自ら一定の限度あるを以つて此の際、陸軍兵力の派遣に依り支那軍の脅威を去り、一日も速かに上海の狀態を回復し、列國民の不安を除去するを緊要と認め茲に所要陸兵を海方面に派遣し**以つて從來の海軍力と協力せしめらるゝ事となれる次第なり

六、之を要するに今次帝國陸軍の上海方面派遣の目的は既往に於ける帝國の同方面に對する四時の海兵派遣と等しく多數の帝國臣民と巨億の財產保護の萬全を期し、併せて租界防備に關する國際的義務を完うするに存するを以て其の兵力は右目的達成のため必要なる限度に止め、且つ其の行動は列國共同の利益を確保するの方針に則るべく、從つて支那側にして敵對行動を終止せざるか又は右我軍の目的遂行上の行動に妨害を加ふるに於てはこれに對し**必要の對抗手段を行使するも、我方より進んで攻勢に出づるが如き事なきは勿論なり、將又我方に於いて上海地方に對し何等政治的野心を有せざるは素より、同地方における列國の權益を侵害するが如き意圖なき事は既に聲明せる通り**にして帝國政府の上海地方に對し要望する處は畢竟、列國協調、相互扶助の精神に依り關係各國と共に、同地方の安寧と繁榮の增進を圖り、延いて東洋の平和と福祉とに貢獻するに存す

上海派兵と陸軍省發表

【東京六日發】陸軍省發表上海方面の事態急迫せるに鑑み今般同方面に所要の陸兵を派遣せらるゝ事となれり

派兵により事態惡化を防ぐ
わが陸軍當局の談

【東京七日發】上海派兵に關し陸軍當局は語る

上海事件の原因經過並に派兵の趣きは政府聲明の通りであるが目下上海附近に於ける支那軍は蔡廷楷十九路軍にて第一線は第六十師約一萬一千、第二線は六十一師約一萬一千、第三線は七十八師約一萬尙は眞茹、蘇州間には警衛三師、南京附近には警衛一師集中し新編抗日決死隊二十二隊ならびに飛行隊若干も既に戰線に加入す、之れら軍隊は暴戾なる軍閥の煽動と暗愚なる群衆のアフトにより增長其の極に達し對日戰意頗る强硬である、尙は我が居留民數は列國に比し數倍し共同租界外に居住營業するもの多くしかも前述の如く急迫せる狀勢に直面現在我海軍兵力のみを以てしては列國協定による防備擔任區域に於いて所謂國際的共同任務を遂行する事すら蓄し困難につき陸軍より一部兵力を增加するは臨機應變の處置と言はねばならぬ、要するに今次の陸軍派兵により上海事態の擴大惡化を防ぎ速かに之れを常態に復せしめ列國民の不安を除き得ん事を確信す

イギリスも陸軍派遣

【ロンドン六日發】本日英國陸軍省は目下上海にあるスコッツフジリアー聯隊の一個大隊を代せしむる爲め東部ランカシア步兵聯隊第一大隊を派遣すべき旨發表した

佛政府の意嚮

【パリー六日發】佛國政府は今後更に日本に對し新な外交上の意思表示をなすが如き意嚮は現在のところ無きものと確聞する

獨伊英米協力

【南京六日發】外交部は獨伊兩國が支那政府に對し英米兩國と上海問題に關し協力する旨通告し來たれるを發表した

佛租界當局、共同申込

【上海六日發】佛租界當局は本日午後我が陸戰隊本部に人を派し今後支那の租界亂入には日本軍と行動を共にしたいと申込んだ

眞茹飛行場爆擊さる

【上海六日發】我が艦載機は午前十時過ぎ眞茹……

支那機粉碎

【上海六日發】昨日の空中戰で支那軍の戰鬪機が飛行機に擊落され……

便衣隊引渡し

【上海七日發】共同租界……

學良洛陽政府に感謝

【北平六日發】張學良……政府に對し中央が敢然……を決意せるを感謝し……

蔣氏軍事會議

【上海七日發】蔣介石……軍事會議を開き上海、……さする軍の移動につき……

聯盟理事會當分靜觀
六日十二ヶ國會議で決定

【ジュネーヴ六日發】本日の理事會公開會議は愈々豫定通り午後五時三十分より開會される事となつた席上上海問題に關する重大聲明があるものと觀られてゐる、尙右會議に先立ち午後三時半より日支兩國を除いた十二ケ國理事會議が開催される事に決定してゐる

【ジュネーヴ六日發】本日午後四時半より日支兩國代表を除く理事會十二ケ國會議が開かれたが現在の情勢で公開會議を開くは徒らに事態を紛糾に導くに過ぎずとの意見有力であるのと英米佛の對日交涉が終了してゐないので上海事件に關しては理事會は暫く靜觀の態度をさることゝなり本日午後五時半よりの公開會議は延期された

本日十二理事國會議は非公式開會意見交換の結果二月一日の理事會にて各國が考慮した對日案が未だ終了せざるに依り本日の公開理事會にて日支紛爭を討議するは妥當でないと決定した

コムミユニケ

【ジュネーヴ六日發】聯盟理事會は左の如きコムミユニケを發表した

上海調査委員會の報告書壽府に到着
秘密理事會に披露

【ジユネーヴ六日發】第一回會合を開いた上海調査委員會から國際聯盟事務總長ドラモンド氏への報告書は手續上まだ正式報告とはなつてゐないが事實上調査の結果が內報の形で澤山出たのでボンクール議長は午後四時半からの十二國代表秘密理事會に之を披露し英、米、佛への日本の回答と之に對する各國の意見を披瀝せしめ理事會今後の態度を決定する筈

わが爆擊機出動敵陣地を爆擊
爆音空に木靈し壯烈

【上海六日發】我軍は愈々持久戰に入ることに肚をきめたらしく前線には工作隊が出かけて屋根をかけ便所を作り陣地工作に忙しい、夜に入れば昨朝到着した野砲隊が本日組立を終つた野砲〇〇門を以て敵陣地に威嚇砲擊を行ふ筈、一方從來指揮系統の關係上航空母艦鳳翔、加賀の爆擊機はあまり戰線に出動しなかつたが本日楊樹浦日本紡績工場附近廣場に發着場を設けられ陸戰隊との打合せも出來たので明七日から出動敵陣地を徹底的に爆擊する事となつた

【上海七日發】我野砲隊は午前十時から敵陣地に向つて攻擊を開始した尙加賀の爆擊機〇機編隊一隊は新設飛行場を發し十時閘北の上空に現れ爆擊を開始した、わが重爆擊機は前線部隊の後退完了を待ち十時五十分寶山路寶興路附近の敵の頑强な陣地に對し爆擊を開始した雪雲深く垂て小雪降りしきる中を約二百米位の低空飛行をなしつゝ投下せる爆彈は味方の陣地からはつきり見られた、其の他右翼及び左翼の敵陣に對し今日は徹底的に爆擊を加へる筈で戰鬪機〇機に護られつゝ重爆擊機〇機は悠々敵陣の上空を旋回飛行をなしつゝあり、爆音空に木靈して壯烈、この間爆擊地附近の邦人は全部北部小學校に避難した

吳淞の總攻擊今朝來開始
目下双方間に交戰中

【上海七日發】今朝六時から艦隊及び飛行機で吳淞攻擊を開始した陸戰隊植松指揮官自ら裝甲車及び數臺のトラックに分乘せる〇大隊莊林中隊を率ゐ午前七時三十分上陸し吳淞に向つた目下交戰中

【上海七日發】吳淞には約二千の敵があり國際航路に脅威を與へつゝあり又近く到着すべき我軍上陸のため彼らを掃蕩するの必要あるため我軍は今早曉海、空、陸より總攻擊開始に決した

陸戰隊急行

【上海七日發】吳淞砲臺攻擊は未だ詳報がないが相當激戰中なる事豫想され十一時工作隊の戰死者負傷者數名を出し陸戰隊更に急行した

植松指揮官談

【上海六日發】着任直後前線を視察した植松指揮官は午後十時鹽澤司令官と旗艦安宅で會見し今後の作戰に就き協議したる後記者に語……

單に投資だけでは根强い發展は困難
滿鐵の資金調達は困難でない
けふ歸連した內田滿鐵總裁談

東京以來滯京月餘に亘つて政府要路と滿鐵今後の重要問題につき打合せを遂げた內田滿鐵總裁はいかる丸にて政子夫人同伴杉本秘書役を隨へ歸任したが埠頭には江口副總裁以下在連重役全部、各部次長其他傍系會社關係や社員連等の多數の出迎へがあつた、外着の甲板上に總裁を出迎へる珍しい

小春日和の空を眺め乍ら「こちらはとても暖かいね」と元氣でサロンに記者團を招いて左の如く語つた

漸く滿洲の方が落着きはじめたと思ふと又上海に問題が起つて甚だ遺憾なことであるが、いづれにしても先方の誤解より起つたことであるから列國にも我が立場が諒解されて支那側の誤解が解けてくれば現在以上に事態が惡化するやうなことは無いだらう、內地の選擧の話か？それは自分は門外漢だから全く判らぬ、昭和製鋼所問題はこちらでも種々の說が傳へられてゐるうだが何しろ政府も組閣間もなくではあり議會解散や對外重要案件等次から次に起つてなかなか忙しいのでこの

問題丈けを右から左へ片付けるやうな譯には行かないの附屬地行政の政府移管問題等何も今に始まつたことでなく……急ぶべき傾向だと思ふ、滿蒙の經濟的建設とか何とかいつても日本人がどんどん入つて來て支那人と親和し眞に大地に根を下して發展するのでなければ

賴りないものである、單に會社を建てたり投資してる丈けでは一朝狀勢が變化すれば根こそぎ颱風の樣にけし飛んでしまふ、この前自分等が沿線を視察した際、支那人と親しみ協和しなければならぬといつて囑はれたものだが今後の眞に根强い發展はこゝから出發しなければ到底不可能である、今回の事變で滿鐵社員一同が軍部と協力してよく働いてゐることは各方面で認められ特に鐵道現業員が軍人と同樣の危險に身を曝して奮鬪してゐることに就ては閑院宮殿下からも親しく有難いお言葉を拜受して感泣した次第である（寫眞は上陸した內田總裁）

松平全權英代表訪問

【ジュネーヴ六日發】軍縮全權松平大使は本日當地に着いた英代表サイモン外相を午後七時より訪問し上海事件最近の情勢を說明した

◇ 金再禁輸、爲替下落、大養景氣、物價騰貴、慶ぶべき乎、悲しむべき乎。

◇ 滿洲婦人聯盟から佛教婦人團體が脫退した。もとを質せば水と油が惡いため。

◇ 遂に陸軍派兵、固めた拳骨がいよく堅くなる、これも東亞の平和が可愛いければこそ。

◇ 合法左翼團體が非合法左翼の一頭目佐野學君等を立候補させる、皮肉？それとも嫌がらせ？

◇ 佛租界當局が陸戰隊に共同防禦を申込む、最初から然うしたら變な宣傳にも乘らなかつたらうに。

◇ 愛國號に續いて、學生號、乙女號、滿洲號、斯くて國民の結晶が續々生れる。

東亞の謎（百）
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

……しかし夫れだけで大事はなかつた。で、伯は後へさがつた。儀式は尙も續いて行つた。しかしその後は簡單であつた。會長が紅紙に包んである四文の錢を壇の上から取り、手づから新會員へ渡したり、會員が一元づゝ取り出し、……などであつた。秘密の符號と公所の名とを、紅布の憑票を一冊づゝ、……から新會員へ渡されもした。やがてすつかり儀式は終……

「では此方へ」とかう云つて、……の男が五人を導いた。五人は會場から外へ出た。かうして五人の入れられ……以前の粗末な休憩室であつた。……のある男は出て行つたがかく歸つて來なかつた。

外交方針指示

男女數百萬の軍縮請願書

【ジユネーヴ六日發】……

哈市に入城した皇軍

山口本社特派員撮影

ハルビンに一番乘りの臼井大尉と土肥原特務機關長の劇的會見と特務機關前に一番乘りしたわがタンクの活躍

わが軍の入城に對し在哈蘇聯機關は冷靜

丁軍の暴擧には鋭い反感

七日ハルビンにて 長谷部、森特派員發

我が皇軍の入城に關して在ハルビンのソウエート機關が如何なる態度に出でるかといふことは日、露兩國間の國交關係に微妙な作用を及ぼすものがあるが、我軍が入哈の際在哈蘇聯のいづれの機關も冷靜な態度を固く守り未だわが領事館を初めわが軍に對し何等の提言すらなさない、丁超は過般の双城堡攻擊に際してもその部下に對し恰もソウエート赤衞軍と默契あるが如く宣傳したがソウエート當局ではこの事實を否定し却て丁超軍の暴擧に鋭い反感をもつてゐる、即ちソウエート當局は東支鐵道をもつて一個の營利會社と看做し且、支那軍にして規定の輸送賃銀を支拂へば軍事輸送も當方において敢ふところに非ず **全く紛爭の圈外にあるソウエートの關知する所ならずとの立前を固く持してゐた事實**に徵するも明かであり **日本軍の哈市入城に關しては恐らく今後も事態の變化が直接的にソウエート側に不利とならない限りは積極的な意見を露きするに至らぬものと觀られてゐる**、これに反し支那軍の行動に關しては **東支鐵道當局では丁超が日本軍に敵對行動を執らんがためハルビン驛において機關車、貨車等全部の運輸機關を差押へたのみか交通機關を杜絕せしめ東支鐵道の收入に一大打擊を與へたことに關して非常に憤つてゐる**

兵力を右翼に集中 一擧に敵陣を破る

東洋ホテルで褞袍に打寛いだ 天野〇團長と語る

五日午後五時、管下各部隊を指揮しつゝハルビンに入城した天野〇團長は矢田高級副官栗栖副官を帶同し臨時〇團司令部に當てられた地段街東洋ホテルに入つたが、先づ風呂にザブリと浸り寢臺に着替へて同宿の記者（長谷部、森本社兩特派員）を快よく迎へて語る

一週間振りの風呂の味は格別だね、お互に苦勞をしたね、三日双城堡驛を出發して以來ハルビン入城まで恰度三日間かかつた譯だ、作戰よりも早く入城が出來て喜ばしい、御存じの通り我軍は兵力の輸送機關がなくて非常に難澁した、僕の〇團なども〇個聯隊の處が約〇個聯隊しかなくて〇團兵力といつても貧弱なものであつた、作戰上からいへば六日朝から總攻擊といふ處だつたが師團司令部などでも一刻も早く入哈して不安を除き在留邦人を救ひ度いといふ考へから四日午後三時半全部隊に總攻擊を命令した、輸送危險であ（る）兵力些少である我軍が危險を覺悟して總攻擊を開始したのだ、四日夜僕の左翼部隊長谷部〇團長に協力する**命令を**受けたので五日午前三時ごろから俄かに兵力を右翼に集中して一擧主力に當つたのだ、少い兵力を以て强力な敵が長い陣形を張つて居るのを攻擊する時は何時も味方の主力を一方に集結せしめてその包圍陣形を突破する作戰に出るのが常套でこの戰爭でもこの方法によつては成功したのだ、双城堡を出發する際君達も相當考へただらうが、丁超軍は恐らくこんなにまで頑强に抵抗しようとは思つてゐなかつた、直にハルビンまでヒタ押しに押して行けると思つたといふのは一般の考へ方、然しハルビンを根據として居る丁超がムザムザと日本軍にその經濟的の源泉を引渡す筈がない必らず一戰を交へるに違ひないといふのは僕等の觀方だつた、それが俄然的中してハルビン郊外における激戰となつたのだ、馮占海李杜等が丁超に**合流し**て今度の擧に出でたのは彼等は吉林軍に反抗しこれがために討伐命令を下されて而も馮、李はいづれも張作舟の緣者で自ら新政權に反抗してゐるそれで丁超に合流して叫はぬまでも面子のため自分等の利害關係のために日本軍と一戰する覺悟に出たのだらう、馮の如きは始終僕の處へ書を寄せて吉林軍に歸順するがおとりなしを願ふといつて寄越してゐた、僕はその誠意あれば責任を以て身分を保證してやるからといつてやつたのだが、遂に彼等に誠意なく今度の擧に出たのであつた、チチハル、昂々溪の戰鬪から比較すると今度はハルビン市街戰は戰線は短かつただけ樂ではあつたが、敵はハルビン郊外の支那家屋に銃眼を穿ち堅固な陣地によつて射擊し攻擊するに反してわが軍は掩護物なく平地を前進して行くのだし直ぐ近くには國際都市ハルビンがあるので始終**遠慮し**ながら射擊しなければならぬので非常に不利益であつた、だから四日の戰鬪では敵の擊つに委かせて我軍は凝乎砲擊に堪へ夜に入つてソロソロ射擊を開始したのだ、こちらが總攻擊に移つて突擊を開始したころには敵は既に逃げ足を示して退却したから面白い戰鬪もなかつたが、〇團司令部は敵の目標になつて散々彈丸を受けたよ、先づ豫定よりも二日早く入城出來て御同慶に堪へない次第だ【四平街經由來電】

多門師團長、張景惠と治安の維持を協議

きのふ司令部で會見

多門第〇師團長は六日午後三時司令部なる東北四護路軍司令部に於て張景惠氏と會見、ハルビン市の治安維持その他重要事項に付き懇談した

邦人の保護に入哈

多門師團長の聲明書

【ハルビン六日發】多門第〇師團長は大要左の如き聲明書を發した

支那軍の行動により一月下旬より邦人の生命財産は危殆に瀕せり偵察のため派遣された我飛行機は射擊され將校は殺害されたり居留民保護のため派遣されたわが軍は双城堡に於て支那軍に攻擊され居留邦人保護のため二月四日ハルビン郊外に到着した我軍も同樣支那軍に攻擊されたので止むなく之を擊退ハルビンに入つた次第である攻擊に當り中外市民、鐵道、一般建造物に損害を及ぼさゞるやう特別の考慮を拂ひしめたり治安は支那官憲が維持し我軍事行動を妨げ治安を紊す者は法に照し之を排除する用意を有す

反吉軍敗殘兵掃蕩

愛國號も出動し爆擊

【ハルビン長谷部、森特派員六日發】反吉聯合軍は五日午後一時過ぎより雪崩をうつて賓縣方面に敗走しつゝありとの我偵察機の報告により哈市郊外に宿營中の多門第〇團司令部では同夕刻より追擊を開始し五日夜から六日拂曉へかけて遠雷の如く野砲の響きは哈市の日本人街にまで殷々として聞こえ一方愛國一號機は賓縣方面に敗走する敵軍を盛んに上空より爆擊し敵に多大な損害を與へた、なほ五日拂曉戰において負傷せる反吉軍の負傷者三百餘名は病院街の東北護路軍赤十字病院に今なほ收容されて居り便衣隊も多數市中に入り込んで居る模樣で未だ市中は一抹の不安に襲はれ居り、要所々々の土嚢はその儘にして我軍の手で物々敷く警戒依然として續けられて居る

は賓縣に逃亡し敗殘部隊を殲滅せんとしてゐる、反吉林軍の主力は賓縣方面に一部は呼蘭、阿城に向つて退却中である、わが飛行隊は六日朝來退却中の敵を猛擊したが特に午前十時半頃蜚克圖、永興源附近に潰走中の數千の敵を攻擊して多大の損害を與へ蜚克圖では退却中の野砲三門を徹塵に粉碎した【奉天電話】

賓縣の公安局兵營を爆破

吉林軍は警備に出動

皇軍の入城と共に舊軍閥系の反吉林軍は東部線及賓縣方面に逃走したゝめ我軍は北滿の絕對的平和と在留邦人の安全を期するためこれが掃蕩撲滅をはかることゝなり飛行機は既に賓縣公安局兵營その他を爆破し裝甲車、騎車その他自動車隊は騎兵と連絡追擊を續け一方吉林軍は七日午後二時頃長春發列車で警備第二旅長李文柄、同第三旅長祭文三氏の統率の下に警備第三團、四團の主力をハルビン等を警備のため出動せしめた【長春電話】

【軍司令部發表】李杜、丁超、王之祐は呼蘭に趨貫、馮占海

威風堂々と

けふ觀兵式擧行

空軍も參加し壯觀

【ハルビン特電七日發】ハルビンに入城したわが皇軍は十日間に亘り長途の强行軍により疲勞恢復のため五日夜來諸部隊を市中に分宿せしめたが、愈々七日午後一時から停車場前廣場において莊嚴なる觀兵式を擧行、軍の威風を示すことになつた、當日はハルビンにあるわが飛行機、タンク等の新兵器全部參加し空に陸に壯絕な分列式を行ふ

舊軍閥系は情實を棄て一掃

北滿各地の後始末に 郭恩霖氏ら一行赴哈

吉林省政府軍政廳長郭恩霖氏及その團員三名は六日午後八時卅分着の吉長線列車で來長、驛前福順館に投宿したが、七日午後二時廿九發東支線でハルビンに向け出發した、氏はハルビン行きについて記者に語る

ハルビン在住日本人保護のため出動した日本軍に對し抵抗した反吉林軍は一堪りもなく擊破され支離滅裂となり逃走したが自分は熙長官からハルビンを初め賓縣その他北滿各地の治安維持と兵匪逃走後の各機關事務整理を命ぜられ赴哈することとなつた丁超、李杜等の舊軍閥系は例へハルビンを逃走したとはいへ今後飽まで日本軍に反抗を續ける旨傲語してゐる、一方ハルビン支那側銀行團も舊軍閥應援のため多額の軍資を提供し殊に永衡官銀號は七十萬元を贈つた事實があるので極力之が調査を行ひ北滿の平和を擾す徒輩は斷乎として排除する積りで舊軍閥系は一切情實をすてゝこの際一掃する積りである

因にハルビン電業公司新任總辦金世榮、同介辦洪文垣、駐哈濱江縣公安局長王家駿三氏は郭氏一行と共に赴哈した【長春電話】

皇軍の入哈により再び歡樂境とならん

死の街ハルビンも我軍の到着によつて漸く蘇へり市中各所に避難して居た二千九百名の邦人は六日早朝から大きな風呂敷包を肩にしながら安堵の色に浮れつゝ吾家へ歸り日本人商店街も六日朝から景氣よく開店した、自動車や人力車の交通機關も平時に復し、すべては生き生きとして活動に歸つた、空には早朝から長春飛行隊から飛來した愛國二號及び三臺の我偵察機が市の上空を亂れ飛びタンクは轟轟たる響きをたてゝ市中を練り廻り不安に打ち顫きつゝ籠城生活を續けてゐた同胞達は何れ程だけ力强き感銘を與へて居るとか、斯くて死の街ハルビンもこゝ二、三日内に再び歡樂の都と化すであらう

奉天を中心とする移動警察隊を新設

警備力充實の第一聲

事變勃發以來在滿警察官の活動は軍隊と共に非常なる活力を示し關東廳においても取敢ず當面の處置として各署より增員派遣を行ひ治安維持匪賊討伐を敢行しつゝあるも未だ充分なる警備力としての充實には相當の開きがあり且又組織立つたものではないため十二分の機能を發揮することが出來なかつたので殖次山岡長官林警務局長の着任と共にこれが考究中のところ過般長官、局長赴奉により一層これが充實の急務を痛感せられ茲に森本警務課長と共に意見の一致を見たので關東廳警務局として近く斷行實施される警備力充實の第一實施事項として奉天を中心とする移動警察隊なるものを組織的に新設し專ら匪賊討伐及警備方面の完全を期することに決定、既に大體の具體案も出來上つてゐる模樣で發表終了直後において一部の實施を行ふ模樣である

馬占山來哈

多門中將と會見

馬占山は我軍入城の報に接し六日夜海倫より汽車でハルビンに來り七日朝十一時から滿鐵理事公館において多門將軍と會見した【長春電話】

旅順聯隊の死傷者

ハルビン附近戰鬪に於る旅順駐劄步兵第〇〇聯隊の死傷者左の如し

▲戰死第二中隊上等兵山崎源一▲重傷後死亡第六中隊一等兵下島麟兒▲重傷第六中隊上等兵小野塚武▲輕傷第二中隊軍曹松澤末三

五氏送別會

今回の異動によつて大連各署より轉任する久下沼前沙河口署長を始めとして平光（水上）大場、福間（大連）田口（刑事課）の各警部の送別會を大連司法記者團發起で市内美濃町扇芳亭にて八日午後六時より開催一般申込者は同日午前中大連署保安係り（電四〇〇九）沙河口署警務係（九四四〇）へ申込まれたい會費三圓五十錢は當日持參のこと

天氣豫報

八日 北の風晴れ後曇り

各地溫度

	七日午前十一時	昨日最低
大連	零下四・〇	四・八
旅順	同 一・八	八・七
營口	同 八・八	一九・〇
奉天	同 八・五	二一・五
長春	同 九・九	一八・九

滿洲號獻金の 時局映畫の夕

七日午後六時半滿日講堂

映畫「協力一致」滿蒙における日清、日露の兩役から現在の狀態を示したもの二卷▲「錦州を衝く」錦州方面の皇軍三卷▲「愛國號」一卷

附記……場內整理料として大人十錢子供五錢いたゞきます

主催 滿洲日報社

武門血笑記 (47)

下村悅夫作　布施長春挿畫

廣い世界へ（二）

障子を開けて、入つて來たのは宿の女中であつた。
「お床を、お延べ致しませうか」
行燈の灯を中に、向き合つて座つてゐる、二人の美しい男女を、眩しいやうな眼で見上げながら、丸出しの田舍言葉である。
「むゝ、こちらに拙者のを、それから隣の部屋にこの方のを」
織馬はこう云つて、お梨花の方を見た。
お梨花は、行燈に面を反むけたまゝ、默つて項垂れてゐた。
「それから、下に居る供の者には早く休むやうに云つてくれ」
「ひえ」
怪訝な顏をして、二人の方を時々盜み覗しながら、下女が兩方の部屋へ床を延べて出て行くと、あとは又、二人きりの、甘酢つぱい息詰まるやうな世界であつた。
仕切りの襖を開けたまゝになつてゐる隣の部屋には、お梨花のために設けられた臥所——そこには薄暗い行燈の光に照らされて、朱塗の枕が一つ、ぽつんと置かれてゐる。
「お梨花どの、お寢みになりますか？」
「はい」
が、お梨花は立たうとはしなかつた。
「そなたは、僕を、はしたない男だと、思つてゐられるであらう喃……」
「……いゝえ」
お梨花は、項垂れたまゝ、頭を振つた。
「仇討に出た最初の夜に、斯樣な事を……」
織馬の聲は、かすれて顫えを帶びてゐた。
「そなたの爲めにも、拙者の爲めにも、あの憎いお趣さやらと、源之丞は、天地神明に誓つても打たねばならぬ。武門の意地、名譽にかけて、立派に本懷を遂げて歸らねばならぬ。それは云ふ迄もない事ぢや」
と、句切句切れに、撥かける織馬の聲は、聲を濕めてゐるが、それだけ盛り上つて來る心の嬉しい動搖を押へ兼ねてゐるらしく、次第に熱を帶びて來る。
「が、拙者は何よりも、いや、その武門の意地を立て、榮譽を得る爲めにも、何よりもそなたを、はつきり得たいのぢや……そなたの身も心も、はつきり自分の物にしたいのぢや」
「…………」
「お梨花どの、そなたは、未だはつきりと、あの露木を憎いと思つて居らぬのではないか？」
織馬は、口のあたりを、ぴく\/と震はせながら、膝頭をぢり\/とにぢり寄つた。
「何で、左樣な事を……」
お梨花は、はつと胸を突かれたやうに顏を上げた。
「いや、拙者には、そなたが心の底から、露木を憎んでゐないやうに思へてならぬのぢや」
「敵の露木樣を、何で私が憎まないでゐられませう、あなたは、あなたは、そんな事を有仰つて、私を、私を……」
お梨花は、わな\/と唇を慄はせながら、そのまゝ言葉を切つて兩手で袂を顏にあてると、聲を忍ばせて歔欷り泣き始めた。
「お梨花どの、そなたがそれ程におつしやるなら、お梨花どの、そなたの身を心も、拙者に……拙者に……」
織馬は喘ぐやうに息をはづませて、こう云ふと、そのまゝ、つッとお梨花の傍に、歩み寄つて、[illegible]えてゐる彼女の肩に、しつかりと手をかけた。

討入以前 赤穗浪士の討入以前に吉良邸に忍び込んだ同志の戀物語を描いた辻吉郎監督で澤田清と高津慶子が主演してゐる【帝國館上映】

協和會館映畫　チエホフとトルストイの夕

來る十日午後六時半より久し振りに滿鐵社員倶樂部主催で、協和會館に於て映畫會が催される、映畫はチエホフ原作「官位と人民」八卷、トルストイ原作「神父セルギー」十卷で、チエホフの物は「將軍の犬」「官吏の死」「アンナ勲章」の短篇三部からなり無限のユーモアと痛烈なる諷刺に充ちたもの「神父セルギー」はイワン・モヂユウヒンの主演で、トルストイの宗教的苦悶を如實に描いたものと共にソウエートの純文藝映畫である。解說白藤六郎氏、伴奏ヤマトホテル・オーケストラ、會費五十錢、會員外八十錢、座席券前賣當日午前九時より

キネマ演藝

噂話

きのふの舊正と土曜日は果然映畫街が近來になく活氣立ち▲先づ寶館が七時には札止めして「白痴の弟殺し」で紅涙を絞り▲揚高は映樂館の「市街」が第一位で開館以來の記錄をつくり▲第二位は「榮冠涙あり」の中央映畫館、次いで大日活が久し振りで階上までギッシリと詰り▲常盤座の「ハアマン」は足場だけハンデイキヤツプがついたが、尻上りが期待される▲そこへ今日から帝國館が「討入以前」を三十錢の大衆興行で乘り出し、今夜の決戰が興味をそゝつてゐる

時局軍事映畫會　今夜滿日講堂で開催

社告の如く今七日夜六時半から本社主催で滿日講堂に於て滿洲號獻金時局映畫會を開催するが、上映畫は亞東印畫協會が多大の苦心を拂つて最近撮影した錦州方面の皇軍の活動狀況を示した「錦州を衝く」三卷、國民愛國の結晶になつた愛國號の活躍をカメラに收めた「愛國號」一卷及び內地に於て好評を博してゐる滿蒙に於ける日滿日露の兩役から現在の狀態を採錄した「舉國一致」二卷で何れも時局軍事映畫として期待されるものである、なほ入場者は會場整理費として大人十錢、小人五錢をいたゞくことになつてゐる【寫眞は「錦州を衝く」の一場面、盤山へ進軍する皇軍】

ペーブメント

レヴユウを呼び物にした大連會館のサンライズ・フォーリイも珍らしい間はまだよかつたが、餘りチヤチ過ぎて人氣を落したが、最近京城からギングレヴユウ團の踊子を六人連れて來て一寸見られるやうになつた、この六人のうち七歲になる原メリーなんていふのが、可愛くて受けてゐる、今やつてゐる「モダン節」程度なら見てゐても腹が立つやうなことはない、たゞしネタ切れになれば知らぬこと、文藝部よ勉強しろと言ひたい、そのうちまた十四五人踊子が來るらしいから、サンライズ・フォーリイもそろ\/面目を一新するだらう、物になりかけて來たからこの際頑張ることだ。

本社特選 新棋戰（其八）

香落 八段△花田長太郎　六段▲平野信助

【圖は二四香迄の局面】

▲平野氏「持駒」金歩歩歩

△花田氏「持駒」飛角桂歩歩歩

△	▲
九二角	二六角成
同銀	同香
二七歩	三八銀
三九桂	同銀不成
一七玉	四六成銀
二六歩	一五歩
三八飛	一六歩
二七玉	

【土居八段講評】△花田君の九二角打は防戰を誤つた此處は三八桂と打つて二筋を極力防戰しておけば尚面白い。この一手のため上手の玉は俄に窮屈な局面となつた。但し三九桂打と犠牲にしたのは已むを得ない。